

注3

大学番号：国066

[平成28年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

事前伺い

山口大学大学院 創成科学研究科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人山口大学

平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画戦略部企画・評価課企画係

職名・氏名 副課長（併：企画係長） ツチダ マコト 土田 誠

電話番号 083-933-5956

（夜間） 083-933-5956

F A X 083-933-5959

e-mail sh041@yamaguchi-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

創成科学研究科

<基盤科学系専攻（博士前期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	13
6. 留意事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	24

<地球圏生命物質科学系専攻（博士前期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	26
2. 授業科目の概要	30
3. 施設・設備の整備状況、経費	34
4. 既設大学等の状況	35
5. 教員組織の状況	38
6. 留意事項等に対する履行状況等	48
7. その他全般的事項	49

<化学系専攻（博士前期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	51
2. 授業科目の概要	55
3. 施設・設備の整備状況、経費	59
4. 既設大学等の状況	60
5. 教員組織の状況	63
6. 留意事項等に対する履行状況等	70
7. その他全般的事項	71

<電気電子情報系専攻（博士前期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	74
2. 授業科目の概要	78
3. 施設・設備の整備状況、経費	83
4. 既設大学等の状況	84
5. 教員組織の状況	87
6. 留意事項等に対する履行状況等	105
7. その他全般的事項	106

<機械工学系専攻（博士前期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	108
2. 授業科目の概要	112
3. 施設・設備の整備状況、経費	115
4. 既設大学等の状況	116
5. 教員組織の状況	119
6. 留意事項等に対する履行状況等	125
7. その他全般的事項	126

<建設環境系専攻（博士前期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	128
2. 授業科目の概要	132
3. 施設・設備の整備状況、経費	136
4. 既設大学等の状況	137
5. 教員組織の状況	140
6. 留意事項等に対する履行状況等	143
7. その他全般的事項	144

<農学系専攻（博士前期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	146
2. 授業科目の概要	150
3. 施設・設備の整備状況、経費	153
4. 既設大学等の状況	154
5. 教員組織の状況	157
6. 留意事項等に対する履行状況等	167
7. その他全般的事項	168

<自然科学系専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	170
2. 授業科目の概要	174
3. 施設・設備の整備状況、経費	178
4. 既設大学等の状況	179
5. 教員組織の状況	182
6. 留意事項等に対する履行状況等	196
7. その他全般的事項	197

<物質工学系専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	199
2. 授業科目の概要	203
3. 施設・設備の整備状況、経費	206
4. 既設大学等の状況	207
5. 教員組織の状況	210
6. 留意事項等に対する履行状況等	213
7. その他全般的事項	214

<システム・デザイン工学系専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	216
2. 授業科目の概要	220
3. 施設・設備の整備状況、経費	223
4. 既設大学等の状況	224
5. 教員組織の状況	227
6. 留意事項等に対する履行状況等	234
7. その他全般的事項	235

<環境共生系専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	237
2. 授業科目の概要	241
3. 施設・設備の整備状況、経費	244
4. 既設大学等の状況	245
5. 教員組織の状況	248
6. 留意事項等に対する履行状況等	252
7. その他全般的事項	253

<ライフサイエンス系専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	255
2. 授業科目の概要	259
3. 施設・設備の整備状況、経費	262
4. 既設大学等の状況	263
5. 教員組織の状況	266
6. 留意事項等に対する履行状況等	269
7. その他全般的事項	270

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山口大学

(2) 大学名

山口大学

(3) 大学の位置

〒753-8511
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オカ マサアキ) 岡 正朗 (平成26年4月1日)		
研究科長	(シンジ マサト) 進士 正人 (平成28年4月1日)		
専攻長	(キウチ イサオ) 木内 功 (平成28年4月1日)	(アサヒ タカナオ) 朝日 孝尚 (平成29年4月1日)	変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成29年4月1日(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 基盤科学系専攻 (博士前期課程) 修士(理学)	理学関係	2	38	76	基礎となる学部等 理学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	平成27年度	平成28年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	38人	人	38人	人	0.89倍	
志願者数	() []	() []	37 [-]	1 []	45 [-]	() []		
受験者数	() []	() []	36 [-]	1 []	45 [-]	() []		
合格者数	() []	() []	36 [-]	0 []	41 [-]	() []		
B 入学者数	() []	() []	35 [-]	0 []	33 [-]	() []		
入学定員超過率 B/A			0.92		0.86			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, **計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	35 [-] ()	0 [-] ()	33 [-]	[]	
2年次	/		[] ()	[] ()	35 [-] (-)	0 [] (-)	
3年次			/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()			35 [-] (-)		33 [-] (-)

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	35 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	33 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	68 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<創成科学研究科 基盤科学系専攻（博士前期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
研究科共通科目	【研究基盤科目】												
	研究者行動規範特論	1前	1			1						兼 2	
	知的財産特論	1後	1			1						兼 2	
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1		1						兼 2	
	プレゼンテーション特論	1後		1		1						兼 2	
	【イノベーション教育科目】												
	研究開発戦略論	1・2前	2			1						兼 2	
企業経営と財務	1・2後		2		1						兼 2		
【キャリア教育科目】													
キャリアデザインⅠ	1後		1		1						兼 2		
学外特別研修Ⅰ	1・2前・後		1~2		1								
長期インターンシップⅠ	1・2前・後		6		1								
専攻基盤科目	専門英語特別演習	1・2前・後	1			16 17 18	12 11 5	5 4 5	5 4 4			兼 1	オムニバス 担当教員の退職及び昇任に伴う変更 (29) オムニバス 担当教員の退職及び昇任に伴う変更 (28)
	基盤科学系特論	1前	2			3 18	4 11	5 3	4 3				オムニバス 具体的な担当教員の確定による変更 (28) 開設クラスの確定による変更 (28)
	数理科学特別講義Ⅰ	1通		2		8	7	5 3	5 3				開設クラスの確定による変更 (28)
	数理科学特別講義Ⅱ	2通		2		8	7	5 3	5 3				開設クラスの確定による変更 (28)
	数理科学ゼミナールⅠ	1通		2		8	7	5 3	5 3				開設クラスの確定による変更 (28)
	数理科学ゼミナールⅡ	2通		2		8	7	5 3	5 3				開設クラスの確定による変更 (28)
	物理学特別講義Ⅰ	1通		2		4	3	2 3	1 2	3 2		兼 1	教員の採用 (29) 担当教員の昇任及び開設クラスの確定による変更 (28)
	物理学特別講義Ⅱ	2通		2		4	3	2 3	1 2	3 3		兼 1	担当教員の昇任及び開設クラスの確定による変更 (28) 教員の採用 (29)
	物理学ゼミナールⅠ	1通		2		4	3	2 3	1 2	3 3		兼 1	共同 担当教員の昇任及び開設クラスの確定による変更 (28) 教員の採用 (29)
	物理学ゼミナールⅡ	2通		2		4	3	2 3	1 2	3 2		兼 1	共同 担当教員の昇任及び開設クラスの確定による変更 (28) 教員の採用, 昇任及び退職による変更 (29)
	情報科学特別講義Ⅰ	1通		2		4 5	4 2	4 4	1 1	1 2			教育効果充実のため担当教員を変更 (28) 教員の採用, 昇任及び退職による変更 (29)
	情報科学特別講義Ⅱ	2通		2		4 4	4 3	4 1	1 1	1 1			教育効果充実のため担当教員を変更 (28)
	情報科学ゼミナールⅠ	1通		2		5 4	2 4	2 4	2 1	2 1			共同 教育効果充実のため担当教員を変更 (28) 教員の採用, 昇任及び退職による変更 (29)
	情報科学ゼミナールⅡ	2通		2		5 4	2 4	2 4	2 1	2 1			共同 教育効果充実のため担当教員を変更 (28) 教員の採用, 昇任及び退職による変更 (29)
	サイエンス特別実習Ⅰ	1・2通 1・2前 後		1		16 17 18	5 12 11	5 4 5	5 4 4	5 4 4		兼 1	担当教員の退職及び昇任による変更。また, 教育効果充実のため開講期を変更 (28) 教員の採用, 昇任及び退職による変更 (29)
	サイエンス特別実習Ⅱ	1・2通 1・2前 後		1		16 17 18	5 12 11	5 4 5	5 4 4	5 4 4		兼 1	担当教員の退職及び昇任による変更。また, 教育効果充実のため開講期を変更 (28)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 6	科目 62	科目	科目 68	科目 6 []	科目 62 []	科目 []	科目 68 []	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当無し					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当無し					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の差

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計
 設置時の計画の授業科目数の計(A)

$$= \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\text{該当無し}} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	413,643 m ²	m ²	m ²	413,643 m ²				
	運 動 場 用 地	127,053 m ²	m ²	m ²	127,053 m ²				
	小 計	540,696 m ²	m ²	m ²	540,696 m ²				
	そ の 他	64,370 m ²	m ²	m ²	64,370 m ²				
	合 計	605,066 m ²	m ²	m ²	605,066 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		413,643 m ² (413,643 m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	413,643 m ² (413,643 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		103室	745室	787室	5室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		創成科学研究科基盤科学系専攻			40 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点		
	創成科学研究科 基盤科学系専攻	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
	計	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		13,063m ²		1590	1501056				
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		6,956m ²		陸上競技場, 野球場, サッカー場 他					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金）
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学						備 考		
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.04	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.05	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.00	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.07	平成18年度		
医学部								山口県宇部市雨小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.02	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.05	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.02	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.02	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.04	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.05	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.02	平成13年度		

共同獣医学部								山口県山口市吉田1677番地1	
獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.03	平成24年度		
国際総合科学部								山口県山口市吉田1677番地1	
国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度		
人文科学研究科								山口県山口市吉田1677番地1	
人文科学専攻	2	8	-	8	修士（文学）	0.43	平成28年度		
教育学研究科								山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育専攻	2	10	-	23	修士（教育学）	1.20	平成3年度		
教科教育専攻	2	17	-	45	修士（教育学）	1.14	平成3年度		
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士（専門職）	1.03	平成28年度		
経済学研究科								山口県山口市吉田1677番地1	
経済学専攻	2	16	-	32	修士（経済学）	0.74	昭和50年度		
企業経営専攻	2	10	-	20	修士（経済学）	0.55	平成7年度		
医学系研究科（医学博士）								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学専攻	4	33	-	33	博士（医学）	1.05	平成28年度		
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
医学系研究科（博士前期）								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
保健学専攻	2	12	-	24	修士（保健学）	1.20	平成17年度		
医学系研究科（博士後期）								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士（医工学）	-	平成13年度		平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士（生命科学、学術）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士（保健学）	0.80	平成19年度		
創成科学研究科（博士前期）								山口県山口市吉田1677番地1	
基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士（理学）	0.89	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
地球圏生命物質科学系専攻	2	42	-	42	修士（理学）	1.01	平成28年度		
化学系専攻	2	83	-	83	修士（工学、学術）	0.92	平成28年度		
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士（工学）	1.01	平成28年度		
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士（工学）	1.00	平成28年度		
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士（工学、学術）	0.78	平成28年度		
農学系専攻	2	42	-	42	修士（農学、生命科学）	0.74	平成28年度		
創成科学研究科（博士後期）								山口県山口市吉田1677番地1	
自然科学系専攻	3	7	-	7	博士（理学、学術）	0.49	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士（工学、学術）	0.31	平成28年度		
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士（工学、学術）	0.75	平成28年度		
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士（工学、学術）	0.95	平成28年度		
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士（医工学、生命科学、学術）	1.00	平成28年度		
理工学研究科（博士後期）								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		

東アジア研究科 東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.53	平成13年度	山口県山口市吉田1677番地1
技術経営研究科 技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.00	平成17年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
連合獣医学研究科 獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.70	平成2年度	【山口大学】 山口県山口市吉田1677番地1 【鳥取大学】 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101 【鹿児島大学】 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<創成科学研究科 基盤科学系専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	増本 誠	平成28年 4月	解析学特論Ⅰ 専門英語特別演習 基盤科学系特論 数理科学特別講究Ⅰ 数理科学特別講究Ⅱ 数理科学ゼミナールⅠ 数理科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	教授	増本 誠	平成28年 4月	解析学特論Ⅱ 専門英語特別演習 数理科学特別講究Ⅰ 数理科学特別講究Ⅱ 数理科学ゼミナールⅠ 数理科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の変更 (H29) 担当科目の削除 (H28)
専	教授	木内 功	平成28年 4月	解析学特論Ⅰ 専門英語特別演習 基盤科学系特論 数理科学特別講究Ⅰ 数理科学特別講究Ⅱ 数理科学ゼミナールⅠ 数理科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	教授	木内 功	平成28年 4月	解析学特論Ⅲ 専門英語特別演習 数理科学特別講究Ⅰ 数理科学特別講究Ⅱ 数理科学ゼミナールⅠ 数理科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の変更 (H29) 担当科目の削除 (H28)
専	教授	中内 伸光	平成28年 4月	微分幾何学特論Ⅱ 専門英語特別演習 基盤科学系特論 数理科学特別講究Ⅰ 数理科学特別講究Ⅱ 数理科学ゼミナールⅠ 数理科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	教授	中内 伸光	平成28年 4月	微分幾何学特論Ⅱ 微分幾何学特論Ⅲ 専門英語特別演習 基盤科学系特論 数理科学特別講究Ⅰ 数理科学特別講究Ⅱ 数理科学ゼミナールⅠ 数理科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の追加 (H29)
専	教授	菊政 勲	平成28年 4月	代数学特論Ⅰ 専門英語特別演習 基盤科学系特論 数理科学特別講究Ⅰ 数理科学特別講究Ⅱ 数理科学ゼミナールⅠ 数理科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	教授	菊政 勲	平成28年 4月	代数学特論Ⅰ 専門英語特別演習 数理科学特別講究Ⅰ 数理科学特別講究Ⅱ 数理科学ゼミナールⅠ 数理科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の削除 (H28)

専	准教授	廣澤 史彦	平成28年 4月	解析学特論Ⅲ 専門英語特別演習 基盤科学系特論 数理科学特別講究Ⅰ 数理科学特別講究Ⅱ 数理科学ゼミナールⅠ 数理科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	教授	廣澤 史彦	平成28年 4月	解析学特論Ⅰ 専門英語特別演習 数理科学特別講究Ⅰ 数理科学特別講究Ⅱ 数理科学ゼミナールⅠ 数理科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の変更 (H29) 担当科目の削除 (H28) 平成28年 4月教授昇任
専	准教授	倉富 要輔	平成28年 4月	代数学特論ⅠⅠ 専門英語特別演習 基盤科学系特論 数理科学特別講究Ⅰ 数理科学特別講究Ⅱ 数理科学ゼミナールⅠ 数理科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	准教授	倉富 要輔	平成28年 4月	代数学特論ⅠⅠ 専門英語特別演習 数理科学特別講究Ⅰ 数理科学特別講究Ⅱ 数理科学ゼミナールⅠ 数理科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	近藤 慶	平成28年 4月	微分幾何学特論ⅢⅢ 専門英語特別演習 基盤科学系特論 数理科学特別講究Ⅰ 数理科学特別講究Ⅱ 数理科学ゼミナールⅠ 数理科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	准教授	近藤 慶	平成28年 4月	微分幾何学特論Ⅰ 特別研究	担当科目の変更 (H29)
専	講師	鍛冶 静雄	平成28年 4月	位相幾何学特論Ⅱ 微分幾何学特論Ⅰ 専門英語特別演習 基盤科学系特論 数理科学特別講究Ⅰ 数理科学特別講究Ⅱ 数理科学ゼミナールⅠ 数理科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	准教授	鍛冶 静雄	平成28年 4月	位相幾何学特論Ⅱ 位相幾何学特論Ⅰ 専門英語特別演習 数理科学特別講究Ⅰ 数理科学特別講究Ⅱ 数理科学ゼミナールⅠ 数理科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の変更 (H29) 担当科目の削除 (H28) 平成28年4月准教授昇任

専	講師	大関 一秀	平成28年 4月	代数学特論 III 専門英語特別演習 基盤科学系特論 数理学特別講究 I 数理学特別講究 II 数理学ゼミナール I 数理学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	専 准教授	大関 一秀	平成28年 4月	代数学特論 III 代数学特論 II 専門英語特別演習 数理学特別講究 I 数理学特別講究 II 数理学ゼミナール I 数理学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	担当科目の追加 (H29) 担当科目の削除 (H28) 平成28年 4月准教授昇任
専	講師	南出 真	平成28年 4月	代数学特論 IV 専門英語特別演習 基盤科学系特論 数理学特別講究 I 数理学特別講究 II 数理学ゼミナール I 数理学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	専 講師	南出 真	平成28年 4月	代数学特論 IV 専門英語特別演習 数理学特別講究 I 数理学特別講究 II 数理学ゼミナール I 数理学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専	講師	梅田 陽子	平成28年 4月	専門英語特別演習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	専 助教	梅田 陽子	平成28年 4月	解析学特論 IV 専門英語特別演習 サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	担当科目の追加 (H29) 平成27年10月助教採用
専	教授	池田敏春	平成28年 4月	基礎数理工学特論 II 専門英語特別演習 基盤科学系特論 数理学特別講究 I 数理学特別講究 II 数理学ゼミナール I 数理学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	専 教授	池田敏春	平成28年 4月	基礎数理工学特論 II 専門英語特別演習 数理学特別講究 I 数理学特別講究 II 数理学ゼミナール I 数理学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専	教授	柳原 宏	平成28年 4月	基礎数理解析学特論 I 専門英語特別演習 基盤科学系特論 数理学特別講究 I 数理学特別講究 II 数理学ゼミナール I 数理学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	専 教授	柳原 宏	平成28年 4月	基礎数理解析学特論 I 専門英語特別演習 数理学特別講究 I 数理学特別講究 II 数理学ゼミナール I 数理学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	担当科目の削除 (H28)

専	准教授	岡田 真理	平成28年4月	応用数学特論 I 専門英語特別演習 基盤科学系特論 数理科学特別講究 I 数理科学特別講究 II 数理科学ゼミナール I 数理科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	専	准教授	岡田 真理	平成28年4月	応用数学特論 I 専門英語特別演習 数理科学特別講究 I 数理科学特別講究 II 数理科学ゼミナール I 数理科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	西山 高弘	平成28年4月	基礎数理工学特論 I 専門英語特別演習 基盤科学系特論 数理科学特別講究 I 数理科学特別講究 II 数理科学ゼミナール I 数理科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	専	准教授	西山 高弘	平成28年4月	基礎数理工学特論 I 専門英語特別演習 数理科学特別講究 I 数理科学特別講究 II 数理科学ゼミナール I 数理科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専	講師	堀田一敬		基礎数理解析学特論 II 専門英語特別演習 基盤科学系特論 数理科学特別講究 I 数理科学特別講究 II 数理科学ゼミナール I 数理科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	専	講師	堀田一敬		基礎数理解析学特論 II 専門英語特別演習 数理科学特別講究 I 数理科学特別講究 II 数理科学ゼミナール I 数理科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	担当科目の削除 (H28)
					専	講師	柳下 剛広	平成28年月4月	応用数理学特論 II 専門英語特別演習 数理科学特別講究 I 数理科学特別講究 II 数理科学ゼミナール I 数理科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	平成28年月4月 講師に採用

専	教授	朝日 孝尚	平成28年 4月	誘電体物理学特論 専門英語特別演習 基盤科学系特論 物理学特別講究 I 物理学特別講究 II 物理学ゼミナール I 物理学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	専	教授	朝日 孝尚	平成28年 4月	誘電体物理学特論 専門英語特別演習 物理学特別講究 I 物理学特別講究 II 物理学ゼミナール I 物理学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専	教授	野崎 浩二	平成28年 4月	ソフトマター物理学特論 専門英語特別演習 基盤科学系特論 物理学特別講究 I 物理学特別講究 II 物理学ゼミナール I 物理学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	専	教授	野崎 浩二	平成28年 4月	ソフトマター物理学特論 専門英語特別演習 物理学特別講究 I 物理学特別講究 II 物理学ゼミナール I 物理学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専	教授	坂井 伸之	平成28年 4月	重力場理論特論 専門英語特別演習 基盤科学系特論 物理学特別講究 I 物理学特別講究 II 物理学ゼミナール I 物理学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	専	教授	坂井 伸之	平成28年 4月	重力場理論特論 専門英語特別演習 物理学特別講究 I 物理学特別講究 II 物理学ゼミナール I 物理学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	芦田 正巳	平成28年 4月	統計物理学特論 専門英語特別演習 基盤科学系特論 物理学特別講究 I 物理学特別講究 II 物理学ゼミナール I 物理学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	専	助教	齊藤 遼	平成29年 4月	専門英語特別演習 物理学特別講究 I 物理学特別講究 II 物理学ゼミナール I 物理学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	芦田准教授（平成29年3月定年退職）の後任補充。 「統計物理学特論」は隔年開講のため、「基盤科学系特論」は他に担当教員が複数いるため、支障なし。

専	准教授	笠野 裕修	平成28年4月	回折結晶物理学特論 専門英語特別演習 基盤科学系特論 物理学特別講究Ⅰ 物理学特別講究Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	准教授	笠野 裕修	平成28年4月	回折結晶物理学特論 専門英語特別演習 物理学特別講究Ⅰ 物理学特別講究Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専	助教	藤原 哲也	平成28年4月	磁性体物理学特論 専門英語特別演習 基盤科学系特論 物理学特別講究Ⅰ 物理学特別講究Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	講師	藤原 哲也	平成28年4月	磁性体物理学特論 専門英語特別演習 物理学特別講究Ⅰ 物理学特別講究Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の削除 (H28) 平成28年1月講師昇任
専	助教	堀川 裕加	平成28年4月	凝縮系物理学特論 専門英語特別演習 基盤科学系特論 物理学特別講究Ⅰ 物理学特別講究Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	助教	堀川 裕加	平成28年4月	凝縮系物理学特論 専門英語特別演習 物理学特別講究Ⅰ 物理学特別講究Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の削除 (H28)
					専	助教	元木 業人	平成28年10月	専門英語特別演習 物理学特別講究Ⅰ 物理学特別講究Ⅱ 物理学ゼミナールⅠ 物理学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	平成28年10月助教採用

専	教授	山本 隆	平成28年4月	計算物理学特論 専門英語特別演習 基盤科学系特論 情報科学特別講究Ⅰ 情報科学特別講究Ⅱ 情報科学ゼミナールⅠ 情報科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専 准教授	韓 先花	平成29年3月	専門英語特別演習 情報科学特別講究Ⅰ 情報科学特別講究Ⅱ 情報科学ゼミナールⅠ 情報科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	山本教授（平成29年3月定年退職）の後任補充。「計算物理学特論」は隔年開講のため、「基盤科学系特論」は他に担当教員が複数いるため、支障なし。	
専	教授	内野 英治	平成28年4月	確率信号解析特論 専門英語特別演習 基盤科学系特論 情報科学特別講究Ⅰ 情報科学特別講究Ⅱ 情報科学ゼミナールⅠ 情報科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	教授	内野 英治	平成28年4月	確率信号解析特論 専門英語特別演習 情報科学特別講究Ⅰ 情報科学特別講究Ⅱ 情報科学ゼミナールⅠ 情報科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の削除（H28）
専	教授	松野 浩嗣	平成28年4月	計算構造学特論 専門英語特別演習 基盤科学系特論 情報科学特別講究Ⅰ 情報科学特別講究Ⅱ 情報科学ゼミナールⅠ 情報科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	教授	松野 浩嗣	平成28年4月	計算構造学特論 専門英語特別演習 情報科学特別講究Ⅰ 情報科学特別講究Ⅱ 情報科学ゼミナールⅠ 情報科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の削除（H28）
専	教授	西井 淳	平成28年4月	自然情報科学特論 専門英語特別演習 基盤科学系特論 情報科学特別講究Ⅰ 情報科学特別講究Ⅱ 情報科学ゼミナールⅠ 情報科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	教授	西井 淳	平成28年4月	自然情報科学特論 専門英語特別演習 情報科学特別講究Ⅰ 情報科学特別講究Ⅱ 情報科学ゼミナールⅠ 情報科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の削除（H28）

専	准教授	末竹 規哲	平成28年 4月	知的画像処理特論 専門英語特別演習 基盤科学系特論 情報科学特別講究 I 情報科学特別講究 II 情報科学ゼミナール I 情報科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	専	教授	末竹 規哲	平成28年 4月	自然情報科学特論 専門英語特別演習 情報科学特別講究 I 情報科学特別講究 II 情報科学ゼミナール I 情報科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	担当科目の削除 (H28) 平成27年 4月教授昇任
専	准教授	浦上 直人	平成28年 4月	シミュレーション科学特論 専門英語特別演習 基盤科学系特論 情報科学特別講究 I 情報科学特別講究 II 情報科学ゼミナール I 情報科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	専	准教授	浦上 直人	平成28年 4月	シミュレーション科学特論 専門英語特別演習 情報科学特別講究 I 情報科学特別講究 II 情報科学ゼミナール I 情報科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専	助教	野崎 隆之	平成28年 4月	情報伝達特論 専門英語特別演習 基盤科学系特論 情報科学特別講究 I 情報科学特別講究 II 情報科学ゼミナール I 情報科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	専	講師	野崎 隆之	平成28年 4月	情報伝達特論 専門英語特別演習 情報科学特別講究 I 情報科学特別講究 II 情報科学ゼミナール I 情報科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	担当科目の削除 (H28) 平成29年4月講師昇任
専	助教	Adrien Faure	平成28年 4月	応用シミュレーション特論 専門英語特別演習 基盤科学系特論 情報科学特別講究 I 情報科学特別講究 II 情報科学ゼミナール I 情報科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	専	助教	Adrien Faure	平成28年 4月	応用シミュレーション特論 専門英語特別演習 情報科学特別講究 I 情報科学特別講究 II 情報科学ゼミナール I 情報科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 特別研究	担当科目の削除 (H28)

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **既で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A0教員審査)を受けてください。**A0教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
6 名	4 名	1 名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
18 (17)	11 (12)	5 (4)	4 (4)	38 (37)	17	13	5	5	40	17 [△1]	13 [2]	5 [0]	5 [1]	40 [2]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				
22 (21)	15 (15)	1 (1)		22	18	0		22 [0]	18 [3]	0 [△1]				

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当無し				
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)		
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
該当無し						

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当無し				
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)		
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
該当無し						

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)		
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
該当無し				

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<創成科学研究科 基盤科学系専攻（博士前期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 修了要件単位数	変更無し
② 施設・設備	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 特に設置していないが、FDについては、副教務委員長がFD担当を兼任している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員相互の授業参観（ピア・レビュー） ・ 授業方法について研究会 ・ FD研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ピア・レビューと授業研究会は分野ごとに、研修会は全分野合同で実施している。研究会は地球科学分野のみ実施 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD研修会 2回（平成28年9月7日就職支援関係47名出席，平成29年3月15日教育改善関係48名出席） ・ ピア・レビュー 6回（数理科学分野1回，物理・情報科学分野2回，化学分野2回，地球科学分野1回） ・ 授業研究会 1回（地球科学分野） <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 問題点を共有し，次年度の授業実施の改善に向けた活発な意見交換が出来た。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年2回（前期1回，後期1回）授業評価アンケートを実施している <p>b 教員や学生への公開状況，方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD報告書を年度末に作成している
--

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成28年度に開設し、現在まで概ね順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年3月末 公表予定

b 公表方法

・山口大学活動白書を作成し、大学ホームページにて公開を行う。

③ 認証評価を受ける計画

・昨年度（平成27年度）に独立行政法人大学評価・学位授与機構による機関別認証評価を受審。次回受審年度については検討中。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年9月1日（予定）)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山口大学

(2) 大学名

山口大学

(3) 大学の位置

〒753-8511
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オカ マサアキ) 岡 正朗 (平成26年4月1日)		
研究科長	(シンジ マサト) 進士 正人 (平成28年4月1日)		
専攻長	(サカグチ アリト) 坂口 有人 (平成28年4月1日)	(ミヤタ ユウイチロウ) 宮田 雄一郎 (平成29年4月1日)	変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成29年4月1日(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
 平成29年度に報告する内容 → (29)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 地球圏生命物質科学系専攻 (博士前期課程) 修士(理学)	理学関係	2年	42人	84人	基礎となる学部等 理学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	平成27年度	平成27年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	42人	人	42人	人	1.01倍	
志願者数	() []	() []	40 [-]	0 [-]	62 [-]	() []		
受験者数	() []	() []	40 [-]	0 [-]	60 [-]	() []		
合格者数	() []	() []	38 [-]	0 [-]	58 []	() []		
B 入学者数	() []	() []	34 [-]	0 [-]	52 [-]	() []		
入学定員超過率 B/A			0.80		1.23			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, **計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	34 [-] (-)	0 [-] (-)	52 [-]	[]	
2年次	/		[] ()	[] ()	34 [-] (-)	0 [-] (-)	
3年次			/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()			34 [-] (-)	[] ()	86 [-] (-)

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	34 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	進路変更(教員への就職を目指す)	2.94 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	52 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	86 人	1 人					1.16 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<創成科学研究科 地球圏生命物質科学系専攻（博士前期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1前	1			1						兼2
	知的財産特論	1後	1			1						兼2
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1		1						兼2
	プレゼンテーション特論	1後		1		1						兼2
	【イノベーション教育科目】											
研究開発戦略論	1・2前	2			1						兼2	
企業経営と財務	1・2後		2		1						兼2	
【キャリア教育科目】												
キャリアデザインI	1後			1	1						兼2	
学外特別研修I	1・2前・後			1~2	1							
長期インターンシップI	1・2前・後			6	1							
専攻基盤科目	専門英語特別演習	1・2前・後	1			16 15	16 13	1 2	4 2			オムニバス 教員の退職、昇任、採用による変更(29) オムニバス 具体的な担当教員の確定による変更及び教育効果充実のため教員(助教1名)を追加(28) 教育効果充実のため教員(兼担1名)を追加(29) 兼1
	地球圏生命物質科学系特論	1前	2			7 15	1 13	2 2				オムニバス 具体的な担当教員の確定による変更(28) 兼1
	生物科学特別講義I	1通		2		5 7	5 7	2 1	3 1			開設クラスの確定による変更及び教育効果充実のため教員(助教1名)を追加(28) 教員の採用(29) 兼1
	生物科学特別講義II	2通		2		5 7	5 7	2 1	3 1			開設クラスの確定による変更及び教育効果充実のため教員(助教1名)を追加(28) 教員の採用(29) 兼1
	生物科学ゼミナールI	1通		2		5 7	5 7	2 1	3 1			開設クラスの確定による変更及び教育効果充実のため教員(助教1名)を追加(28) 教員の採用(29) 兼1
	生物科学ゼミナールII	2通		2		5 7	5 7	2 1	3 1			開設クラスの確定による変更及び教育効果充実のため教員(助教1名)を追加(28) 兼1
	化学特別講義I	1通		2		5 4	6 4	4 1	2 2			担当教員の昇任に伴う変更(28) 兼2
	化学特別講義II	2通		2		5 4	6 4	4 1	2 2			担当教員の昇任に伴う変更(28) 兼2
	化学ゼミナールI	1通		2		5 4	6 4	4 1	2 2			担当教員の昇任に伴う変更(28) 兼2
	化学ゼミナールII	2通		2		5 4	6 4	4 1	2 2			担当教員の昇任に伴う変更(28) 兼2
	地球科学特別講義I	1通		2		6 5	4 6	5 6	1 1			開設クラスの確定による変更及び教育効果充実のため担当教員を変更(28) 教員の採用(29) 兼1
	地球科学特別講義II	2通		2		6 5	4 6	5 6	1 1			開設クラスの確定による変更及び教育効果充実のため担当教員を変更(28) 教員の採用(29) 兼1
	地球科学ゼミナールI	1通		2		6 5	4 6	5 6	1 1			開設クラスの確定による変更及び教育効果充実のため担当教員を変更(28) 教員の採用(29) 兼1
	地球科学ゼミナールII	2通		2		6 5	4 6	5 6	1 1			開設クラスの確定による変更及び教育効果充実のため担当教員を変更(28) 兼1
	サイエンス特別実習I	1・2通 1・2前		1		16 15	16	1 2	4 3			上記の変更まとめ 具体的な担当教員確定による変更。また、教育効果充実のため開講期を変更(28) 兼1
	サイエンス特別実習II	1・2通 1・2後		1		16 15	16	1 2	4 3			上記の変更まとめ 具体的な担当教員確定による変更。また、教育効果充実のため開講期を変更(28) 兼1

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 6	科目 60	科目	科目 66	科目 6	科目 60	科目	科目 66	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当無し					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当無し					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の差

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\text{該当無し}} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	413,643 m ²	m ²	m ²	413,643 m ²				
	運動場用地	127,053 m ²	m ²	m ²	127,053 m ²				
	小 計	540,696 m ²	m ²	m ²	540,696 m ²				
	そ の 他	64,370 m ²	m ²	m ²	64,370 m ²				
	合 計	605,066 m ²	m ²	m ²	605,066 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		413,643 m ² (413,643 m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	413,643 m ² (413,643 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	103室	745室	787室	5室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数					
		創成科学研究科地球圏生命物質科学系専攻		37 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕				点	点
	創成科学研究科地球圏生命物質科学系専攻	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
	計	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	13,063m ²		1590		1501056				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	6,956m ²		陸上競技場, 野球場, サッカー場 他						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金）
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学						備 考		
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.04	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.05	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.00	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.07	平成18年度		
医学部								山口県宇部市雨小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.02	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.05	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.02	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.02	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.04	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.05	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.02	平成13年度		

共同獣医学部 獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.03	平成24年度	山口県山口市吉田1677番地1	
国際総合科学部 国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度	山口県山口市吉田1677番地1	
人文科学研究科 人文科学専攻	2	8	-	8	修士（文学）	0.43	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
教育学研究科 学校教育専攻	2	10	-	23	修士（教育学）	1.20	平成3年度	山口県山口市吉田1677番地1	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士（教育学）	1.14	平成3年度		
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士（専門職）	1.03	平成28年度		
経済学研究科 経済学専攻	2	16	-	32	修士（経済学）	0.74	昭和50年度	山口県山口市吉田1677番地1	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士（経済学）	0.55	平成7年度		
医学系研究科（医学博士） 医学専攻	4	33	-	33	博士（医学）	1.05	平成28年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
医学系研究科（博士前期） 保健学専攻	2	12	-	24	修士（保健学）	1.20	平成17年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学系研究科（博士後期） 応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士（医工学）	-	平成13年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士（生命科学、学術）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士（保健学）	0.80	平成19年度		
創成科学研究科（博士前期） 基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士（理学）	0.89	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
地球圏生命物質科学系専攻	2	42	-	42	修士（理学）	1.01	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
化学系専攻	2	83	-	83	修士（工学、学術）	0.92	平成28年度		
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士（工学）	1.01	平成28年度		
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士（工学）	1.00	平成28年度		
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士（工学、学術）	0.78	平成28年度		
農学系専攻	2	42	-	42	修士（農学、生命科学）	0.74	平成28年度		
創成科学研究科（博士後期） 自然科学系専攻	3	7	-	7	博士（理学、学術）	0.49	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士（工学、学術）	0.31	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士（工学、学術）	0.75	平成28年度		
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士（工学、学術）	0.95	平成28年度		
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士（医工学、生命科学、学術）	1.00	平成28年度		
理工学研究科（博士後期） 自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		

東アジア研究科 東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.53	平成13年度	山口県山口市吉田1677番地1
技術経営研究科 技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.00	平成17年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
連合獣医学研究科 獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.70	平成2年度	【山口大学】 山口県山口市吉田1677番地1 【鳥取大学】 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101 【鹿児島大学】 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<創成科学研究科 地球圏生命物質科学系専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	宮川 勇	平成28年4月	微生物細胞機能学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 生物科学特論Ⅱ 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	教授	宮川 勇	平成28年4月	微生物細胞機能学特論 専門英語特別演習 生物科学特論Ⅱ 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専	教授	岩尾 康宏	平成28年4月	分子生殖生物学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 生物科学特論Ⅱ 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	教授	岩尾 康宏	平成28年4月	分子生殖生物学特論 専門英語特別演習 生物科学特論Ⅱ 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専	教授	村上 柳太郎	平成28年4月	発生遺伝学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 生物科学特論Ⅰ 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	教授	村上 柳太郎	平成28年4月	発生遺伝学特論 専門英語特別演習 生物科学特論Ⅰ 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の削除 (H28)

専	教授	祐村 恵彦	平成28年 4月	分子細胞生理学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 生物科学特論Ⅱ 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	教授	祐村 恵彦	平成28年 4月	分子細胞生理学特論 専門英語特別演習 生物科学特論Ⅱ 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専	教授	藤島 政博	平成28年 4月	専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	准教授	武宮 淳史	平成28年 4月	専門英語特別演習 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究 生物科学特論Ⅱ	藤島教授（平成28年3月定年退職）の後任補充「地球圏生命物質科学系特論」は、他に担当教員が複数いるため、支障なし。
専	准教授	山中 明	平成28年 4月	環境生物学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 生物科学特論Ⅰ 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	教授	山中 明	平成28年 4月	環境生物学特論 専門英語特別演習 生物科学特論Ⅰ 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の削除 (H28) 平成27年10月教授に昇任
専	准教授	渡辺 雅夫	平成28年 4月	生物科学特論Ⅰ 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 生物科学特論Ⅰ 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	助教	小島 渉	平成29年 4月	専門英語特別演習 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	渡辺准教授（平成29年3月定年退職）の後任補充「地球圏生命物質科学系特論」及び「生物科学特論Ⅰ」は、他に担当教員が複数いるため、支障なし。

専	准教授	堀 学	平成28年 4月	分子遺伝学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 生物科学特論Ⅱ 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	准教授	堀 学	平成28年 4月	分子遺伝学特論 専門英語特別演習 生物科学特論Ⅱ 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	武宮 淳史	平成28年 4月	専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	准教授	武宮 淳史	平成28年 4月	専門英語特別演習 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究 生物科学特論Ⅱ	担当科目の削除 (H28) 平成28年4月准教授採用 担当科目の追加 (H29)
専	准教授	三角 修己	平成28年 4月	分子細胞機能学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 生物科学特論Ⅱ 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	准教授	三角 修己	平成28年 4月	分子細胞機能学特論 専門英語特別演習 生物科学特論Ⅱ 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	上野 秀一	平成28年 4月	細胞増殖分化学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 生物科学特論Ⅰ 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	准教授	上野 秀一	平成28年 4月	細胞増殖分化学特論 専門英語特別演習 生物科学特論Ⅰ 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の削除 (H28)

専	助教	原田 由美子	平成28年 4月	専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 生物科学特論Ⅱ 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	専	助教	原田 由美子	平成28年 4月	専門英語特別演習 生物科学特論Ⅱ 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	担当科目の削除 (H28)
					専	助教	原 裕貴	平成28年4月	専門英語特別演習 生物科学特別講究Ⅰ 生物科学特別講究Ⅱ 生物科学ゼミナールⅠ 生物科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 特別研究	平成27年 6月助教採用
専	准教授	上條 真	平成28年 4月	生命有機金属化学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 化学特別講究Ⅰ 化学特別講究Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 先端化学特論 特別研究	専	准教授	上條 真	平成28年 4月	生命有機金属化学特論 専門英語特別演習 化学特別講究Ⅰ 化学特別講究Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 先端化学特論 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	村上 良子	平成28年 4月	分析化学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 化学特別講究Ⅰ 化学特別講究Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 先端化学特論 特別研究	専	准教授	村上 良子	平成28年 4月	分析化学特論 専門英語特別演習 化学特別講究Ⅰ 化学特別講究Ⅱ 化学ゼミナールⅠ 化学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 先端化学特論 特別研究	担当科目の削除 (H28)

専 准教授	安達 健太	平成28年 4月	機能表面化学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 化学学特別講究 I 化学特別講究 II 化学ゼミナール I 化学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 先端化学特論 特別研究	専 准教授	安達 健太	平成28年 4月	機能表面化学特論 専門英語特別演習 化学学特別講究 I 化学特別講究 II 化学ゼミナール I 化学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 先端化学特論 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専 准教授	網島 亮	平成28年 4月	固体化学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 化学学特別講究 I 化学特別講究 II 化学ゼミナール I 化学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 先端化学特論 特別研究	専 准教授	網島 亮	平成28年 4月	固体化学特論 専門英語特別演習 化学学特別講究 I 化学特別講究 II 化学ゼミナール I 化学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 先端化学特論 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専 講師	谷 誠治	平成28年 4月	計算化学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 化学学特別講究 I 化学特別講究 II 化学ゼミナール I 化学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 先端化学特論 特別研究	専 准教授	谷 誠治	平成28年 4月	計算化学特論 専門英語特別演習 化学学特別講究 I 化学特別講究 II 化学ゼミナール I 化学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 先端化学特論 特別研究	担当科目の削除 (H28) 平成28年4月准教授に昇任
専 助教	鈴木 康孝	平成28年 4月	専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 化学学特別講究 I 化学特別講究 II 化学ゼミナール I 化学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 先端化学特論 特別研究	専 准教授	鈴木 康孝	平成28年 4月	専門英語特別演習 化学学特別講究 I 化学特別講究 II 化学ゼミナール I 化学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 先端化学特論 特別研究	担当科目の削除 (H28) 平成28年4月准教授に昇任

専	助教	檜木野 宏	平成28年 4月	専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 化学学特別講究 I 化学特別講究 II 化学ゼミナール I 化学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 先端化学特論特別研究	専	助教	檜木野 宏	平成28年 4月	専門英語特別演習 化学学特別講究 I 化学特別講究 II 化学ゼミナール I 化学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 先端化学特論特別研究	担当科目の削除 (H28) 平成28年4月助教に採用
専	教授	宮田 雄一郎	平成28年 4月	堆積学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 地球科学特別講究 I 地球科学特別講究 II 地球科学ゼミナール I 地球科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 最先端地球科学特論 I 最先端地球科学特論 II 特別研究	専	教授	宮田 雄一郎	平成28年 4月	堆積学特論 専門英語特別演習 地球科学学特別講究 I 地球科学特別講究 II 地球科学ゼミナール I 地球科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 最先端地球科学特論 I 最先端地球科学特論 II 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専	教授	脇田 浩二	平成28年 4月	地質情報学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 地球科学特別講究 I 地球科学特別講究 II 地球科学ゼミナール I 地球科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 最先端地球科学特論 I 最先端地球科学特論 II 特別研究	専	教授	脇田 浩二	平成28年 4月	地質情報学特論 専門英語特別演習 地球科学学特別講究 I 地球科学特別講究 II 地球科学ゼミナール I 地球科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 最先端地球科学特論 I 最先端地球科学特論 II 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専	教授	志村 俊昭	平成28年 4月	変成岩岩石学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 地球科学特別講究 I 地球科学特別講究 II 地球科学ゼミナール I 地球科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 最先端地球科学特論 I 最先端地球科学特論 II 特別研究	専	教授	志村 俊昭	平成28年 4月	変成岩岩石学特論 専門英語特別演習 地球科学学特別講究 I 地球科学特別講究 II 地球科学ゼミナール I 地球科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 最先端地球科学特論 I 最先端地球科学特論 II 特別研究	担当科目の削除 (H28)

専	准教授	坂口 有人	平成28年 4月	付加体地質学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 地球科学特別講究 I 地球科学特別講究 II 地球科学ゼミナール I 地球科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 最先端地球科学特論 I 最先端地球科学特論 II 特別研究	専	教授	坂口 有人	平成28年 4月	付加体地質学特論 専門英語特別演習 地球科学学特別講究 I 地球科学特別講究 II 地球科学ゼミナール I 地球科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 最先端地球科学特論 I 最先端地球科学特論 II 特別研究	担当科目の削除 (H28) 平成27年 4月教授に昇任
専	准教授	澤井 長雄	平成28年 4月	資源物質学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 地球科学特別講究 I 地球科学特別講究 II 地球科学ゼミナール I 地球科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 最先端地球科学特論 I 最先端地球科学特論 II 特別研究	専	准教授	澤井 長雄	平成28年 4月	資源物質学特論 専門英語特別演習 地球科学学特別講究 I 地球科学特別講究 II 地球科学ゼミナール I 地球科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 最先端地球科学特論 I 最先端地球科学特論 II 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	阿部 利弥	平成28年 4月	結晶成長学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 地球科学特別講究 I 地球科学特別講究 II 地球科学ゼミナール I 地球科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 最先端地球科学特論 I 最先端地球科学特論 II 特別研究	専	准教授	阿部 利弥	平成28年 4月	結晶成長学特論 専門英語特別演習 地球科学学特別講究 I 地球科学特別講究 II 地球科学ゼミナール I 地球科学ゼミナール II サイエンス特別実習 I サイエンス特別実習 II 最先端地球科学特論 I 最先端地球科学特論 II 特別研究	担当科目の削除 (H28)

専	准教授	川村 喜一郎	平成28年 4月	海洋底地質学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 地球科学特別講究Ⅰ 地球科学特別講究Ⅱ 地球科学ゼミナールⅠ 地球科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 最先端地球科学特論Ⅰ 最先端地球科学特論Ⅱ 特別研究	専	准教授	川村 喜一郎	平成28年 4月	海洋底地質学特論 専門英語特別演習 地球科学学特別講究Ⅰ 地球科学特別講究Ⅱ 地球科学ゼミナールⅠ 地球科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 最先端地球科学特論Ⅰ 最先端地球科学特論Ⅱ 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	永高 真理子	平成28年 4月	鉱物科学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 地球科学特別講究Ⅰ 地球科学特別講究Ⅱ 地球科学ゼミナールⅠ 地球科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 最先端地球科学特論Ⅰ 最先端地球科学特論Ⅱ 特別研究	専	准教授	永高 真理子	平成28年 4月	鉱物科学特論 専門英語特別演習 地球科学学特別講究Ⅰ 地球科学特別講究Ⅱ 地球科学ゼミナールⅠ 地球科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 最先端地球科学特論Ⅰ 最先端地球科学特論Ⅱ 特別研究	担当科目の削除 (H28)
専	講師	大橋 聖和	平成28年 4月	実験岩石力学特論 専門英語特別演習 地球圏生命物質科学系特論 地球科学特別講究Ⅰ 地球科学特別講究Ⅱ 地球科学ゼミナールⅠ 地球科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 最先端地球科学特論Ⅰ 最先端地球科学特論Ⅱ 特別研究	専	講師	大橋 聖和	平成28年 4月	実験岩石力学特論 専門英語特別演習 地球科学学特別講究Ⅰ 地球科学特別講究Ⅱ 地球科学ゼミナールⅠ 地球科学ゼミナールⅡ サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ 最先端地球科学特論Ⅰ 最先端地球科学特論Ⅱ 特別研究	担当科目の削除 (H28)

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A0教員審査)を受けてください。**A0教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
6 名	4 名	1 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
15	16	2	3	36	16	16	1	4	37	16	16	1	4	37
(16)	(16)	(1)	(3)	(36)						[1]	[0]	[Δ1]	[1]	[1]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				
15	20	1		16	21	0		16	21	0				
(16)	(19)	(1)						[1]	[1]	[Δ1]				

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当無し				
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
該当無し						

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当無し				
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)	
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
該当無し						

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)		
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
該当無し				

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<創成科学研究科 地球圏生命物質科学系専攻（博士前期課程）>

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数	変更無し
② 施設・設備	

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 特に設置していないが、FDについては、副教務委員長がFD担当を兼任している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員相互の授業参観（ピア・レビュー） ・ 授業方法について研究会 ・ FD研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ピア・レビューと授業研究会は分野ごとに、研修会は全分野合同で実施している。研究会は地球科学分野のみ実施 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD研修会 2回（平成28年9月7日就職支援関係47名出席，平成29年3月15日教育改善関係48名出席） ・ ピア・レビュー 6回（数理科学分野1回，物理・情報科学分野2回，化学分野2回，地球科学分野1回） ・ 授業研究会 1回（地球科学分野） <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 問題点を共有し，次年度の授業実施の改善に向けた活発な意見交換が出来た。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年2回（前期1回，後期1回）授業評価アンケートを実施している <p>b 教員や学生への公開状況，方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD報告書を年度末に作成している
--

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成28年度に開設し、現在まで概ね順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年3月末 公表予定

b 公表方法

・山口大学活動白書を作成し、大学ホームページにて公開を行う。

③ 認証評価を受ける計画

・昨年度（平成27年度）に独立行政法人大学評価・学位授与機構による機関別認証評価を受審。次回受審年度については検討中。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年9月1日（予定）)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山口大学

(2) 大学名

山口大学

(3) 大学の位置

〒753-8511
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オカ マサアキ) 岡 正朗 (平成26年4月1日)		
研究科長	(シンジ マサト) 進士 正人 (平成28年4月1日)		
専攻長	(オニムラ ケンジロウ) 鬼村 謙二郎 (平成28年4月1日)	(ナカヤマ マサハル) 中山 雅晴 (平成29年4月1日)	変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成29年4月1日(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
 平成29年度に報告する内容 → (29)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 化学系専攻 (博士前期課程) 修士(工学) 修士(学術)	工学関係	2年	83人	166人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	平成27年度	平成28年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	83人	若干名	83人	人	0.92倍	
志願者数	() []	() []	(-) [2]	(-) [-]	(-) [1]	() []		
受験者数	() []	() []	74 [2]	2 [-]	88 [1]	() []		
合格者数	() []	() []	(-) [2]	(-) [-]	(-) [1]	() []		
B 入学者数	() []	() []	(-) [2]	(-) [-]	(-) [1]	() []		
入学定員超過率 B/A			0.87		0.97			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	73 [2] ()	0 [-] ()	81 [1] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	73 [2] (-)	0 [-] (-)	
3年次			/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[2] (-)			73	[3] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<創成科学研究科 化学系専攻（博士前期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1後 4前	1			1					兼2	教育効果充実のため、開講期変更（28）
	知的財産特論	1前 4後	1			1					兼1	具体的な担当教員の確定による変更及び教育効果充実のため開講期変更（28）
	サイエンティフィック・ライティング	1前 4後	1	1		1					兼2	具体的な担当教員の確定による変更（28）
	プレゼンテーション特論	1前 4後	1	1		1					兼3 兼2	具体的な担当教員の確定による変更（28）
	【イノベーション教育科目】											
	研究開発戦略論	1・2前 1・2前	2			1					兼2	具体的な担当教員の確定による変更（28）
	企業経営と財務	4・2後	2			1					兼2	教育効果充実のため、開講期変更（28）
	【キャリア教育科目】											
	キャリアデザインⅠ	1後 1・2前・後	1	1~2		1					兼2	具体的な担当教員の確定による変更（28）
学外特別研修Ⅰ	1・2前・後	6			1							
長期インターンシップⅠ	1・2前・後	6			1							
専攻基盤科目	専門英語特別演習	1・2通 4・2前・後	1			16	13	1		6		教員の退職による変更（29） 教育効果充実のため、開講期及び担当教員変更（28）
	化学系特論	1・2前 4前	2			1						
	化学系ゼミナールⅠ	1通 4前・後	2			16	13	1		6	5	教員の退職による変更（29） 教育効果充実のため、開講期及び担当教員変更（28）
	化学系ゼミナールⅡ	2通 2前・後	2			16	13	1		6	7	教員の退職による変更（29） 教育効果充実のため、開講期及び担当教員変更（28）
	科学・技術英語特論	1・2前 4後	2								兼1	教育効果充実のため、配当年次を変更（28）
	基礎数理解析学特論Ⅰ	1・2前 1・2前	2								兼1	教育効果充実のため、開講期を変更（28）
	基礎数理解析学特論Ⅱ	4・2後 1・2後	2								兼1	教育効果充実のため、開講期を変更（28）
	基礎数理工学特論Ⅰ	4・2前 1・2後	2								兼1	
	基礎数理工学特論Ⅱ	1・2前 1・2前	2								兼1	
	応用数学特論Ⅰ	1・2後 1・2後	2								兼1	
	応用数学特論Ⅱ	1・2前 1・2後	2								兼1	
	高度ものづくり創成演習Ⅰ	1前	2						5		兼1	教育効果充実のため、担当教員を追加（29） 教育効果充実のため、担当教員を変更（28）
	高度ものづくり創成演習Ⅱ	1後	2			1					兼1	教育効果充実のため、担当教員を変更（28）

専 門 科 目	労働安全衛生特論	1・2通								教育効果充実のため、配当年次を変更 (28)
	物質構造科学特論	1通	2	1						
	光・電子機能化学特論	1・2後	2		1					
		1・2前	2	2					1	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)
	結晶工学特論	1・2前	2	1						
	材料分析学特論	1・2前	2		1					
	光機能材料工学特論	1・2前	2		1					
	高分子化学特論	1・2後	2	1						担当教員の昇任に伴う変更 (28)
					1					
	化学分析特論	1・2後	2		4					
	電子化学特論	1・2前	2	1						
	溶液化学特論	1・2後	2		1					
		1・2前		1						担当教員の昇任に伴う変更及び教育効果充実のための開講期変更 (28)
	表面材料化学特論	1・2後	2		4					
	物質化学英語	1・2前	2	2						
		1・2通		7	4		2			教育効果充実のため、配当年次及び担当教員の変更 (28)
	物質化学特別演習 I	1前→後	2	6	6					
		1・2通		7	4		2			教育効果充実のため、配当年次及び担当教員の変更 (28)
	物質化学特別演習 II	1前→後	2	6	6					
		1・2通		1						教育効果充実のため、配当年次及び担当教員の変更 (28)
	生命化学特論	1前	2	2	2					
		1・2通		1						教育効果充実のため、配当年次及び担当教員の変更 (28)
	最先端生命化学特別演習	1前→後	2	4	3		1			
		1・2前					1			教育効果充実のため、配当年次及び担当教員の変更 (28)
	有機化学特論	1前	2	1	1					
		1・2前								教育効果充実のため、配当年次及び担当教員の変更 (28)
	生命化学工学特論	1前	2	1	1		4			
				2						教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)
	生命機能化学特論	1・2後								教育効果充実のため、配当年次を変更 (28)
		1前	2	4	1					
	1・2後								教育効果充実のため、配当年次及び担当教員の変更 (28)	
有機化学特別演習	1後	2	1	1		4				
	1・2通					1			教育効果充実のため、配当年次及び担当教員の変更 (28)	
生命化学工学特別演習	1後	2	1	1						
			2						教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)	
	1・2通								教育効果充実のため、配当年次を変更 (28)	
生命機能化学特別演習	1後	2	4	1						
	1・2通							兼3	教育効果充実のため、配当年次及び担当教員の変更 (28)	
生命医学特論	1前	2	2							
	1・2前		3						教育効果充実のため、開講期及び担当教員の変更 (28)	
科学計測特論	1・2後	2	5	6	1					
	1・2前								教育効果充実のため、配当年次及び担当教員の変更 (28)	
環境化学特論 I	1前	2	4	2	1					
								1	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)	
	1・2前								教育効果充実のため、配当年次及び担当教員の変更 (28)	
環境材料特論	1前	2	1					兼1		
	1・2前		2	1					教育効果充実のため、配当年次及び担当教員の変更 (28)	
化学工学技士特論 I	1前	2	3	4						

環境化学特論Ⅱ	1・2後		2		1	2	1			教育退職に伴う担当教員変更(28)
化学工学技士特論Ⅱ	1・2後		2		3	4		1		教育効果充実のため、担当教員を変更(28)
化学工学技士特論Ⅲ	2前		2		3	4				教育効果充実のため、担当教員を追加(29)
	1・2後				1	2				教育効果充実のため、担当教員を変更(28)
化学工業の新展開	1・2前		2		3	4				教育効果充実のため、開講期及び担当教員変更(28)
特別研究Ⅰ	1通	2			16	13		6		教員の退職による変更(29)
					15	15	1	7		教育効果充実のため、担当教員変更(28)
特別研究Ⅱ	2通	4			16	13		6		教員の退職による変更(29)
					15	15	1	7		教育効果充実のため、担当教員変更(28)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
9	46		55	9	46		55	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当無し					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当無し					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の差

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\text{該当無し}} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	413,643 m ²	m ²	m ²	413,643 m ²				
	運動場用地	127,053 m ²	m ²	m ²	127,053 m ²				
	小 計	540,696 m ²	m ²	m ²	540,696 m ²				
	そ の 他	64,370 m ²	m ²	m ²	64,370 m ²				
	合 計	605,066 m ²	m ²	m ²	605,066 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		413,643 m ² (413,643 m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	413,643 m ² (413,643 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		103室	745室	787室	5室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		創成科学研究科化学系専攻			35 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕					
	創成科学研究科化学系専攻	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
	計	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	13,063m ²		1590		1501056				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	6,956m ²		陸上競技場, 野球場, サッカー場 他						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金）
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学						備 考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.04	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.05	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.00	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.07	平成18年度		
医学部								山口県宇部市雨小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.02	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.05	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.02	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.02	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.04	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.05	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.02	平成13年度		

共同獣医学部 獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.03	平成24年度	山口県山口市吉田1677番地1	
国際総合科学部 国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度	山口県山口市吉田1677番地1	
人文科学研究科 人文科学専攻	2	8	-	8	修士（文学）	0.43	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
教育学研究科 学校教育専攻	2	10	-	23	修士（教育学）	1.20	平成3年度	山口県山口市吉田1677番地1	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士（教育学）	1.14	平成3年度		
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士（専門職）	1.03	平成28年度		
経済学研究科 経済学専攻	2	16	-	32	修士（経済学）	0.74	昭和50年度	山口県山口市吉田1677番地1	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士（経済学）	0.55	平成7年度		
医学系研究科（医学博士） 医学専攻	4	33	-	33	博士（医学）	1.05	平成28年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
医学系研究科（博士前期） 保健学専攻	2	12	-	24	修士（保健学）	1.20	平成17年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学系研究科（博士後期） 応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士（医工学）	-	平成13年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士（生命科学、学術）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士（保健学）	0.80	平成19年度		
創成科学研究科（博士前期） 基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士（理学）	0.89	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
地球圏生命物質科学系専攻	2	42	-	42	修士（理学）	1.01	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
化学系専攻	2	83	-	83	修士（工学、学術）	0.92	平成28年度		
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士（工学）	1.01	平成28年度		
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士（工学）	1.00	平成28年度		
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士（工学、学術）	0.78	平成28年度		
農学系専攻	2	42	-	42	修士（農学、生命科学）	0.74	平成28年度		
創成科学研究科（博士後期） 自然科学系専攻	3	7	-	7	博士（理学、学術）	0.49	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士（工学、学術）	0.31	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士（工学、学術）	0.75	平成28年度		
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士（工学、学術）	0.95	平成28年度		
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士（医工学、生命科学、学術）	1.00	平成28年度		
理工学研究科（博士後期） 自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		

東アジア研究科 東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.53	平成13年度	山口県山口市吉田1677番地1
技術経営研究科 技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.00	平成17年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
連合獣医学研究科 獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.70	平成2年度	<p>【山口大学】 山口県山口市吉田1677番地1</p> <p>【鳥取大学】 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101</p> <p>【鹿児島大学】 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号</p>

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<創成科学研究科 化学系専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	赤田 倫治	平成28年4月	生命機能化学特論 生命機能化学特別演習 最先端生命化学特別演習 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	赤田 倫治	平成28年4月	生命機能化学特論 生命機能化学特別演習 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
専	教授	上村 明男	平成28年4月	有機化学特論 有機化学特別演習 最先端生命化学特別演習 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	上村 明男	平成28年4月	有機化学特論 有機化学特別演習 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
専	教授	堤 宏守	平成28年4月	最先端生命化学特別演習 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	堤 宏守	平成29年4月	生命化学特論 生命機能化学特別演習 生命機能化学特論 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (H29) 担当科目の追加 (H29)
専	教授	鬼村 謙二郎	平成28年4月	労働安全衛生特論 高分子化学特論 物質化学特別演習Ⅰ 物質化学特別演習Ⅱ 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	鬼村 謙二郎	平成28年4月	高分子化学特論 物質化学特別演習Ⅰ 物質化学特別演習Ⅱ 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の削除 (H29)

専	教授	比嘉 充	平成28年 4月	環境材料特論 科学計測特論 化学工学技士特論Ⅰ 化学工学技士特論Ⅱ 化学工学技士特論Ⅲ 化学工業の新展開 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	比嘉 充	平成28年 4月	環境材料特論 科学計測特論 化学工業の新展開 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の削除 (H28) 担当科目の削除 (H28) 担当科目の削除 (H28)
専	教授	中倉 英雄	平成28年 4月	科学計測特論 化学工学技士特論Ⅰ 化学工学技士特論Ⅱ 化学工学技士特論Ⅲ 化学工業の新展開 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	中倉 英雄	平成28年 4月	科学計測特論 化学工学技士特論Ⅰ 化学工業の新展開 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の削除 (H28) 担当科目の削除 (H28)
専	教授	佐伯 隆	平成28年 4月	科学計測特論 化学工学技士特論Ⅰ 化学工学技士特論Ⅱ 化学工学技士特論Ⅲ 化学工業の新展開 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	佐伯 隆	平成28年 4月	科学計測特論 化学工学技士特論Ⅰ 化学工学技士特論Ⅲ 化学工業の新展開 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	酒多 喜久	平成28年 4月	化学系特論 表面材料化学特論 物質化学特別演習Ⅰ 物質化学特別演習Ⅱ 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	酒多 喜久	平成28年 4月	化学系特論 労働安全衛生特論 表面材料化学特論 物質化学特別演習Ⅰ 物質化学特別演習Ⅱ 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (H28) 平成28年1月教授昇任

専	准教授	吉本 信子	平成28年 4月	化学分析特論 物質化学特別演習 I 物質化学特別演習 II 専門英語特別演習 化学系ゼミナール I 化学系ゼミナール II 特別研究 I 特別研究 II	専	教授	吉本 信子	平成28年 4月	化学分析特論 物質化学特別演習 I 物質化学特別演習 II 専門英語特別演習 化学系ゼミナール I 化学系ゼミナール II 特別研究 I 特別研究 II	平成28年4月教授昇任
専	准教授	西形 孝司	平成28年 4月	有機化学特論 有機化学特別演習 最先端生命化学特別演習 専門英語特別演習 化学系ゼミナール I 化学系ゼミナール II 特別研究 I 特別研究 II	専	准教授	西形 孝司	平成28年 4月	有機化学特論 有機化学特別演習 専門英語特別演習 化学系ゼミナール I 化学系ゼミナール II 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	星田 尚司	平成28年 4月	生命機能化学特論 生命機能化学特別演習 最先端生命化学特別演習 専門英語特別演習 化学系ゼミナール I 化学系ゼミナール II 特別研究 I 特別研究 II	専	准教授	星田 尚司	平成28年 4月	生命機能化学特論 生命機能化学特別演習 専門英語特別演習 化学系ゼミナール I 化学系ゼミナール II 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	吉本 誠	平成28年 4月	生命化学工学特論 生命化学工学特別演習 最先端生命化学特別演習 専門英語特別演習 化学系ゼミナール I 化学系ゼミナール II 特別研究 I 特別研究 II	専	准教授	吉本 誠	平成28年 4月	生命化学工学特論 生命化学工学特別演習 専門英語特別演習 化学系ゼミナール I 化学系ゼミナール II 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	小淵 茂寿	平成28年 4月	科学計測特論 化学工学技士特論 I 化学工学技士特論 II 化学工学技士特論 III 化学工業の新展開 専門英語特別演習 化学系ゼミナール I 化学系ゼミナール II 特別研究 I 特別研究 II	専	准教授	小淵 茂寿	平成28年 4月	科学計測特論 化学工学技士特論 II 化学工学技士特論 III 化学工業の新展開 専門英語特別演習 化学系ゼミナール I 化学系ゼミナール II 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の削除 (H28)

専	准教授	通阪 栄一	平成28年4月	科学計測特論 化学工学修士特論Ⅰ 化学工学修士特論Ⅱ 化学工学修士特論Ⅲ 化学工業の新展開 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	通阪 栄一	平成28年4月	科学計測特論 化学工学修士特論Ⅱ 化学工学修士特論Ⅲ 化学工業の新展開 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	熊切 泉	平成28年4月	化学工学修士特論Ⅰ 化学工学修士特論Ⅱ 化学工学修士特論Ⅲ 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	熊切 泉	平成28年4月	化学工学修士特論Ⅱ 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の削除 (H28) 担当科目の削除 (H28)
専	助教	上野 和英	平成28年4月	専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ			後任未定			平成29年2月28日 他大学へ就職のため退職。後任補充の予定未定。 担当科目は他に担当教員がいるため支障は無い
専	助教	山吹 一大	平成28年4月	専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	助教	山吹 一大	平成28年4月	専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 物質化学特別演習Ⅰ 物質化学特別演習Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (H28) 担当科目の追加 (H28)
専	助教	吉本 則子	平成28年4月	生命化学工学特論 最先端生命化学特別演習 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	助教	吉本 則子	平成29年4月	生命化学工学得論 最先端生命化学特別演習 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 生命化学工学特別演習	担当科目の追加 (H28)

専	助教	川本 拓治	平成28年 4月	有機化学特別演習 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	助教	川本 拓治	平成28年 4月	有機化学特論 専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 有機化学特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (H28)
専	助教	麻川 明俊	平成28年 4月	専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	助教	麻川 明俊	平成28年 4月	専門英語特別演習 化学系ゼミナールⅠ 化学系ゼミナールⅡ 物質化学特別演習Ⅰ 物質化学特別演習Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (H28) 担当科目の追加 (H28)
					専	助教	安川 政宏	平成28年 4月	環境材料特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	平成28年4月助教に採用

- (注)
- ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**,当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」,変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
12 名	8 名	研究指導教員と合わせて 7 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
15	15	0	6	36	15	13	1	6	35	15	13	1	6	35
(15)	(13)	(1)	(7)	(36)						[0]	[Δ2]	[1]	[0]	[Δ1]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
30	6	0			29	6	0			29	6	0		
(29)	(7)	(0)								[Δ1]	[3]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当無し				
合計（A）				後任補充状況の集計（B）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
		該当無し				

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	助教	上野 和英	必修	専門英語特別演習	①	他大学へ就職のため辞任 (29)			
			必修	化学系ゼミナールⅠ	①				
			必修	化学系ゼミナールⅡ	①				
			必修	特別研究Ⅰ	①				
			必修	特別研究Ⅱ	①				
合計（C）				後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	5 科目	計	5 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）				後任補充状況の集計（B）+（D）			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	5 科目	計	5 科目	計	0 科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 担当科目は他に担当教員がいるため支障は無い</p> <p>「学生への周知方法」 研究科要覧により周知</p>

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<創成科学研究科 化学系専攻（博士前期課程）>

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 修了要件単位数	変更無し
② 施設・設備	

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 山口大学工学部・大学院創成科学研究科（工学系）点検・評価委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成28年度 6月7日（火）開催 出席者9名（教員8名，事務職員1名）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己点検・評価に関する事項 ・ 教員の教育・研究及び評価に関する事項 ・ 教員の能力開発に関する事項 等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業公開 ・ 教育改善FD研修会 ・ 学生特別支援室FD研修会 ・ アラカルトFD研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業公開 前期・後期毎に期間を定めて公開授業を実施し、教員に授業を参観させた。 ・ 教育改善FD研修会 本学の大学教育センター長を講師として、YU CoB CuS（山口大学能力基盤型カリキュラム）導入に関する研修を行った。 ・ 学生特別支援室FD研修会 本学の学生特別支援室のスタッフを講師として、障害を持つ学生への合理的配慮の実施に関する研修を行った。 ・ アラカルトFD研修会 本学の知的財産センターのスタッフを講師として、知財教育を事例にして、事前学習を促すことを特徴とする反転授業の教育実践に関する研修を行った。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業公開 参観者数：前期10名，後期10名 ・ 教育改善FD研修会 参加者数：78名 ・ 学生特別支援室FD研修会 参加者数：71名 ・ アラカルトFD研修会 参加者数：62名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

公開授業を参観した教員には授業の感想表を提出させ、授業担当教員にフィードバックすることで、教員相互が授業方法・授業運営の改善を図り、教育の質的向上に努めている。

また、学生の多様性に対応する教員の能力向上のため、各種FD研修会におけるそれぞれのテーマに関して理解が進んだ。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施：有

実施時期：最終回の授業時

b 教員や学生への公開状況，方法等

教員は学生による授業評価の結果をWeb上で閲覧することが可能。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成28年度に開設し、現在まで概ね順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年3月末 公表予定

b 公表方法

・山口大学活動白書を作成し、大学ホームページにて公開を行う。

③ 認証評価を受ける計画

・昨年度（平成27年度）に独立行政法人大学評価・学位授与機構による機関別認証評価を受審。次回受審年度については検討中。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年9月1日（予定）)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山口大学

(2) 大学名

山口大学

(3) 大学の位置

〒753-8511
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オカ マサアキ) 岡 正朗 (平成26年4月1日)		
研究科長	(シンジ マサト) 進士 正人 (平成28年4月1日)		
専攻長	(マツフジ シンヤ) 松藤 信哉 (平成28年4月1日)	(タダトモ カズユキ) 只友 一行 (平成29年4月1日)	変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成29年4月1日(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
 平成29年度に報告する内容 → (29)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 電気電子情報系専攻 (博士前期課程) 修士(工学)	工学関係	2年	107人	214人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	平成27年度	平成28年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	107人	若干名	107人	人	1.01倍	
志願者数	() []	() []	118 [6]	4 [2]	120 [4]	() []		
受験者数	() []	() []	117 [6]	3 [1]	120 [4]	() []		
合格者数	() []	() []	110 [5]	3 [1]	115 [2]	() []		
B 入学者数	() []	() []	107 [5]	3 [1]	108 [2]	() []		
入学定員超過率 B/A			1.02		1.00			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, **計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	107 [5] ()	3 [1] ()	108 [2]	[]	
2年次	/		[] ()	[] ()	107 [5] (-)	3 [1] (-)	
3年次			/		[] ()	[] ()	
計	[] ()				110 [6] (-)		218 [8] (-)

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	107 人	4 人	平成28年度	4 人	0 人	就職(3人)	3.73 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	108 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	215 人	4 人					1.86 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<創成科学研究科 電気電子情報系専攻（博士前期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1後 1前	1			1					兼2	教育効果充実のため、開講期変更（28）
	知的財産特論	1前 1後	1			1					兼1 兼2	具体的な担当教員の確定による変更及び教育効果充実のため開講期変更（28）
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1		1					兼2	具体的な担当教員の確定による変更（28）
	プレゼンテーション特論	1後		1		1					兼3 兼2	具体的な担当教員の確定による変更（28）
	【イノベーション教育科目】											
	研究開発戦略論	1・2前	2			1					兼2	具体的な担当教員の確定による変更（28）
	企業経営と財務	1・2前 1・2後		2		1					兼2	教育効果充実のため、開講期変更（28）
	【キャリア教育科目】											
	キャリアデザイン I	1・2通				2						具体的な担当教員の確定による変更及び教育効果充実のため配当年次変更（28）
学外特別研修 I	1後 1・2前・後		1		1					兼2		
長期インターンシップ I	1・2前・後		6		1							
	専門英語特別演習	1・2前	1			16 19	25 28	2	10			教員の異動等に伴う変更（29） 教育効果充実のため、開講期及び担当教員を変更（28）
	電気電子情報系特論	1前 1・2前	2			8	8					教員の異動等に伴う変更（29） 教育効果充実のため、開講期及び担当教員を変更（28）
	科学・技術英語特論	1前		2								オムニバス
	基礎数理解析学特論 I	1・2前 1・2前		2				2	10		兼1 兼1	教育効果充実のため、開講期を変更（28）
	基礎数理解析学特論 II	1・2前 1・2後		2							兼1	教育効果充実のため、開講期を変更（28）
	基礎数理工学特論 I	1・2前		2							兼1	
	基礎数理工学特論 II	1・2後		2							兼1	
	応用数学特論 I	1・2前		2							兼1	
	応用数学特論 II	1・2後		2							兼1	
	高度ものづくり創成演習 I	1前 1前・後		2		4 3			3			教育効果充実のため、担当教員を変更（29） 教育効果充実のため、開講期及び担当教員を変更（28）

						4							教育効果充実のため、担当教員を変更 (29)	
		1後				3	3						教育効果充実のため、開講期及び担当教員を変更 (28)	
	高度ものづくり創成演習Ⅱ	2前→後	2				4					兼1		
専 門 科 目	I 群											兼1	担当教員の退職に伴う変更 (29)	
	固体物性論特論	1・2前	2			1							教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)	
	電磁気学特論	1・2前	2			1	1						担当教員の昇任に伴う変更 (28)	
	II 群												担当教員の昇任に伴う変更 (29)	
	半導体物性特論	1・2後	2			2								
	磁性工学特論	1・2後	2			1	1							
	メタマテリアル特論	1・2後	2			1								
	超伝導工学特論	1・2後	2			1	1						教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)	
	プラズマ理工学特論	1・2後	2			1	1						担当教員の昇任に伴う変更 (28)	
	デバイス工学特論	1・2後 1・2前		2			2						教育効果充実のため、開講期を変更 (28)	
	結晶材料工学特論	1・2前		2				2					教育効果充実のため、開講期を変更 (28)	
	材料・デバイス工学シミュレーション特論Ⅰ	1・2前		2				1					教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)	
	材料・デバイス工学シミュレーション特論Ⅱ	1・2後		2				1					教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)	
	電子デバイス工学特別演習	1・2通 1前→後		1			7	8					5	教員の異動等に伴う変更 (29)
	電子デバイス工学特別講義	2前 1・2前		2			8	9					4	教育効果充実のため、配当年次を変更 (28)
	真空工学特論	1・2前		1				1					兼1	教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	真空システム演習	1・2前		1				1					兼1	教育効果充実のため、開講期を変更 (28)
	材料作製技術特論	1・2後		1			1	1					兼1	教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	微細加工技術特論	1・2前		1			1	1					兼1	教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	電子システム工学序論	1・2後 1前		1			2							担当教員の退職による変更 (29)
電力変換工学特論Ⅰ	1・2前		2			4	3	2	1				教育効果充実のため、配当年次を変更 (28)	
電力変換工学特論Ⅱ	1・2前		2			1							オムニバス	
電磁波工学特論Ⅰ	1・2後		2					1						
電磁波工学特論Ⅱ	1・2後		2					1						
電磁波工学特論Ⅲ	1・2前		2			1							担当教員の退職による変更 (29)	
システム計測工学特論Ⅰ	1・2後		2			1			1					
システム計測工学特論Ⅱ	1・2前		2											
システム制御工学特論Ⅰ	1・2後		2											
システム制御工学特論Ⅱ	1・2前		2			1							担当教員の退職による変更 (29)	
電子システム工学特別講義	1・2後 1・2前		2			1							教育効果充実のため、開講期を変更 (28)	
			2									兼1		

				7	16				教員の異動等に伴う変更 (29)
				8	17		5		教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
情報系ゼミナール I	1・2前	1		7	12		4		共同
				7	16				教員の異動等に伴う変更 (29)
情報系ゼミナール II	1・2後	1		8	17		5		教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
				7	12		4		共同
情報ネットワーク特論	1・2前	1					1		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
情報ネットワーク実験	1・2前	1					1		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
情報セキュリティ特論	1・2後	1					1		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
情報セキュリティ実験	1・2後	1					2		教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
ロジカルシンキング特論	1・2前	1		1	2				教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
				1					教育効果充実のため、担当教員を変更 (29)
ITプロジェクトマネジメント特論	1・2前	2			2				教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
アルゴリズム特論	1・2前	1			4				教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
情報インフラ特論	1・2前	1			1		1		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
				3	10				教員の異動等に伴う変更 (29)
先端知能情報メディア工学特論 I	1・2前	1		4	9		3		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
				3	5				オムニバス
				3	10				教員の異動等に伴う変更 (29)
先端知能情報メディア工学特論 II	1・2後	1		4	9		3		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
				3	5				オムニバス
知能情報メディア工学特別講義	1・2前-後	1							教育効果充実のため、開講期を変更 (28)
					1		1		教員の配置換え等による担当教員の変更 (29)
				1			2		教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
ソフトコンピューティング特論	1・2前	1			4		1		教育効果充実のため、担当教員を変更 (29)
					2		1		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
画像処理特論	1・2前	1		1	4				教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
画像認識特論	1・2後	1		1	4				教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
音響情報工学特論	1・2前	1			2				教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
					4				教育効果充実のため、担当教員を変更 (29)
信号処理特論	1・2前	1		4	1				教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
パターン認識特論	1・2後	1		1	1				教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
					3				教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
マルチメディア特論	1・2前	1			4				教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
ユーザーインタフェース特論	1・2後	1		1	1				教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)

兼1

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当無し					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当無し					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の差

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\text{該当無し}} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	413,643 m ²	m ²	m ²	413,643 m ²				
	運 動 場 用 地	127,053 m ²	m ²	m ²	127,053 m ²				
	小 計	540,696 m ²	m ²	m ²	540,696 m ²				
	そ の 他	64,370 m ²	m ²	m ²	64,370 m ²				
	合 計	605,066 m ²	m ²	m ²	605,066 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		413,643 m ² (413,643 m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	413,643 m ² (413,643 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		103室	745室	787室	5室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		創成科学研究科電気電子情報系専攻			56 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点		
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕					
		創成科学研究科 電気電子情報系 専攻	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])				10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	
		計	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])				10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	13,063m ²		1590		1501056				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	6,956m ²		陸上競技場, 野球場, サッカー場 他						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金）
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山口大学						備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地1	
人文学科	4	185	-	740	学士(文学)	1.04	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士(教育学)	1.05	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地1	
経済学科	4	130	-	440	学士(経済学)	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士(経済学)	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士(経済学)	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士(法学)	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士(経済学)	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士(経済学)	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地1	
数理科学科	4	50	-	200	学士(理学)	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士(理学)	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士(理学)	1.00	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士(理学)	1.07	平成18年度		
医学部								山口県宇部市雨小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士(医学)	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士(看護学、保健学)	1.02	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士(工学)	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士(工学)	1.05	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士(工学)	1.02	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士(工学)	1.02	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士(工学)	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士(工学)	1.04	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士(農学)	1.05	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士(農学)	1.02	平成13年度		

共同獣医学部 獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.03	平成24年度	山口県山口市吉田1677番地1	
国際総合科学部 国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度	山口県山口市吉田1677番地1	
人文科学研究科 人文科学専攻	2	8	-	8	修士（文学）	0.43	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
教育学研究科 学校教育専攻	2	10	-	23	修士（教育学）	1.20	平成3年度	山口県山口市吉田1677番地1	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士（教育学）	1.14	平成3年度		
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士（専門職）	1.03	平成28年度		
経済学研究科 経済学専攻	2	16	-	32	修士（経済学）	0.74	昭和50年度	山口県山口市吉田1677番地1	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士（経済学）	0.55	平成7年度		
医学系研究科（医学博士） 医学専攻	4	33	-	33	博士（医学）	1.05	平成28年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
医学系研究科（博士前期） 保健学専攻	2	12	-	24	修士（保健学）	1.20	平成17年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学系研究科（博士後期） 応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士（医工学）	-	平成13年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士（生命科学、学術）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士（保健学）	0.80	平成19年度		
創成科学研究科（博士前期） 基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士（理学）	0.89	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
地球圏生命物質科学系専攻	2	42	-	42	修士（理学）	1.01	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
化学系専攻	2	83	-	83	修士（工学、学術）	0.92	平成28年度		
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士（工学）	1.01	平成28年度		
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士（工学）	1.00	平成28年度		
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士（工学、学術）	0.78	平成28年度		
農学系専攻	2	42	-	42	修士（農学、生命科学）	0.74	平成28年度		
創成科学研究科（博士後期） 自然科学系専攻	3	7	-	7	博士（理学、学術）	0.49	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士（工学、学術）	0.31	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士（工学、学術）	0.75	平成28年度		
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士（工学、学術）	0.95	平成28年度		
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士（医工学、生命科学、学術）	1.00	平成28年度		
理工学研究科（博士後期） 自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		

東アジア研究科 東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.53	平成13年度	山口県山口市吉田1677番地1
技術経営研究科 技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.00	平成17年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
連合獣医学研究科 獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.70	平成2年度	【山口大学】 山口県山口市吉田1677番地1 【鳥取大学】 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101 【鹿児島大学】 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

< 創成科学研究科 電気電子情報系専攻（博士前期課程） >

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	山田 陽一	平成28年4月	半導体物性特論 電子デバイス工学特別演習 特別研究 I 特別研究 II	専	教授	山田 陽一	平成28年4月	半導体物性特論 電子デバイス工学特別演習 電磁気学特論 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (29) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	教授	小柳 剛	平成28年4月	デバイス工学特論 電子デバイス工学特別演習 特別研究 I 特別研究 II	専	教授	小柳 剛	平成28年4月	デバイス工学特論 電子デバイス工学特別演習 電磁気学特論 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (29) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
					専	助教	吉田 雅史	平成28年10月	電子デバイス工学特別演習 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究 I 特別研究 II	平成28年10月 採用
専	教授	山本 節夫	平成28年4月	磁性工学特論 電子デバイス工学特別演習 特別研究 I 特別研究 II	専	教授	山本 節夫	平成28年4月	磁性工学特論 電子デバイス工学特別演習 電磁気学特論 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (29) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)

専	教授	久保 洋	平成28年4月	電磁波工学特論Ⅱ 電子システム工学序論 メタマテリアル特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	久保 洋	平成28年4月	電磁波工学特論Ⅱ 電子システム工学序論 メタマテリアル特論 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	教授	田中 幹也	平成28年4月	電子システム工学序論 システム制御工学特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ			後任未定			平成29年3月 退職。後任補充の予定未定。 担当科目は他に担当教員がいるため支障は無い
専	教授	田中 俊彦	平成28年4月	電力変換工学特論Ⅰ 電子システム工学序論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	田中 俊彦	平成28年4月	電力変換工学特論Ⅰ 電子システム工学序論 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	教授	羽野 光夫	平成28年4月	電子システム工学序論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ			後任未定			平成29年3月 定年退職。後任補充の予定未定。 担当科目は他に担当教員がいるため支障は無い
専	教授	横川 俊哉	平成28年4月	デバイス工学特論 電子デバイス工学特別演習 微細加工技術特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	横川 俊哉	平成28年4月	デバイス工学特論 電子デバイス工学特別演習 微細加工技術特論 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	准教授	甲斐 綾子	平成28年4月	結晶材料工学特論 電子デバイス工学特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	甲斐 綾子	平成28年4月	結晶材料工学特論 電子デバイス工学特別演習 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)

専	准教授	浅田 裕法	平成28年4月	磁性工学特論 電子デバイス工学特別演習 高度ものづくり創成演習Ⅰ 高度ものづくり創成演習Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	浅田 裕法	平成29年4月	磁性工学特論 電子デバイス工学特別演習 高度ものづくり創成演習Ⅰ 高度ものづくり創成演習Ⅱ 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	教授	大原 渡	平成28年4月	電磁気学特論 電子デバイス工学特別演習 プラズマ理工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	大原 渡	平成28年4月	電磁気学特論 電子デバイス工学特別演習 プラズマ理工学特論 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	准教授	栗巢 普揮	平成28年4月	真空工学特論 真空システム演習 電子デバイス工学特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	栗巢 普揮	平成28年4月	真空工学特論 真空システム演習 電子デバイス工学特別演習 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	准教授	崎山 智司	平成28年4月	特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	崎山 智司	平成28年4月	特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	平成28年9月 教授昇任
専	准教授	原田 直幸	平成28年4月	超伝導工学特論 電子デバイス工学特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	原田 直幸	平成28年4月	超伝導工学特論 電子デバイス工学特別演習 電磁気学特論 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (29) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)

専	准教授	西藤 聖二	平成28年4月	システム計測工学特論Ⅱ 電子システム工学序論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	西藤 聖二	平成28年4月	システム計測工学特論Ⅱ 電子システム工学序論 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	准教授	堀田 昌志	平成28年4月	電磁波工学特論Ⅰ 電子システム工学序論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	堀田 昌志	平成28年4月	電磁波工学特論Ⅰ 電子システム工学序論 電磁波工学特論Ⅲ 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (29) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	准教授	若佐 裕治	平成28年4月	システム制御工学特論Ⅰ 電子システム工学序論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	若佐 裕治	平成28年4月	システム制御工学特論Ⅰ システム制御工学特論Ⅱ 電子システム工学序論 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (29) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	講師	中島 翔太	平成28年4月	システム計測工学特論Ⅰ 電子システム工学序論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	講師	中島 翔太	平成28年4月	システム計測工学特論Ⅰ 電子システム工学序論 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	講師	山田 洋明	平成28年4月	電力変換工学特論Ⅱ 電子システム工学序論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	講師	山田 洋明	平成28年4月	電力変換工学特論Ⅱ 電子システム工学序論 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)

専	助教	村田 卓也	平成28年 4月	電子デバイス 工学特別演習 特別研究 I 特別研究 II	専	助教	村田 卓也	平成28年 4月	電子デバイス工 学特別演習 専門英語特別演 習 電気電子情報系 特論 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	助教	岸本 堅剛	平成28年 4月	電子デバイス 工学特別演習 特別研究 I 特別研究 II	専	助教	岸本 堅剛	平成28年 4月	電子デバイス工 学特別演習 専門英語特別演 習 電気電子情報系 特論 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	助教	倉井 聡	平成28年 4月	電子デバイス 工学特別演習 特別研究 I 特別研究 II	専	助教	倉井 聡	平成28年 4月	電子デバイス工 学特別演習 専門英語特別演 習 電気電子情報系 特論 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	助教	岡田 成仁	平成28年 4月	電子デバイス 工学特別演習 特別研究 I 特別研究 II	専	助教	岡田 成仁	平成28年 4月	電子デバイス工 学特別演習 専門英語特別演 習 電気電子情報系 特論 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	助教	山本 綱之	平成28年 4月	電子システム 工学序論 特別研究 I 特別研究 II	専	助教	山本 綱之	平成28年 4月	電子システム工 学序論 専門英語特別演 習 電気電子情報系 特論 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	教授	内藤 裕志	平成28年 4月	情報系ゼミ ナール I 情報系ゼミ ナール II 特別研究 I 特別研究 II			後任未定			平成29年 3月 定年退職。後任補 充の予定未定。 担当科目は他に担当教員がいる ため支障は無い

専	教授	中村 秀明	平成28年 4月	大規模データ解析特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端情報システム工学特論Ⅰ 先端情報システム工学特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	中村 秀明	平成28年 4月	大規模データ解析特論 高度ものづくり創成演習Ⅰ 高度ものづくり創成演習Ⅱ 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端情報システム工学特論Ⅰ 先端情報システム工学特論Ⅱ 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	教授	石川 昌明	平成28年 4月	シミュレーション特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端情報システム工学特論Ⅰ 先端情報システム工学特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	石川 昌明	平成28年 4月	シミュレーション特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端情報システム工学特論Ⅰ 先端情報システム工学特論Ⅱ 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	教授	大林 正直	平成28年 4月	情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端情報システム工学特論Ⅰ 先端情報システム工学特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	助教	モハマド ア ヌアルッディ ン	平成29年 4月	情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端情報システム工学特論Ⅰ 先端情報システム工学特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	平成29年 3月定年退職 大林正直の後任

専	教授	松藤 信哉	平成28年 4月	通信工学特論 情報系ゼミ ナール I 情報系ゼミ ナール II 先端情報シス テム工学特論 I 先端情報シス テム工学特論 II 特別研究 I 特別研究 II	専	教授	松藤 信哉	平成28年 4月	通信工学特論 情報系ゼミナ ル I 情報系ゼミナ ル II 先端情報シス テム工学特論 I 先端情報シス テム工学特論 II 専門英語特別 演習 電気電子情報系 特論 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	教授	多田村 克己	平成28年 4月	ユーザーイン ターフェース 特論 情報系ゼミ ナール I 情報系ゼミ ナール II 先端知能情報 メディア工学 特論 I 先端知能情報 メディア工学 特論 II 特別研究 I 特別研究 II	専	教授	多田村 克己	平成28年 4月	ユーザーイン ターフェース 特論 高度ものづくり 創成演習 I 高度ものづくり 創成演習 II 情報系ゼミナ ル I 情報系ゼミナ ル II 先端知能情報 メディア工学 特論 I 先端知能情報 メディア工学 特論 II 専門英語特別 演習 電気電子情報系 特論 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	教授	浜本 義彦	平成28年 4月	ロジカルシン キング特論 パターン認識 特論 情報系ゼミ ナール I 情報系ゼミ ナール II 先端知能情報 メディア工学 特論 I 先端知能情報 メディア工学 特論 II 特別研究 I 特別研究 II	専	教授	浜本 義彦	平成28年 4月	ロジカルシン キング特論 パターン認識 特論 情報系ゼミナ ル I 情報系ゼミナ ル II 先端知能情報 メディア工学 特論 I 先端知能情報 メディア工学 特論 II 専門英語特別 演習 電気電子情報系 特論 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)

専	教授	木戸 尚治	平成28年4月	画像処理特論 画像認識特論 先端知能情報メディア工学特論Ⅰ 先端知能情報メディア工学特論Ⅱ 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	木戸 尚治	平成28年4月	画像処理特論 画像認識特論 先端知能情報メディア工学特論Ⅰ 先端知能情報メディア工学特論Ⅱ 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	准教授	瀧本 浩一	平成28年4月	情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端情報システム工学特論Ⅰ 先端情報システム工学特論Ⅱ ソフトウェア開発技法特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	瀧本 浩一	平成28年4月	ロジカルシンキング特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端情報システム工学特論Ⅰ 先端情報システム工学特論Ⅱ ソフトウェア開発技法特論 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	准教授	河村 圭	平成28年4月	情報インフラ特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端情報システム工学特論Ⅰ 先端情報システム工学特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	河村 圭	平成28年4月	ロジカルシンキング特論 情報インフラ特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端情報システム工学特論Ⅰ 先端情報システム工学特論Ⅱ 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)

専	准教授	伊藤 暁	平成28年4月	アルゴリズム特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端情報システム工学特論Ⅰ 先端情報システム工学特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	伊藤 暁	平成28年4月	アルゴリズム特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端情報システム工学特論Ⅰ 先端情報システム工学特論Ⅱ 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	准教授	佐伯 徹郎	平成28年4月	音響情報工学特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端知能情報メディア工学特論Ⅰ 先端知能情報メディア工学特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	佐伯 徹郎	平成28年4月	音響情報工学特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端知能情報メディア工学特論Ⅰ 先端知能情報メディア工学特論Ⅱ 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	准教授	田村 慶信	平成28年4月	ITプロジェクトマネジメント特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ			後任未定			平成29年3月退職。後任補充の予定未定。 担当科目は他に担当教員がいるため支障は無い

専	准教授	福士 将	平成28年 4月	情報ネットワーク特論 情報ネットワーク実験 情報セキュリティ特論 情報セキュリティ実験 並列分散システム特論 計算機工学特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端情報システム工学特論Ⅰ 先端情報システム工学特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	福士 将	平成28年 4月	情報ネットワーク特論 情報ネットワーク実験 情報セキュリティ特論 情報セキュリティ実験 並列分散システム特論 計算機工学特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端情報システム工学特論Ⅰ 先端情報システム工学特論Ⅱ 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	准教授	山口 真悟	平成28年 4月	ITプロジェクトマネジメント特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端情報システム工学特論Ⅰ 先端情報システム工学特論Ⅱ ソフトウェア開発技法特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	山口 真悟	平成29年 4月	ITプロジェクトマネジメント特論 高度ものづくり創成演習Ⅰ 高度ものづくり創成演習Ⅱ 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端情報システム工学特論Ⅰ 先端情報システム工学特論Ⅱ ソフトウェア開発技法特論 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)

専	准教授	長 篤志	平成28年 4月	マルチメディア特論 情報系ゼミナール I 情報系ゼミナール II 先端知能情報メディア工学特論 I 先端知能情報メディア工学特論 II 特別研究 I 特別研究 II	専	准教授	長 篤志	平成28年 4月	マルチメディア特論 情報系ゼミナール I 情報系ゼミナール II 先端知能情報メディア工学特論 I 先端知能情報メディア工学特論 II 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	准教授	水上 嘉樹	平成28年 4月	データベース特論 計算機工学特論 情報系ゼミナール I 情報系ゼミナール II 先端知能情報メディア工学特論 I 先端知能情報メディア工学特論 II 特別研究 I 特別研究 II	専	准教授	水上 嘉樹	平成28年 4月	マルチメディア特論 データベース特論 計算機工学特論 情報系ゼミナール I 情報系ゼミナール II 先端知能情報メディア工学特論 I 先端知能情報メディア工学特論 II 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	准教授	平野 靖	平成28年 4月	情報ネットワーク特論 情報ネットワーク実験 情報セキュリティ特論 情報セキュリティ実験 画像処理特論 画像認識特論 情報系ゼミナール I 情報系ゼミナール II 先端知能情報メディア工学特論 I 先端知能情報メディア工学特論 II 特別研究 I 特別研究 II	専	准教授	平野 靖	平成28年 4月	情報ネットワーク特論 情報ネットワーク実験 情報セキュリティ特論 情報セキュリティ実験 画像処理特論 画像認識特論 情報系ゼミナール I 情報系ゼミナール II 先端知能情報メディア工学特論 I 先端知能情報メディア工学特論 II 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)

専	准教授	藤田 悠介	平成28年4月	情報ネットワーク特論 情報ネットワーク実験 情報セキュリティ特論 情報セキュリティ実験 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端知能情報メディア工学特論Ⅰ 先端知能情報メディア工学特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	藤田 悠介	平成28年4月	情報ネットワーク特論 情報ネットワーク実験 情報セキュリティ特論 情報セキュリティ実験 画像処理特論 画像認識特論 パターン認識特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端知能情報メディア工学特論Ⅰ 先端知能情報メディア工学特論Ⅱ 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	助教	呉本 堯	平成28年4月	ソフトコンピューティング特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端知能情報メディア工学特論Ⅰ 先端知能情報メディア工学特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	助教	呉本 堯	平成28年4月	ソフトコンピューティング特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端知能情報メディア工学特論Ⅰ 先端知能情報メディア工学特論Ⅱ 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)

専	助教	間普 真吾	平成28年4月	ソフトコン ピューティング 特論 情報系ゼミ ナールⅠ 情報系ゼミ ナールⅡ 先端知能情報 メディア工学 特論Ⅰ 先端知能情報 メディア工学 特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	間普 真吾	平成29年4月	ソフトコン ピューティング 特論 大規模データ解 析特論 情報系ゼミナ ールⅠ 情報系ゼミナ ールⅡ 先端知能情報メ ディア工学特論 Ⅰ 先端知能情報メ ディア工学特論 Ⅱ 専門英語特別演 習 電気電子情報系 特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 平成29年4月准教授昇任 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	助教	井田 悠太	平成28年4月	情報セキュリ ティ実験 情報系ゼミ ナールⅠ 情報系ゼミ ナールⅡ 先端知能情報 メディア工学 特論Ⅰ 先端知能情報 メディア工学 特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	助教	井田 悠太	平成28年4月	情報セキュリ ティ特論 情報セキュリ ティ実験 情報系ゼミナ ールⅠ 情報系ゼミナ ールⅡ 先端知能情報メ ディア工学特論 Ⅰ 先端知能情報メ ディア工学特論 Ⅱ 専門英語特別演 習 電気電子情報系 特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	助教	佐村 俊和	平成28年4月	情報ネット ワーク実験 情報系ゼミ ナールⅠ 情報系ゼミ ナールⅡ 先端知能情報 メディア工学 特論Ⅰ 先端知能情報 メディア工学 特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	助教	佐村 俊和	平成28年4月	情報ネットワ ーク特論 情報ネットワ ーク実験 画像認識特論 並列分散シス テム特論 情報系ゼミナ ールⅠ 情報系ゼミナ ールⅡ 先端知能情報メ ディア工学特論 Ⅰ 先端知能情報メ ディア工学特論 Ⅱ 専門英語特別演 習 電気電子情報系 特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)

専	准教授	木下 武志	平成28年 4月	情報系ゼミナール I 情報系ゼミナール II 先端知能情報メディア工学特論 I 先端知能情報メディア工学特論 II 特別研究 I 特別研究 II	専	准教授	木下 武志	平成28年 4月	マルチメディア特論 情報系ゼミナール I 情報系ゼミナール II 先端知能情報メディア工学特論 I 先端知能情報メディア工学特論 II 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	准教授	守田 了	平成28年 4月	情報系ゼミナール I 情報系ゼミナール II 先端知能情報メディア工学特論 I 先端知能情報メディア工学特論 II 特別研究 I 特別研究 II	専	准教授	守田 了	平成28年 4月	ユーザーインターフェース特論 情報系ゼミナール I 情報系ゼミナール II 先端知能情報メディア工学特論 I 先端知能情報メディア工学特論 II 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	教授	嶋村 修二	平成28年 4月	個体物性論特論 特別研究 I 特別研究 II	兼任		嶋村 修二	平成29年 4月	個体物性論特論	平成29年 3月定年退職。後任補充の予定未定。 「個体物性論特論」は本人が非常勤講師として担当 その他科目は他の教員が担当するため、支障は無い
専	准教授	荻原 千聡	平成28年 4月	結晶材料工学特論 電子デバイス工学特別演習 特別研究 I 特別研究 II	専	准教授	荻原 千聡	平成28年 4月	結晶材料工学特論 電子デバイス工学特別演習 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)

専	准教授	仙田 康浩	平成28年4月	材料・デバイス工学シミュレーション特論Ⅱ 電子デバイス工学特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	仙田 康浩	平成28年4月	材料・デバイス工学シミュレーション特論Ⅱ 電子デバイス工学特別演習 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	准教授	赤井 光治	平成28年4月	材料・デバイス工学シミュレーション特論Ⅰ 電子デバイス工学特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	赤井 光治	平成28年4月	材料・デバイス工学シミュレーション特論Ⅰ 電子デバイス工学特別演習 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	准教授	王 躍	平成28年4月	アルゴリズム特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端情報システム工学特論Ⅰ 先端情報システム工学特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	王 躍	平成28年4月	アルゴリズム特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端情報システム工学特論Ⅰ 先端情報システム工学特論Ⅱ 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	准教授	杉井 学	平成28年4月	情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端知能情報メディア工学特論Ⅰ 先端知能情報メディア工学特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	杉井 学	平成28年4月	情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端知能情報メディア工学特論Ⅰ 先端知能情報メディア工学特論Ⅱ 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)

専	准教授	為末 隆弘	平成28年4月	情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端知能情報メディア工学特論Ⅰ 先端知能情報メディア工学特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	為末 隆弘	平成28年4月	データベース特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端知能情報メディア工学特論Ⅰ 先端知能情報メディア工学特論Ⅱ 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	准教授	松元 隆博	平成28年4月	信号処理特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端情報システム工学特論Ⅰ 先端情報システム工学特論Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	松元 隆博	平成28年4月	信号処理特論 通信工学特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端情報システム工学特論Ⅰ 先端情報システム工学特論Ⅱ 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
					専	助教	王 元元	平成28年4月	情報インフラ特論 データベース特論 情報系ゼミナールⅠ 情報系ゼミナールⅡ 先端情報システム工学特論Ⅰ 先端情報システム工学特論Ⅱ 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	平成28年4月 採用
					専	講師	鳴海 孝之	平成29年4月	材料・デバイス工学シミュレーション特論Ⅱ 電子デバイス工学特別演習 専門英語特別演習 電気電子情報系特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	平成29年4月 採用

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
16 名	11 名	研究指導教員と合わせて 7 名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
20	31	2	9	62	17	25	3	11	56	16	27	3	11	56
(19)	(28)	(2)	(10)	(59)						[△4]	[△4]	[1]	[2]	[△6]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
53	9	0			45	11	0			45	11	0		
(49)	(10)	(0)								[△8]	[2]	[0]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当無し				
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
該当無し						

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	田中 幹也	選択	電子システム工学序論	①	他大学へ就職のため辞任 (29)			
			選択	システム制御工学特論Ⅱ	①				
			必修	特別研究Ⅰ	①				
			必修	特別研究Ⅱ	①				
2	准教授	田村 慶信	選択	ITプロジェクトマネジメント特論	①	他大学へ就職のため辞任 (29)			
			選択	情報系ゼミナールⅠ	①				
			選択	情報系ゼミナールⅡ	①				
			必修	特別研究Ⅰ	①				
			必修	特別研究Ⅱ	①				
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
2	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	5 科目	選択	5 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	9 科目	計	9 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
2	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目
		選択	5 科目	選択	5 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	9 科目	計	9 科目	計	0 科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」 担当科目は他に担当教員がいるため支障は無い
「学生への周知方法」 研究科要覧により周知

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<創成科学研究科 電気電子情報系専攻（博士前期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 修了要件単位数	変更無し
② 施設・設備	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 山口大学工学部・大学院創成科学研究科（工学系）点検・評価委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成28年度 6月7日（火）開催 出席者9名（教員8名，事務職員1名）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己点検・評価に関する事項 ・ 教員の教育・研究及び評価に関する事項 ・ 教員の能力開発に関する事項 等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業公開 ・ 教育改善FD研修会 ・ 学生特別支援室FD研修会 ・ アラカルトFD研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業公開 前期・後期毎に期間を定めて公開授業を実施し、教員に授業を参観させた。 ・ 教育改善FD研修会 本学の大学教育センター長を講師として、YU CoB CuS（山口大学能力基盤型カリキュラム）導入に関する研修を行った。 ・ 学生特別支援室FD研修会 本学の学生特別支援室のスタッフを講師として、障害を持つ学生への合理的配慮の実施に関する研修を行った。 ・ アラカルトFD研修会 本学の知的財産センターのスタッフを講師として、知財教育を事例にして、事前学習を促すことを特徴とする反転授業の教育実践に関する研修を行った。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業公開 参観者数：前期10名，後期10名 ・ 教育改善FD研修会 参加者数：78名 ・ 学生特別支援室FD研修会 参加者数：71名 ・ アラカルトFD研修会 参加者数：62名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

公開授業を参観した教員には授業の感想表を提出させ、授業担当教員にフィードバックすることで、教員相互が授業方法・授業運営の改善を図り、教育の質的向上に努めている。

また、学生の多様性に対応する教員の能力向上のため、各種FD研修会におけるそれぞれのテーマに関して理解が進んだ。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施：有

実施時期：最終回の授業時

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は学生による授業評価の結果をWeb上で閲覧することが可能。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成28年度に開設し、現在まで概ね順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成30年3月末 公表予定

b 公表方法

・山口大学活動白書を作成し、大学ホームページにて公開を行う。

③ 認証評価を受ける計画

・昨年度(平成27年度)に独立行政法人大学評価・学位授与機構による機関別認証評価を受審。次回受審年度については検討中。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成29年9月1日(予定))

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山口大学

(2) 大学名

山口大学

(3) 大学の位置

〒753-8511
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オカ マサアキ) 岡 正朗 (平成26年4月1日)		
研究科長	(シンジ マサト) 進士 正人 (平成28年4月1日)		
専攻長	(カトウ ヤスオ) 加藤 泰生 (平成28年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 機械工学系専攻 (博士前期課程) 修士(工学)	工学関係	2年	60人	120人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	平成27年度	平成28年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	60人	若干名	60人	人	1.00倍	
志願者数	() []	() []	(-) [1]	(-) [1]	(-) [3]	() []		
受験者数	() []	() []	(-) [1]	(-) [1]	(-) [3]	() []		
合格者数	() []	() []	(-) [-]	(-) [1]	(-) [3]	() []		
B 入学者数	() []	() []	(-) [-]	(-) [1]	(-) [2]	() []		
入学定員超過率 B/A			1.03		0.98			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, **計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	61 [-] ()	1 [1] ()	59 [2] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	61 [-] (-)	1 [1] (-)	
3年次			/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] (-)			61 [1] (-)	121 [3] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	61 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	59 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	120 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<創成科学研究科 機械工学系専攻（博士前期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1後 1前	1			1						兼2 教育効果充実のため、開講期変更(28)
	知的財産特論	1前 1後	1			1						兼1 兼2 具体的な担当教員の確定による変更及び教育効果充実のため開講期変更(28)
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1		1						兼2 具体的な担当教員の確定による変更(28)
	プレゼンテーション特論	1後		1		1						兼3 兼2 具体的な担当教員の確定による変更(28)
	【イノベーション教育科目】											
	研究開発戦略論	1・2前	2			1						兼2 具体的な担当教員の確定による変更(28)
	企業経営と財務	1・2 前 1・2		2		1						兼2 教育効果充実のため、開講期変更(28)
	【キャリア教育科目】											
	キャリアデザインⅠ	1後		1		1						兼2 具体的な担当教員の確定による変更(28)
学外特別研修Ⅰ	1・2前・後		1~2		1							
長期インターンシップⅠ	1・2前・後		6		1							
専攻基盤科目	専門英語特別演習	1・2 通 1・2	1			11 1	10 2			5 6		教員の昇任及び退職による変更(29) 教育効果充実のため、開講期及び教員の変更(28) 教育効果充実のため、教員の変更(29)
	機械工学系特論	1・2 後 1前 1・2 前	2			11	10 2			6		オムニバス 教育効果充実のため、開講期及び教員の変更(28)
	科学・技術英語特論	1・2 前 1・2 前 後		2							兼1	教育効果充実のため、開講期を変更(28)
	基礎数理解析学特論Ⅰ	1・2前		2							兼1	
	基礎数理解析学特論Ⅱ	1・2前		2							兼1	教育効果充実のため、開講期を変更(28)
	基礎数理工学特論Ⅰ	1・2 後 1・2		2							兼1	教育効果充実のため、開講期を変更(28)
	基礎数理工学特論Ⅱ	1・2後		2							兼1	
	応用数学特論Ⅰ	1・2前		2							兼1	
	応用数学特論Ⅱ	1・2後		2							兼1	
	I 粘性流体力学特論	1・2前		2		1						
	群 伝熱工学特論	1・2後		2		1						
	多体力学特論	1・2前		2		1	1					教育効果充実のため、教員の変更(29)
	II 群 システム計算工学特論	1・2前		2		1						
	制御系設計特論	1・2後		2			1					
	III 材料強度学特論	1・2後		2		1	1					教育効果充実のため、教員の変更(29)
	群 数値弾性力学特論	1・2前		2		1						教育効果充実のため、担当教員を追加(28)
	機械工学系特別講義	1・2前		2		1						集中 兼2 教育効果充実のため、担当教員を変更(28)

						2		1		教育効果充実のため、教員の変更 (29)
	高度ものづくり創成演習	1通		4		2	+	2		教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
専門科目	医工学基礎科目	1・2前		2		1	6	1		兼6 オムニバス 教育効果充実のため、担当教員及び授業形式を変更 (28)
	先端医療機器特論	1・2前 1・2後		2		1		2		兼10 教育効果充実のため、担当教員及び開講期を変更 (28)
	バイオセンシング特論	1・2前		2				1		
	生体材料力学特論	1・2前		2				1		
	最先端ライフサイエンス研究科目	1・2通		1		3	+	2		2 教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	圧縮性流体力学特論	1・2後		2				1		
	燃烧工学特論	1・2後		2		1		1		
	化学熱流体工学特論	1・2後		2		1		1		
	リモートセンシング特論	1・2前		2		+		1		兼2 教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	航空宇宙エネルギー系演習	1・2後		1		+		2 3		1 オムニバス 教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	最先端航空宇宙エネルギー研究科目	1・2通		1		4	+	4		1 教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	微小機械創成学特論	1・2前		2		1				
	メカトロニクス設計工学特論	1・2前		2		1				
	システム同定特論	1・2後		2		1				1
	機械システム設計工学特論	1・2後		2					1	
	特別講義 (組込みシステム開発PM)	1前		1						
特別講義 (組込みソフトウェア演習)	1前 1後		1							兼1 集中 教育効果充実のため、開講期を変更 (28)
学外特別実習	1・2前・後		2		1		1			1 集中 教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
最先端メカノシステムデザイン研究科目	1・2通		1		4	+	4			3 教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
特別研究 I	1通	2			11		10		5	6 4 教員の昇任及び退職による変更 (29) 教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
特別研究 II	2通	4			11		10		5	6 4 教員の昇任及び退職による変更 (29) 教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
7	41		48	7	41		48	
				[]	[]	[]	[]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当無し					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当無し					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の差

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\text{該当無し}} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	413,643 m ²	m ²	m ²	413,643 m ²				
	運動場用地	127,053 m ²	m ²	m ²	127,053 m ²				
	小 計	540,696 m ²	m ²	m ²	540,696 m ²				
	そ の 他	64,370 m ²	m ²	m ²	64,370 m ²				
	合 計	605,066 m ²	m ²	m ²	605,066 m ²				
(2) 校舎	専 用	413,643 m ²	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	(413,643 m ²)	(m ²)	(m ²)	(413,643 m ²)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	103室	745室	787室	5室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	創成科学研究科機械工学系専攻			28 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕				点	点
	創成科学研究科機械工学系専攻	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
	計	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	13,063m ²		1590		1501056				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	6,956m ²		陸上競技場, 野球場, サッカー場 他						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金)
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学						備 考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.04	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.05	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.00	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.07	平成18年度		
医学部								山口県宇部市雨小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.02	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.05	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.02	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.02	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.04	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.05	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.02	平成13年度		

共同獣医学部 獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.03	平成24年度	山口県山口市吉田1677番地1	
国際総合科学部 国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度	山口県山口市吉田1677番地1	
人文科学研究科 人文科学専攻	2	8	-	8	修士（文学）	0.43	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
教育学研究科 学校教育専攻	2	10	-	23	修士（教育学）	1.20	平成3年度	山口県山口市吉田1677番地1	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士（教育学）	1.14	平成3年度		
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士（専門職）	1.03	平成28年度		
経済学研究科 経済学専攻	2	16	-	32	修士（経済学）	0.74	昭和50年度	山口県山口市吉田1677番地1	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士（経済学）	0.55	平成7年度		
医学系研究科（医学博士） 医学専攻	4	33	-	33	博士（医学）	1.05	平成28年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
医学系研究科（博士前期） 保健学専攻	2	12	-	24	修士（保健学）	1.20	平成17年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学系研究科（博士後期） 応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士（医工学）	-	平成13年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士（生命科学、学術）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士（保健学）	0.80	平成19年度		
創成科学研究科（博士前期） 基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士（理学）	0.89	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
地球圏生命物質科学系専攻	2	42	-	42	修士（理学）	1.01	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
化学系専攻	2	83	-	83	修士（工学、学術）	0.92	平成28年度		
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士（工学）	1.01	平成28年度		
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士（工学）	1.00	平成28年度		
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士（工学、学術）	0.78	平成28年度		
農学系専攻	2	42	-	42	修士（農学、生命科学）	0.74	平成28年度		
創成科学研究科（博士後期） 自然科学系専攻	3	7	-	7	博士（理学、学術）	0.49	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士（工学、学術）	0.31	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士（工学、学術）	0.75	平成28年度		
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士（工学、学術）	0.95	平成28年度		
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士（医工学、生命科学、学術）	1.00	平成28年度		
理工学研究科（博士後期） 自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		

東アジア研究科 東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.53	平成13年度	山口県山口市吉田1677番地1
技術経営研究科 技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.00	平成17年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
連合獣医学研究科 獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.70	平成2年度	<p>【山口大学】 山口県山口市吉田1677番地1</p> <p>【鳥取大学】 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101</p> <p>【鹿児島大学】 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号</p>

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<創成科学研究科 機械工学系専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	江 鐘偉	平成28年4月	高度ものづくり創成演習 メカトロニクス設計工学特論 学外特別演習 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	江 鐘偉	平成28年4月	高度ものづくり創成演習 メカトロニクス設計工学特論 学外特別演習 最先端メカノシステムデザイン研究科目 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (H28)
専	教授	合田 公一	平成28年4月	学外特別研修Ⅰ 長期インターンシップⅠ 材料強度学特論 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	合田 公一	平成28年4月	学外特別研修Ⅰ 長期インターンシップⅠ 材料強度学特論 最先端メカノシステムデザイン研究科目 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (H28)
専	教授	南 和幸	平成28年4月	微小機械創成学特論 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	南 和幸	平成28年4月	微小機械創成学特論 最先端メカノシステムデザイン研究科目 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (H28)
専	教授	加藤 泰生	平成28年4月	キャリアデザインⅠ 専門英語特別演習 機械工学系特別講義 伝熱工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	加藤 泰生	平成28年4月	キャリアデザインⅠ 専門英語特別演習 機械工学系特別講義 伝熱工学特論 最先端航空宇宙エネルギー研究科目 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (H28)
専	教授	西村 龍夫	平成28年4月	化学熱流体工学特論 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	西村 龍夫	平成28年4月	化学熱流体工学特論 最先端航空宇宙エネルギー研究科目 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (H28)

専	教授	三上 真人	平成28年4月	機械工学系特論 燃焼工学特論 航空宇宙エネルギー系演習 最先端航空宇宙エネルギー研究科目 専門英語特別演習 特別研究 I 特別研究 II	専	教授	三上 真人	平成28年4月	機械工学系特論 燃焼工学特論 最先端航空宇宙エネルギー研究科目 専門英語特別演習 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の削除 (H29)
専	教授	望月 信介	平成28年4月	粘性流体力学特論 専門英語特別演習 特別研究 I 特別研究 II	専	教授	望月 信介	平成28年4月	粘性流体力学特論 最先端航空宇宙エネルギー研究科目 専門英語特別演習 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (H28)
専	教授	陳 献	平成28年4月	数値弾力性力学特論 専門英語特別演習 特別研究 I 特別研究 II	専	教授	陳 献	平成28年4月	数値弾力性力学特論 最先端ライフサイエンス研究科目 専門英語特別演習 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (H28)
専	准教授	古賀 毅	平成28年4月	機械システム設計工学特論 専門英語特別演習 特別研究 I 特別研究 II	専	准教授	古賀 毅	平成28年4月	高度ものづくり創成演習 機械システム設計工学特論 最先端メカノシステムデザイン研究科目 専門英語特別演習 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (H28) 担当科目の追加 (H28)
専	准教授	野田 淳二	平成28年4月	専門英語特別演習 特別研究 I 特別研究 II			後任未定			平成29年3月退職。他大学へ就職のため退職。後任補充の予定未定。 担当科目は他に担当教員がいるため支障は無い
専	准教授	藤井 文武	平成28年4月	機械工学系特論 制御系設計特論 専門英語特別演習 特別研究 I 特別研究 II	専	准教授	藤井 文武	平成28年4月	機械工学系特論 制御系設計特論 学外特別演習 最先端メカノシステムデザイン研究科目 専門英語特別演習 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (H28) 担当科目の追加 (H28)
専	准教授	田之上 健一郎	平成28年4月	化学熱流体工学特論 航空宇宙エネルギー系演習 専門英語特別演習 特別研究 I 特別研究 II	専	准教授	田之上 健一郎	平成28年4月	化学熱流体工学特論 航空宇宙エネルギー系演習 最先端航空宇宙エネルギー研究科目 専門英語特別演習 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (H28)

専	准教授	大木 順司	平成28年4月	機械工学系特論 生体材料力学特論 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	大木 順司	平成28年4月	機械工学系特論 先端医療機器特論 生体材料力学特論 最先端ライフサイエンス研究科目 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (H28) 担当科目の追加 (H28)
専	准教授	森 浩二	平成28年4月	多体動力学特論 バイオセンシング特論 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	森 浩二	平成28年4月	先端医療機器特論 バイオセンシング特論 最先端ライフサイエンス研究科目 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の削除 (H29) 担当科目の追加 (H28) 担当科目の追加 (H28)
専	准教授	葛山 浩	平成28年4月	圧縮性流体力学特論 航空宇宙エネルギー系演習 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	葛山 浩	平成28年4月	圧縮性流体力学特論 最先端航空宇宙エネルギー研究科目 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の削除 (H28) 担当科目の追加 (H28)
専	准教授	瀬尾 健彦	平成28年4月	燃焼工学特論 航空宇宙エネルギー系演習 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	瀬尾 健彦	平成28年4月	燃焼工学特論 航空宇宙エネルギー系演習 最先端航空宇宙エネルギー研究科目 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (H28)
専	准教授	今岡 孝治	平成28年4月	リモートセンシング特論 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	今岡 孝治	平成28年4月	リモートセンシング特論 最先端航空宇宙エネルギー研究科目 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (H28)
専	助教	森田 実	平成28年4月	高度ものづくり創成演習 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	森田 実	平成28年9月	高度ものづくり創成演習 メカトロニクス設計工学特論 学外特別演習 最先端メカニクスシステムデザイン研究科目 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	平成28年9月 准教授昇任 担当科目の追加 (H29) 担当科目の追加 (H28) 担当科目の追加 (H28)
専	助教	新銀 秀徳	平成28年4月	システム同定特論 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	助教	新銀 秀徳	平成28年4月	システム同定特論 最先端メカニクスシステムデザイン研究科目 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (H28)

専	教授	森川 治	平成28年4月	専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	教授	森川 治	平成28年4月	最先端ライフサイエンス研究科目 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (H28)
専	助教	鈴木 博貴	平成28年4月	専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	助教	鈴木 博貴	平成28年4月	航空宇宙エネルギー系演習 最先端航空宇宙エネルギー研究科目 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (H28) 担当科目の追加 (H28)
専	助教	中原 佐	平成28年4月	専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	助教	中原 佐	平成28年4月	最先端メカニクスシステムデザイン研究科目 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (H28)
					専	准教授	小柴 満美子	平成28年4月	最先端メカニクスシステムデザイン研究科目 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	平成28年2月 採用
					専	助教	蔣 飛	平成28年4月	最先端ライフサイエンス研究科目 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	平成28年4月 採用
					専	助教	門脇 弘子	平成28年4月	高度ものづくり創成演習 最先端ライフサイエンス研究科目 専門英語特別演習 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	平成28年4月 採用
					専	教授	奥田 昌之	平成28年4月	専門英語特別演習 医工学基礎科目 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	平成28年4月 採用
					専	准教授	有働 公一	平成28年4月	専門英語特別演習 医工学基礎科目 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	平成28年4月 採用

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A0教員審査)を受けてください。**A0教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(A0)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
9 名	6 名	研究指導教員と合わせて 7 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
11	8	0	4	23	12	11	0	5	28	12	11	0	5	28
(11)	(10)	(0)	(6)	(27)						[1]	[3]	[0]	[1]	[5]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
19	4	0			23	5	0			23	5	0		
(21)	(6)	(0)								[4]	[1]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当無し				
合計（A）					後任補充状況の集計（B）	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
該当無し						

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	野田 淳二	必修	専門英語特別演習	①	他大学へ就職のため辞任（29）			
			必修	特別研究Ⅰ	①				
			必修	特別研究Ⅱ	①				
合計（C）					後任補充状況の集計（D）				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	3 科目	計	3 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計（A）+（C）				後任補充状況の集計（B）+（D）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	3 科目	計	3 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」 担当科目は他に担当教員がいるため支障は無い
「学生への周知方法」 研究科要覧により周知

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<創成科学研究科 機械工学系専攻（博士前期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 修了要件単位数	変更無し
② 施設・設備	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 山口大学工学部・大学院創成科学研究科（工学系）点検・評価委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成28年度 6月7日（火）開催 出席者9名（教員8名，事務職員1名）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己点検・評価に関する事項 ・ 教員の教育・研究及び評価に関する事項 ・ 教員の能力開発に関する事項 等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業公開 ・ 教育改善FD研修会 ・ 学生特別支援室FD研修会 ・ アラカルトFD研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業公開 前期・後期毎に期間を定めて公開授業を実施し、教員に授業を参観させた。 ・ 教育改善FD研修会 本学の大学教育センター長を講師として、YU CoB CuS（山口大学能力基盤型カリキュラム）導入に関する研修を行った。 ・ 学生特別支援室FD研修会 本学の学生特別支援室のスタッフを講師として、障害を持つ学生への合理的配慮の実施に関する研修を行った。 ・ アラカルトFD研修会 本学の知的財産センターのスタッフを講師として、知財教育を事例にして、事前学習を促すことを特徴とする反転授業の教育実践に関する研修を行った。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業公開 参観者数：前期10名，後期10名 ・ 教育改善FD研修会 参加者数：78名 ・ 学生特別支援室FD研修会 参加者数：71名 ・ アラカルトFD研修会 参加者数：62名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

公開授業を参観した教員には授業の感想表を提出させ、授業担当教員にフィードバックすることで、教員相互が授業方法・授業運営の改善を図り、教育の質的向上に努めている。

また、学生の多様性に対応する教員の能力向上のため、各種FD研修会におけるそれぞれのテーマに関して理解が進んだ。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施：有

実施時期：最終回の授業時

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は学生による授業評価の結果をWeb上で閲覧することが可能。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成28年度に開設し、現在まで概ね順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成30年3月末 公表予定

b 公表方法

・山口大学活動白書を作成し、大学ホームページにて公開を行う。

③ 認証評価を受ける計画

・昨年度(平成27年度)に独立行政法人大学評価・学位授与機構による機関別認証評価を受審。次回受審年度については検討中。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成29年9月1日(予定))

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山口大学

(2) 大学名

山口大学

(3) 大学の位置

〒753-8511
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オカ マサアキ) 岡 正朗 (平成26年4月1日)		
研究科長	(シンジ マサト) 進士 正人 (平成28年4月1日)		
専攻長	(ナカタ ユキオ) 中田 幸男 (平成28年4月1日)	(イマイ ツヨシ) 今井 剛 (平成29年4月1日)	変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成29年4月1日(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 建設環境系専攻 (博士前期課程) 修士(工学) 修士(学術)	工学関係	2年	74人	148人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	平成27年度	平成27年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	74人	若干名	74人	人	0.78倍	
志願者数	() []	() []	65 [3]	1 [1]	82 [2]	() []		
受験者数	() []	() []	62 [3]	1 [1]	80 [2]	() []		
合格者数	() []	() []	56 [2]	1 [1]	75 [2]	() []		
B 入学者数	() []	() []	55 [2]	1 [1]	60 [2]	() []		
入学定員超過率 B/A			0.75		0.81			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, **計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	55 [2] ()	1 [1] ()	60 [2]	[]	
2年次	/		[] ()	[] ()	55 [2] (-)	1 [1] (-)	
3年次			/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] (-)			56 [3] (-)	116 [5] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	55 人	5 人	平成28年度	5 人	0 人	就職(4人)	9.09 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	60 人	0 人	平成29年度	人	人		0.00 %
合 計	115 人	5 人					4.34 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<創成科学研究科 建設環境系専攻（博士前期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1後 1前	1			1						兼2 教育効果充実のため、開講期変更（28）
	知的財産特論	1前 1後	1			1						兼1 具体的な担当教員の確定による変更及び教育効果充実のため開講期変更（28）
	サイエンティフィック・ライティング	1前 1後	1	1		1						兼2 具体的な担当教員の確定による変更（28）
	プレゼンテーション特論	1前 1後	1	1		1						兼3 具体的な担当教員の確定による変更（28）
	【イノベーション教育科目】											
	研究開発戦略論	1・2前 1・2前	2			1						兼2 具体的な担当教員の確定による変更（28）
	企業経営と財務	1・2後	2			1						兼2 教育効果充実のため、開講期変更（28）
	【キャリア教育科目】											
	キャリアデザイン I	1後 1・2前・後	1			1	1					兼2 教育効果充実のため、担当教員を追加（28）
学外特別研修 I	1・2前・後	1~2			1							
長期インターンシップ I	1・2前・後	6			1							
専攻基盤科目	専門英語特別演習	1・2通 1・2前・後	1			3	2	2				兼2 教育効果充実のため、開講期及び担当教員を変更（28）
	建設環境系特論	1・2前	2			1		2				兼1 具体的な担当教員の確定による変更及び教育効果充実のため、配当年次を変更（28）
	建設環境系特別演習 I	1通	1~2			9	9					オムニバス 教員の採用、昇任、退職による変更（29）
	建設環境系特別演習 II	2通	1~2			18	13	3	9	10		教育効果充実のため、担当教員を追加（28）
	科学・技術英語特論	1通	1~2			4	4					共同
	基礎数理解析学特論 I	1・2通	1~2			19	15			10		教員の採用、昇任、退職による変更（29）
	基礎数理解析学特論 II	1・2通	1~2			18	13	3	9			教育効果充実のため、担当教員を追加（28）
	基礎数理工学特論 I	1・2前	2			4	4					共同
	基礎数理工学特論 II	1・2前	2									教育効果充実のため、開講期を変更（28）
	応用数学特論 I	1・2前	2									兼1 教育効果充実のため、開講期を変更（28）
	応用数学特論 II	1・2後	2									兼1
	高度ものづくり創成演習 I	1前	2			1						兼1 教育効果充実のため、開講期を変更（28）
	高度ものづくり創成演習 II	1後	2			1						兼1

専 門 科 目	構造解析学特論	1・2前 1前	2	1	1			教育効果充実のため、配当年次を変更 (28) オムニバス
	地盤工学特論 環境保全工学特論	1・2前 1・2前	2 2	2	1 2	2		教育効果充実のため、担当教員及び授業形式を変更 (28) 共同 オムニバス 担当教員の昇任に伴う変更 (29)
	社会システム分析特論 応用水工学特論	1・2後 1・2後	2 2	1	1	1		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28) オムニバス
	地域情報システム工学	1・2前	2	1				教育効果充実のため、配当年次を変更 (28) オムニバス
	メンテナンス工学	1後	2	1	2			教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	自然・再生エネルギー	1・2後	2	2	1	1		教育効果充実のため、担当教員を変更 (29)
	防災工学特論	1・2後 1・2前	1	1	1	1		教育効果充実のため、開講期を変更 (28) オムニバス 教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)
	地圏工学特論	1・2後 1後	2	2	1	1		教育効果充実のため、配当年次、授業形式及び担当教員を変更 (28) オムニバス
	施設工学特論	1・2前 1前	2	1	1	1		教育効果充実のため、配当年次を変更 (28) オムニバス 教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)
	土質力学特論	1・2後	2	1	1	1		教育効果充実のため、授業形式及び担当教員を変更 (28) オムニバス 担当教員の昇任に伴う変更 (29)
	公共政策学	1・2前 1前	2		2			教育効果充実のため、配当年次を変更 (28)
	国際技術協力特論 Advanced Bio-Giotechnical Engineering	1・2後 1・2前 1・2前	2 2 2		1 1 1			教育効果充実のため、開講期及び担当教員を変更 (28) 教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)
	Applied Fluid Mechanics	1・2後	2		1			教育効果充実のため、授業形式及び担当教員を変更 (28) オムニバス
	Water Environment Engineering	1・2後	2		2			
	Advanced Geoinformatics	1・2後	2		1			
	環境問題対処手法	1・2後	2		1	1		教育効果充実のため、授業形式及び担当教員を変更 (28) オムニバス 担当教員の昇任に伴う変更 (29)
	水質浄化学特論	1・2後	2		1			教育効果充実のため、開講期を変更 (28)
	大気・土壤保全工学特論	1・2前 1・2前	2 2		1 1	1		共同 共同 担当教員の昇任に伴う変更 (29)
	資源循環工学特論	1・2後	2		1			共同
	都市代謝工学特論	1・2前 1・2後	2		1 1	1		教育効果充実のため、開講期を変更 (28) 共同 教育効果充実のため、担当教員の変更 (29)
	建築構造設計演習	1・2前	2		1	1		教育効果充実のため、担当教員を変更 (28) 共同

建築設備設計演習	1・2前	2	1	4	1	1	兼1 教育効果充実のため、担当教員を変更(28) 共同 教育効果充実のため、担当教員を追加(28) オムニバス 具体的な担当教員の確定による変更(28) 担当教員の昇任に伴う変更(29) オムニバス 教育効果充実のため、担当教員を追加(29) 具体的な担当教員の確定による変更(28) オムニバス オムニバス 具体的な担当教員の確定による変更(28) 具体的な担当教員の確定による変更(28) オムニバス オムニバス 具体的な担当教員の確定による変更(28) 具体的な担当教員の確定による変更(28) 教育効果充実のため、開講期、授業形式及び担当教員を変更(28) オムニバス 教育効果充実のため、授業形式及び担当教員を変更(28) オムニバス オムニバス 具体的な担当教員の確定による変更(28) 教育効果充実のため、担当教員を追加(29) 担当教員の退職に伴う担当教員及び授業形式の変更(28) オムニバス 共同 教育効果充実のため、授業形式及び担当教員を変更(28) 共同 教育効果充実のため、授業形式及び担当教員を変更(28) 共同
建築企画計画論	1・2前	2	2				
アーバンデザイン論	1・2前	2	1			4	
建築構造ゼミナール	1通	2	2	4	1	1	
建築環境ゼミナール	1通	2	1	2			
建築計画ゼミナール	1通	2	3		1	2	
都市計画学特論	1・2後	2	1			4	
建築構造設計学特論	1・2前				1		
建築構造設計学特論	4・2後	2	4	4			
建築耐震工学特論	1・2前	2	1	4			
建築設計学特論	1・2前	2	1				
建築計画学特論	1・2前	2	1		1	4	
地球環境建築特論	1・2後	2	1			1	
建築設備設計特論	1・2後	2	1	4			
建築材料・構工法特論	1・2前	2		1			
持続的防災システム特論	1・2前	2		1			
建築・都市設計演習Ⅰ	1・2前	2	3		1	2	
建築・都市設計演習Ⅱ	1・2前	2	3		4	2	
建築・都市設計演習Ⅲ	1・2後	2	3		4	2	
特別研究Ⅰ	1通	2	19	15	3	10	
特別研究Ⅱ	2通	4	19	15	3	10	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
7	59		66	7	59		66	
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当無し					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当無し					

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の差

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \underline{\hspace{2cm}} = \boxed{\text{該当無し}} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	413,643 m ²	m ²	m ²	413,643 m ²				
	運動場用地	127,053 m ²	m ²	m ²	127,053 m ²				
	小 計	540,696 m ²	m ²	m ²	540,696 m ²				
	そ の 他	64,370 m ²	m ²	m ²	64,370 m ²				
	合 計	605,066 m ²	m ²	m ²	605,066 m ²				
(2) 校舎	専 用	413,643 m ²	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	(413,643 m ²)	(m ²)	(m ²)	(413,643 m ²)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	103室	745室	787室	5室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	創成科学研究科建設環境系専攻			46 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕				点	点
	創成科学研究科建設環境系専攻	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
		計	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)	
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	13,063m ²		1590		1501056				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	6,956m ²		陸上競技場, 野球場, サッカー場 他						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金）
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山口大学						備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地1	
人文学科	4	185	-	740	学士(文学)	1.04	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士(教育学)	1.05	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地1	
経済学科	4	130	-	440	学士(経済学)	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士(経済学)	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士(経済学)	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士(法学)	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士(経済学)	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士(経済学)	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地1	
数理科学科	4	50	-	200	学士(理学)	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士(理学)	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士(理学)	1.00	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士(理学)	1.07	平成18年度		
医学部								山口県宇部市雨小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士(医学)	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士(看護学、保健学)	1.02	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士(工学)	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士(工学)	1.05	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士(工学)	1.02	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士(工学)	1.02	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士(工学)	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士(工学)	1.04	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士(農学)	1.05	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士(農学)	1.02	平成13年度		

共同獣医学部 獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.03	平成24年度	山口県山口市吉田1677番地1	
国際総合科学部 国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度	山口県山口市吉田1677番地1	
人文科学研究科 人文科学専攻	2	8	-	8	修士（文学）	0.43	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
教育学研究科 学校教育専攻	2	10	-	23	修士（教育学）	1.20	平成3年度	山口県山口市吉田1677番地1	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士（教育学）	1.14	平成3年度		
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士（専門職）	1.03	平成28年度		
経済学研究科 経済学専攻	2	16	-	32	修士（経済学）	0.74	昭和50年度	山口県山口市吉田1677番地1	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士（経済学）	0.55	平成7年度		
医学系研究科（医学博士） 医学専攻	4	33	-	33	博士（医学）	1.05	平成28年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
医学系研究科（博士前期） 保健学専攻	2	12	-	24	修士（保健学）	1.20	平成17年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学系研究科（博士後期） 応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士（医工学）	-	平成13年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士（生命科学、学術）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士（保健学）	0.80	平成19年度		
創成科学研究科（博士前期） 基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士（理学）	0.89	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
地球圏生命物質科学系専攻	2	42	-	42	修士（理学）	1.01	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
化学系専攻	2	83	-	83	修士（工学、学術）	0.92	平成28年度		
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士（工学）	1.01	平成28年度		
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士（工学）	1.00	平成28年度		
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士（工学、学術）	0.78	平成28年度		
農学系専攻	2	42	-	42	修士（農学、生命科学）	0.74	平成28年度		
創成科学研究科（博士後期） 自然科学系専攻	3	7	-	7	博士（理学、学術）	0.49	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士（工学、学術）	0.31	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士（工学、学術）	0.75	平成28年度		
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士（工学、学術）	0.95	平成28年度		
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士（医工学、生命科学、学術）	1.00	平成28年度		
理工学研究科（博士後期） 自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		

東アジア研究科 東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.53	平成13年度	山口県山口市吉田1677番地1
技術経営研究科 技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.00	平成17年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
連合獣医学研究科 獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.70	平成2年度	【山口大学】 山口県山口市吉田1677番地1 【鳥取大学】 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101 【鹿児島大学】 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<創成科学研究科 建設環境系専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	松田 博	平成28年4月	地盤工学特論 特別研究 I 特別研究 II						平成29年3月 定年退職。後任補充の予定未定。 担当科目は他に担当教員がいるため支障は無い
専	教授	中田 幸男	平成28年4月	地盤工学特論 土質力学特論 特別研究 I 特別研究 II	専	教授	中田 幸男	平成28年4月	地盤工学特論 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の削除 (29)
専	准教授	鈴木 素之	平成28年4月	地盤工学特論 地圏工学特論 防災工学特論 土質力学特論 特別研究 I 特別研究 II	専	教授	鈴木 素之	平成28年4月	地圏工学特論 防災工学特論 土質力学特論 特別研究 I 特別研究 II	平成28年4月 教授昇任 担当科目の削除 (28)
専	准教授	榊原 弘之	平成28年4月	社会システム分析特論 公共政策学 特別研究 I 特別研究 II	専	教授	榊原 弘之	平成29年4月	社会システム分析特論 公共政策学 特別研究 I 特別研究 II	平成29年4月 教授昇任
専	准教授	赤松 良久	平成28年4月	特別研究 I 特別研究 II	専	准教授	赤松 良久	平成28年4月	地域情報システム工学 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (28)
専	准教授	MD. AZIZUL MOQSUD	平成28年4月	国際技術協力特論 Advanced Bio- 特別研究 I 特別研究 II	専	准教授	MD. AZIZUL MOQSUD	平成28年4月	自然・再生エネルギー Advanced Bio-Giotechnical 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (28) 担当科目の削除 (29)
専	助教	中島 伸一郎	平成28年4月	地盤工学特論 特別研究 I 特別研究 II	専	准教授	中島 伸一郎	平成29年4月	特別研究 I 特別研究 II	平成29年4月 准教授昇任 担当科目の削除 (28)
専	助教	吉本 憲正	平成28年4月	地盤工学特論 特別研究 I 特別研究 II	専	准教授	吉本 憲正	平成28年4月	自然・再生エネルギー 土質工学特論 特別研究 I 特別研究 II	平成28年4月 准教授昇任 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (29) 担当科目の削除 (28)
専	准教授	李 柱国	平成28年4月	建築構造ゼミナール 建築材料・構工法特論 特別研究 I 特別研究 II	専	教授	李 柱国	平成29年4月	建築構造ゼミナール 建築材料・構工法特論 特別研究 I 特別研究 II	平成29年4月 教授昇任
専	講師	孔 相権	平成28年4月	建築計画ゼミナール 建築計画学特論 建築・都市設計演習 I 特別研究 I 特別研究 II	専	講師	孔 相権	平成28年4月	建築企画計画論 建築計画ゼミナール 建築計画学特論 建築・都市設計演習 I 特別研究 I 特別研究 II	担当科目の追加 (28)
					専	准教授	長井 正彦	平成28年9月	特別研究 I 特別研究 II	平成28年3月定年退職の三浦房紀教授の後任補充
					専	准教授	森 啓年	平成28年10月	国際技術協力特論 特別研究 I 特別研究 II	平成28年10月 採用

専	助教	鈴木 祐麻	平成28年4月	水質浄化工学特論 資源循環工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	准教授	鈴木 祐麻	平成28年12月	水質浄化工学特論 資源循環工学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	平成28年12月 准教授昇任
					専	助教	田島 啓司	平成28年4月	特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	平成28年4月 採用
					専	助教	梶山 慎太郎	平成29年4月	特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	平成29年4月 採用
					専	准教授	植村 隆	平成28年4月	特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	平成28年4月 就任
専	助教	宋 俊煥	平成28年4月	特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	専	助教	宋 俊煥	平成28年4月	建築企画計画論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	担当科目の追加 (28)
					専	講師	原 弘行	平成29年4月	特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	平成29年4月 採用
					専	助教	金 炫兌	平成28年4月	特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	平成28年4月 採用
					専	助教	三島 幸子	平成29年4月	建築構造ゼミ ナール 建築設備設計特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	平成29年4月 採用

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
11 名	8 名	研究指導教員と合わせて 7 名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
19	14	2	8	43	19	15	3	9	46	19	15	3	9	46
(17)	(13)	(3)	(10)	(43)						[0]	[1]	[1]	[1]	[3]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数
35	8	0				37	9	0				37	9	0
(33)	(10)	(0)										[2]	[Δ1]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階まで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当無し				
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
該当無し						

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当無し				
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)	
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
該当無し						

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)		
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
該当無し				

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<創成科学研究科 建設環境系専攻（博士前期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 修了要件単位数	変更無し
② 施設・設備	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 山口大学工学部・大学院創成科学研究科（工学系）点検・評価委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成28年度 6月7日（火）開催 出席者9名（教員8名，事務職員1名）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己点検・評価に関する事項 ・ 教員の教育・研究及び評価に関する事項 ・ 教員の能力開発に関する事項 等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業公開 ・ 教育改善FD研修会 ・ 学生特別支援室FD研修会 ・ アラカルトFD研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業公開 前期・後期毎に期間を定めて公開授業を実施し、教員に授業を参観させた。 ・ 教育改善FD研修会 本学の大学教育センター長を講師として、YU CoB CuS（山口大学能力基盤型カリキュラム）導入に関する研修を行った。 ・ 学生特別支援室FD研修会 本学の学生特別支援室のスタッフを講師として、障害を持つ学生への合理的配慮の実施に関する研修を行った。 ・ アラカルトFD研修会 本学の知的財産センターのスタッフを講師として、知財教育を事例にして、事前学習を促すことを特徴とする反転授業の教育実践に関する研修を行った。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業公開 参観者数：前期10名，後期10名 ・ 教育改善FD研修会 参加者数：78名 ・ 学生特別支援室FD研修会 参加者数：71名 ・ アラカルトFD研修会 参加者数：62名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

公開授業を参観した教員には授業の感想表を提出させ、授業担当教員にフィードバックすることで、教員相互が授業方法・授業運営の改善を図り、教育の質的向上に努めている。

また、学生の多様性に対応する教員の能力向上のため、各種FD研修会におけるそれぞれのテーマに関して理解が進んだ。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施：有

実施時期：最終回の授業時

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は学生による授業評価の結果をWeb上で閲覧することが可能。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成28年度に開設し、現在まで概ね順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成30年3月末 公表予定

b 公表方法

・山口大学活動白書を作成し、大学ホームページにて公開を行う。

③ 認証評価を受ける計画

・昨年度(平成27年度)に独立行政法人大学評価・学位授与機構による機関別認証評価を受審。次回受審年度については検討中。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ (無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成29年9月1日(予定))

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山口大学

(2) 大学名

山口大学

(3) 大学の位置

〒753-8511
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オカ マサアキ) 岡 正朗 (平成26年4月1日)		
研究科長	(シンジ マサト) 進士 正人 (平成28年4月1日)		
専攻長	(タカハシ タダシ) 高橋 肇 (平成28年4月1日)	(マツイ ケンジ) 松井 健二 (平成29年4月1日)	変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成29年4月1日(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 農学系専攻 (博士前期課程) 修士(農学) 修士(生命科学)	農学関係	2年	42人	84人	基礎となる学部等 農学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	42 [1]	() []	42 []	() []	() []	() []	0.75倍	
志願者数	() []	() []	34 []	() []	38 []	() []	() []	() []		
受験者数	() []	() []	34 []	() []	38 []	() []	() []	() []		
合格者数	() []	() []	33 [1]	() []	36 []	() []	() []	() []		
B 入学者数	() []	() []	30 [1]	() []	33 []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A			0.71		0.79					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, **計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	30 [1] (-)	[] ()	33 [-]	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	30 [1] (-)	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] (-)			30 [1] (-)	[] (-)	33 [1] (-)

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	30人	0人	平成28年度	0人	0人		0.00%
			平成29年度	0人	0人		
平成29年度 入学者	33人	0人	平成29年度	0人	0人		0.00%
合計	63人	0人					0.00%

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<創成科学研究科 農学系専攻（博士前期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科 共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1前	1			1						兼2
	知的財産特論	1後	1			1						兼2
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1		1						兼2
	プレゼンテーション特論	1後		1		1						兼2
	【イノベーション教育科目】											
	研究開発戦略論	1・2前	2			1						兼2
	企業経営と財務	1・2後		2		1						兼2
	【キャリア教育科目】											
キャリアデザイン I	1後		1		1						兼2	
学外特別研修 I	1・2前・後		1~2		1							
長期インターンシップ I	1・2前・後		6		1							
専攻 基盤科目	専門英語特別演習	1・2前・後	1			9			9			具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	農学系特論	1前	2			16	8		10			オムニバス
	Agricultural Sciences	1前	2			8	1					オムニバス 留学生用の授業科目（英語授業）の追加 (28)
	生物資源環境科学特別セミナー	1~2通		1		7	5		6			具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	生物機能科学特別セミナー	1~2通		1		9	3		4			
	Special Seminar of Biological C	1~2通	1~2			9	4		3			留学生用の授業科目（英語授業）の追加 (28)
専門 科目	園芸学特論	1前		2		1			1			オムニバス
	園芸学特別講義	1・2前		1		1						兼1 集中
	植物病理学特論	1前		2		1			1			オムニバス
	植物病理学特別講義	1・2前		1		1						兼1 集中
	応用昆虫学特論	1後		2		2						オムニバス
	応用昆虫学特別講義	1・2前		1		1						兼1 集中
	環境植物学特論	1後		2		2			1			オムニバス
	環境植物学特別講義	1・2前		1		1						兼1 集中
	農業経済学特論	1後		2			1					兼1 集中
	農業経済学特別講義	1・2前		1			1					兼1 集中
	フィールド科学特論	1・2前・後		2		1	4		3			オムニバス
	フィールド科学特別講義	1・2前		1		1						兼1 集中
	生物資源環境科学特別演習	1~2通		4		7	5		6			
	微生物機能科学特論	1前		2		1	2		1			オムニバス
	Microbial Biochemistry	1前		2		1	1					留学生用の授業科目（英語授業）の追加 (28)
	微生物機能科学特別講義	1・2前		1		1						兼1 集中
	分子細胞機能科学特論	1前		2		3	1		1			オムニバス
	Genetic Engineering	1前		2		3	1					留学生用の授業科目（英語授業）の追加 (28)
	分子細胞機能科学特別講義	1・2前		1		1						兼1 集中
	植物生態科学特論	1後		2		3			1			オムニバス
	植物生態科学特別講義	1・2前		1		1						兼1 集中
	応用生命科学特論	1後		2		2	1		1			オムニバス 具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	応用生命科学特別講義	1・2前		1		1						兼1 集中
	生物機能科学総合演習 I	1通		2		9	3		4			具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	生物機能科学総合演習 II	2通		2		9	3		4			具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	生物機能科学特別演習	1~2通		4		9	3		4			具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	Special Laboratory of Biological Chemistry	1~2通	4			9	4		3			留学生用の授業科目（英語授業）の追加 (28)
生物資源科学実践	1・2前・後		1~4		16	8		10			具体的な担当教員の確定による変更 (28)	
アグリ・バイオイノベーション特別演習	2前		1		8							
農学・生命科学と知的財産	2前		1								兼2	
特別研究	1~2通	6			16	8		10			具体的な担当教員の確定による変更 (28)	
Thesis Research	1~2通	6			16	9		9			留学生用の授業科目（英語授業）の追加 (28)	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 6	科目 35	科目	科目 41	科目 10	科目 37	科目	科目 47	
				[4]	[2]	[]	[6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当無し					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当無し					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の差

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\text{該当無し}} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	413,643 m ²	m ²	m ²	413,643 m ²				
	運動場用地	127,053 m ²	m ²	m ²	127,053 m ²				
	小 計	540,696 m ²	m ²	m ²	540,696 m ²				
	そ の 他	64,370 m ²	m ²	m ²	64,370 m ²				
	合 計	605,066 m ²	m ²	m ²	605,066 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		413,643 m ² (413,643 m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	413,643 m ² (413,643 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		103室	745室	787室	5室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		創成科学研究科農学系専攻			34 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕				点	点
	創成科学研究科農学系専攻	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
	計	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	13,063m ²		1590		1501056				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	6,956m ²		陸上競技場, 野球場, サッカー場 他						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金）
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学						備 考		
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.04	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.05	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.00	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.07	平成18年度		
医学部								山口県宇部市雨小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.02	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.05	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.02	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.02	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.04	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.05	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.02	平成13年度		

共同獣医学部 獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.03	平成24年度	山口県山口市吉田1677番地1	
国際総合科学部 国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度	山口県山口市吉田1677番地1	
人文科学研究科 人文科学専攻	2	8	-	8	修士（文学）	0.43	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
教育学研究科 学校教育専攻	2	10	-	23	修士（教育学）	1.20	平成3年度	山口県山口市吉田1677番地1	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士（教育学）	1.14	平成3年度		
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士（専門職）	1.03	平成28年度		
経済学研究科 経済学専攻	2	16	-	32	修士（経済学）	0.74	昭和50年度	山口県山口市吉田1677番地1	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士（経済学）	0.55	平成7年度		
医学系研究科（医学博士） 医学専攻	4	33	-	33	博士（医学）	1.05	平成28年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
医学系研究科（博士前期） 保健学専攻	2	12	-	24	修士（保健学）	1.20	平成17年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学系研究科（博士後期） 応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士（医工学）	-	平成13年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士（生命科学、学術）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士（保健学）	0.80	平成19年度		
創成科学研究科（博士前期） 基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士（理学）	0.89	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
地球圏生命物質科学系専攻	2	42	-	42	修士（理学）	1.01	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
化学系専攻	2	83	-	83	修士（工学、学術）	0.92	平成28年度		
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士（工学）	1.01	平成28年度		
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士（工学）	1.00	平成28年度		
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士（工学、学術）	0.78	平成28年度		
農学系専攻	2	42	-	42	修士（農学、生命科学）	0.74	平成28年度		
創成科学研究科（博士後期） 自然科学系専攻	3	7	-	7	博士（理学、学術）	0.49	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士（工学、学術）	0.31	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士（工学、学術）	0.75	平成28年度		
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士（工学、学術）	0.95	平成28年度		
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士（医工学、生命科学、学術）	1.00	平成28年度		
理工学研究科（博士後期） 自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		

東アジア研究科 東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.53	平成13年度	山口県山口市吉田1677番地1
技術経営研究科 技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.00	平成17年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
連合獣医学研究科 獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.70	平成2年度	<p>【山口大学】 山口県山口市吉田1677番地1</p> <p>【鳥取大学】 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101</p> <p>【鹿児島大学】 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号</p>

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<創成科学研究科 農学系専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	伊藤真一	平成28年4月	植物病理学特論 農学系特論 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	専	教授	伊藤真一	平成28年4月	植物病理学特論 農学系特論 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習 Thesis Research	担当科目の追加 (28)
専	教授	山本 晴彦	平成28年4月	環境植物学特論 農学系特論 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	専	教授	山本 晴彦	平成28年4月	環境植物学特論 農学系特論 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習 Thesis Research アグリ・バイオイノベーション特別演習	担当科目の追加 (28)
専	教授	小林 淳	平成28年4月	応用昆虫学特論 農学系特論 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	専	教授	小林 淳	平成28年4月	応用昆虫学特論 農学系特論 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習 Thesis Research アグリ・バイオイノベーション特別演習	担当科目の追加 (28)
専	教授	高橋 肇	平成28年4月	フィールド科学特論 農学系特論 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	専	教授	高橋 肇	平成28年4月	フィールド科学特論 農学系特論 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習 Thesis Research アグリ・バイオイノベーション特別演習	担当科目の追加 (28)

専	教授	執行 正義	平成28年4月	園芸学特論 農学系特論 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	専	教授	執行 正義	平成28年4月	園芸学特論 農学系特論 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習 Thesis Research	担当科目の追加 (28)
専	教授	竹松 葉子	平成28年4月	応用昆虫学特論 農学系特論 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	専	教授	竹松 葉子	平成28年4月	応用昆虫学特論 農学系特論 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習 Thesis Research	担当科目の追加 (28)
専	教授	荊木 康臣	平成28年4月	環境植物学特論 農学系特論 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習 アグリ・バイオイノベーション特別	専	教授	荊木 康臣	平成28年4月	環境植物学特論 農学系特論 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習 Thesis Research アグリ・バイオイノベーション特別演習	担当科目の追加 (28)
専	教授	山田 守	平成28年4月	分子細胞機能科学特論 農学系特論 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー アグリ・バイオイノベーション特別	専	教授	山田 守	平成28年4月	分子細胞機能科学特論 農学系特論 Agricultural Sciences Special Seminar of Biological Chemistry Microbial Biochemistry Genetic Engineering 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー Thesis Research Special Laboratory of Biological Chemistry アグリ・バイオイノベーション特別演習	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)

専	教授	内海 俊彦	平成28年4月	<p>農学系特論</p> <p>分子細胞機能科学特論</p> <p>特別研究</p> <p>専門英語特別演習</p> <p>生物資源科学実践</p> <p>生物機能科学総合演習Ⅰ</p> <p>生物機能科学総合演習Ⅱ</p> <p>生物機能科学特別演習</p> <p>生物機能科学特別セミナー</p> <p>Special Laboratory of Biological</p> <p>Thesis Research</p> <p>アグリ・バイオイノベーション特別</p>	専	教授	内海 俊彦	平成28年4月	<p>農学系特論</p> <p>Agricultural Sciences</p> <p>Special Seminar of Biological Chemistry</p> <p>分子細胞機能科学特論</p> <p>特別研究</p> <p>専門英語特別演習</p> <p>生物資源科学実践</p> <p>生物機能科学総合演習Ⅰ</p> <p>生物機能科学総合演習Ⅱ</p> <p>生物機能科学特別演習</p> <p>生物機能科学特別セミナー</p> <p>Special Laboratory of Biological Chemistry</p> <p>Thesis Research</p> <p>アグリ・バイオイノベーション特別演習</p>	<p>担当科目の追加 (28)</p> <p>担当科目の追加 (28)</p> <p>担当科目の追加 (28)</p> <p>担当科目の追加 (28)</p>
専	教授	阿座上 弘行	平成28年4月	<p>微生物機能科学特論</p> <p>農学系特論</p> <p>特別研究</p> <p>専門英語特別演習</p> <p>生物資源科学実践</p> <p>生物機能科学総合演習Ⅰ</p> <p>生物機能科学総合演習Ⅱ</p> <p>生物機能科学特別演習</p> <p>生物機能科学特別セミナー</p>	専	教授	阿座上 弘行	平成28年4月	<p>微生物機能科学特論</p> <p>農学系特論</p> <p>Agricultural Sciences</p> <p>Special Seminar of Biological Chemistry</p> <p>特別研究</p> <p>専門英語特別演習</p> <p>生物資源科学実践</p> <p>生物機能科学総合演習Ⅰ</p> <p>生物機能科学総合演習Ⅱ</p> <p>生物機能科学特別演習</p> <p>生物機能科学特別セミナー</p> <p>Special Laboratory of Biological Chemistry</p> <p>Thesis Research</p>	<p>担当科目の追加 (28)</p> <p>担当科目の追加 (28)</p> <p>担当科目の追加 (28)</p> <p>担当科目の追加 (28)</p>
専	教授	宮田 浩文	平成28年4月	<p>キャリアデザインⅠ</p> <p>学外特別研修Ⅰ</p> <p>長期インターンシップⅠ</p> <p>分子細胞機能科学特論</p> <p>農学系特論</p> <p>特別研究</p> <p>専門英語特別演習</p> <p>生物資源科学実践</p> <p>生物機能科学総合演習Ⅰ</p> <p>生物機能科学総合演習Ⅱ</p> <p>生物機能科学特別演習</p> <p>生物機能科学特別セミナー</p> <p>アグリ・バイオイノベーション特別</p>	専	教授	宮田 浩文	平成28年4月	<p>キャリアデザインⅠ</p> <p>学外特別研修Ⅰ</p> <p>長期インターンシップⅠ</p> <p>Agricultural Sciences</p> <p>Special Seminar of Biological Chemistry</p> <p>分子細胞機能科学特論</p> <p>農学系特論</p> <p>特別研究</p> <p>専門英語特別演習</p> <p>生物資源科学実践</p> <p>生物機能科学総合演習Ⅰ</p> <p>生物機能科学総合演習Ⅱ</p> <p>生物機能科学特別演習</p> <p>生物機能科学特別セミナー</p> <p>Special Laboratory of Biological Chemistry</p> <p>Thesis Research</p> <p>アグリ・バイオイノベーション特別演習</p>	<p>担当科目の追加 (28)</p> <p>担当科目の追加 (28)</p> <p>担当科目の追加 (28)</p> <p>担当科目の追加 (28)</p>

専	教授	横山 和平	平成28年4月	植物生態科学特論 農学系特論 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー	専	教授	横山 和平	平成28年4月	植物生態科学特論 農学系特論 Agricultural Sciences Special Seminar of Biological Chemistry 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー Special Laboratory of Biological Chemistry Thesis Research	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	教授	松井 健二	平成28年4月	植物生態科学特論 農学系特論 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー アグリ・バイオイノベーション特別	専	教授	松井 健二	平成28年4月	植物生態科学特論 農学系特論 Agricultural Sciences Special Seminar of Biological Chemistry Genetic Engineering 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー Special Laboratory of Biological Chemistry Thesis Research アグリ・バイオイノベーション特別演習	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	教授	小崎 紳一	平成28年4月	応用生命科学特論 農学系特論 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー	専	教授	小崎 紳一	平成28年4月	応用生命科学特論 農学系特論 Agricultural Sciences Special Seminar of Biological Chemistry Genetic Engineering 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー Special Laboratory of Biological Chemistry Thesis Research	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)

専	教授	赤壁 善彦	平成28年4月	応用生命科学特論 農学系特論 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー	専	教授	赤壁 善彦	平成28年4月	応用生命科学特論 農学系特論 Agricultural Sciences Special Seminar of Biological Chemistry 特別研究 専門英語特別演習 生物資源科学実践 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー Special Laboratory of Biological Chemistry Thesis Research	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	教授	真野 純一	平成28年4月	植物生態科学特論 特別研究 専門英語特別演習 生物機能科学特別セミナー 生物資源科学実践 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習	専	教授	真野 純一	平成28年4月	植物生態科学特論 Special Seminar of Biological Chemistry 特別研究 専門英語特別演習 生物機能科学特別セミナー 生物資源科学実践 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 Special Laboratory of Biological Chemistry Thesis Research	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	准教授	細井 栄嗣	平成28年4月	フィールド科学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	専	准教授	細井 栄嗣	平成28年4月	フィールド科学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 Thesis Research 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	担当科目の追加 (28)
専	准教授	鈴木 賢士	平成28年4月	フィールド科学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	専	准教授	鈴木 賢士	平成28年4月	フィールド科学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 Thesis Research 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	担当科目の追加 (28)
専	准教授	種市 豊	平成28年4月	農業経済学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	専	准教授	種市 豊	平成28年4月	農業経済学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 Thesis Research 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	担当科目の追加 (28)

専	准教授	藤間 充	平成28年4月	フィールド科学 特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	専	准教授	藤間 充	平成28年4月	フィールド科学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 Thesis Research 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	担当科目の追加 (28)
専	准教授	荒木 英樹	平成28年4月	農学系特論 フィールド科学 特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	専	准教授	荒木 英樹	平成28年4月	農学系特論 フィールド科学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 Thesis Research 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	担当科目の追加 (28)
専	准教授	薬師 寿治	平成28年4月	微生物機能科学 特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー	専	准教授	薬師 寿治	平成28年4月	Special Seminar of Biological Chemistry 微生物機能科学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 Microbial Biochemistry Genetic Engineering 特別研究 Thesis Research 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー Special Laboratory of Biological Chemistry	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	准教授	井内 良仁	平成28年4月	分子細胞機能科学 特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー	専	准教授	井内 良仁	平成28年4月	分子細胞機能科学特論 専門英語特別演習 Special Seminar of Biological Chemistry 生物資源科学実践 特別研究 Thesis Research 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー Special Laboratory of Biological Chemistry	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)

専	准教授	藤井 克彦	平成28年4月	微生物機能科学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー	専	准教授	藤井 克彦	平成28年4月	Special Seminar of Biological Chemistry 微生物機能科学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 Thesis Research 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー Special Laboratory of Biological Chemistry	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
					専	准教授	木股 洋子	平成28年4月	応用生命科学特論 専門英語特別演習 Special Seminar of Biological 生物資源科学実践 特別研究 Thesis Research 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー Special Laboratory of Biological	平成28年4月准教授採用
専	助教	金 貞希	平成28年4月	園芸学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	専	助教	金 貞希	平成28年4月	園芸学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 Thesis Research 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	担当科目の追加 (28)
専	助教	佐々木 一紀	平成28年4月	植物病理学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	専	助教	佐々木 一紀	平成28年4月	植物病理学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 Thesis Research 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	担当科目の追加 (28)
専	助教	丹野 研一	平成28年4月	フィールド科学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	専	助教	丹野 研一	平成28年4月	フィールド科学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 Thesis Research 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	担当科目の追加 (28)

専	助教	柳 由貴子	平成28年4月	フィールド科学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	専	助教	柳 由貴子	平成28年4月	フィールド科学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 Thesis Research 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	担当科目の追加 (28)
専	助教	坂口 敦	平成28年4月	フィールド科学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	専	助教	坂口 敦	平成28年4月	フィールド科学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 Thesis Research 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	担当科目の追加 (28)
専	助教	佐合 悠貴	平成28年4月	環境植物学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	専	助教	佐合 悠貴	平成28年4月	環境植物学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 Thesis Research 生物資源環境科学特別セミナー 生物資源環境科学特別演習	担当科目の追加 (28)
専	助教	高坂 智之	平成28年4月	分子細胞機能科学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー	専	助教	高坂 智之	平成28年4月	分子細胞機能科学特論 専門英語特別演習 Special Seminar of Biological Chemistry 生物資源科学実践 特別研究 Thesis Research 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー Special Laboratory of Biological Chemistry	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)
専	助教	片岡 尚也	平成28年4月	微生物機能科学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー	専	助教	片岡 尚也	平成28年4月	微生物機能科学特論 専門英語特別演習 Special Seminar of Biological Chemistry 生物資源科学実践 特別研究 Thesis Research 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー Special Laboratory of Biological Chemistry	担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28) 担当科目の追加 (28)

専	助教	肥塚 崇男	平成28年 4月	植物生態科学特論 専門英語特別演習 生物資源科学実践 特別研究	専	助教	肥塚 崇男	平成28年 4月	植物生態科学特論 専門英語特別演習 Special Seminar of Biological Chemistry 生物資源科学実践 特別研究 Thesis Research 生物機能科学総合演習Ⅰ 生物機能科学総合演習Ⅱ 生物機能科学特別演習 生物機能科学特別セミナー Special Laboratory of Biological Chemistry	担当科目の追加 (28)	担当科目の追加 (28)	担当科目の追加 (28)
---	----	-------	----------	--	---	----	-------	----------	--	--------------	--------------	--------------

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
6	4	研究指導教員と合わせて 6
名	名	名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
16	8	0	10	34	16	9	0	9	34	16	9	0	34	50
(16)	(9)	(0)	(9)	(34)						[0]	[0]	[0]	[0]	[1]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
34	0	0			25	0	0			34	0	0		
(34)	(0)	(0)								[0]	[0]	[0]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当無し				
合計（A）					後任補充状況の集計（B）	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
該当無し						

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当無し				
合計（C）					後任補充状況の集計（D）	
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
該当無し						

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）		後任補充状況の集計（B）+（D）		
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
該当無し				

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<創成科学研究科 農学系専攻（博士前期課程）>

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 修了要件単位数	変更無し
② 施設・設備	

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 専属的な委員会組織はなく、学務委員会内においてFDコーディネーターを中心に審議・実施を行っている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 年4～5回程度</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD研修会の実施内容 ・ カリキュラム改善 ・ 学生の修学及び就職支援 ・ 発達障害学生への対応 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業方法に関する研修会の開催 ・ 発達障害学生への対応に関する研修会の開催 ・ 学生の就職支援に関する研修会の開催 ・ 教員相互の授業公開（ピアレビュー） <p>b 実施方法 研修会については、FDコーディネーターを中心に教授会開催前に設定している。 授業公開（ピアレビュー）については、各学科長を中心に実施している。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 研修会の開催 年3回（参加率：76%） 授業公開（ピアレビュー）計7回</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 大学教育における様々な問題と適正な対処方法を教員間で共有し、各々の授業において個別に対応している。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 学部独自の取組はなし。</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>

（注）・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成28年度に開設し、現在まで概ね順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年3月末 公表予定

b 公表方法

・山口大学活動白書を作成し、大学ホームページにて公開を行う。

③ 認証評価を受ける計画

・昨年度（平成27年度）に独立行政法人大学評価・学位授与機構による機関別認証評価を受審。次回受審年度については検討中。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年9月1日（予定）)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山口大学

(2) 大学名

山口大学

(3) 大学の位置

〒753-8511
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オカ マサアキ) 岡 正朗 (平成26年4月1日)		
研究科長	(シンジ マサト) 進士 正人 (平成28年4月1日)		
専攻長	(シライシ キヨシ) 白石 清 (平成28年4月1日)	(ヒロサワ フミヒコ) 廣澤 史彦 (平成29年4月1日)	変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成29年4月1日(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 自然科学系専攻 (博士後期課程) 博士(理学) 博士(学術)	理学関係	3年	7人	21人	基礎となる学部等 理学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	平成27年度	平成28年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	7人	人	7人	人	0.49倍	
志願者数	() []	() []	2 [-]	0 [-]	5 [-]	() []		
受験者数	() []	() []	2 [-]	0 [-]	5 [-]	() []		
合格者数	() []	() []	2 [-]	0 [-]	5 [-]	() []		
B 入学者数	() []	() []	2 [-]	0 [-]	5 [-]	() []		
入学定員超過率 B/A			0.28		0.71			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	2 [-] ()	0 [-] ()	5 [-]	[]	
2年次	/		[] ()	[] ()	2 [-] (-)	0 [-] (-)	
3年次			/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[-] (-)			2 [-] (-)	7 [-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<創成科学研究科 自然科学系専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1前	1			1						兼 2
	知的財産特論	1後	1			1						兼 2
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1		1						兼 2
	プレゼンテーション特論	1後		1		1						兼 2
	【イノベーション教育科目】											
	リサーチメソッドロジー特論	1・2前		2		1						兼 1
	イノベーション特論	1・2前		2		1						兼 1
	技術ロードマッピング特論	1・2後		2		1						兼 1
	製品開発特論	1・2後		2		1						兼 1
【キャリア教育科目】												
キャリアデザインⅡ	1前		2		1						兼 2	
学外特別研修Ⅱ	1・2・3前・後		1~4		1							
長期インターンシップⅡ	1・2・3前・後		6		1							
専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2			27	23	6	5			担当教員の退職,昇任,採用(29)
						28	22	5	4			担当教員の退職,昇任及び具体的な担当教員の確定による変更(28)
		1・2後				26	24	7	5		兼 4	
						4	7	2				担当教員の確定の変更(29)
	数理複雑系科学特論	1・2後		2		7	6	4	4			教育効果充実のため、開講期変更。具体的な担当教員の確定による変更(28)
	数理複雑系科学特論	1・2前		2		16	14	5	3		兼 2	オムニバス
						6						具体的な担当教員の確定による変更(28)
	自然システム科学特論	1・2前		2		10	10	2	2		兼 2	オムニバス
						27	23	6	5			担当教員の退職,昇任,採用(29)
	自然科学特別講義Ⅰ	1・2・3通		2		28	22	5	4			担当教員の退職,昇任及び具体的な担当教員の確定による変更(28)
		1・2・3通		2		26	24	7	5		兼 4	
						27	23	6	5			担当教員の退職,昇任,採用(29)
	自然科学特別講義Ⅱ	1・2・3通		2		28	22	5	4			担当教員の退職,昇任及び具体的な担当教員の確定による変更(28)
		1・2・3通		2		26	24	7	5		兼 4	
					27	23	6	5			担当教員の退職,昇任,採用(29)	
自然科学ゼミナール	1・2・3通		2		28	22	5	4			担当教員の退職,昇任及び具体的な担当教員の確定による変更(28)	
	1・2・3通		2		26	24	7	5		兼 4		
					27	23	6	5			担当教員の退職,昇任,採用(29)	
学外特別実習	2・3通		2		28	22	5	4			担当教員の退職,昇任及び具体的な担当教員の確定による変更(28)	
	2・3通		2		26	24	7	5		兼 4		
					27	23	6	5			担当教員の退職,昇任,採用(29)	
サイエンス特別実習Ⅰ	1・2・3通		2		28	22	5	4			担当教員の退職,昇任及び具体的な担当教員の確定による変更(28)	
	1・2・3通		2		26	24	7	5		兼 4		
					27	23	6	5			担当教員の退職,昇任,採用(29)	
サイエンス特別実習Ⅱ	1・2・3通		2		28	22	5	4			担当教員の退職,昇任及び具体的な担当教員の確定による変更(28)	
	1・2・3通		2		26	24	7	5		兼 4		

専門科目	複雑系数理学特論 I	1・2前	2	2	1	1			教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	複雑系数理学特論 II	1・2後	2		2				教育効果充実のため、開講期変更 (29)
	代数系特論 I	1・2後	2	1	1	1	2		担当教員昇任に伴う変更 (28)
	代数系特論 II	1・2後	2					2	教育効果充実のため、開講期変更 (29)
	空間構造特論 I	1・2後	2	1	2	1			具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	空間構造特論 II	1・2後	2	2	1	1	4		担当教員昇任に伴う変更 (28)
	応用数理学特論	1・2前	2	4	1	1	1		担当教員の退職、採用に伴う変更 (28)
	数理工学特論	1・2後	2	1	1			1	担当教員の退職、採用に伴う変更 (28)
	応用解析学特論	1・2前	2	2		1	1		教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)
	相転移科学特論	1・2前	2	2	2	4			教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	量子相関係特論	1・2後	2	2	2	4		1	教育効果充実のため、担当教員を変更 (29)
	宇宙論特論	1・2前	2	3					兼 1 教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	結晶物性学特論	1・2前	2	2	1			1	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)
	電波天文学特論	1・2後	2	4	1				兼 1 教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	ソフトマター科学特論	1・2後	2	2	2	1		1	教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	システム情報科学特論	1・2前	2	4	4				教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)
	数理モデリング特論	1・2後	2	1	1			1	教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	ネットワーク科学特論	1・2前	2	1				4	兼 1 担当教員の昇任 (29)
	溶液反応化学特論	1・2後	2	2	1	1			教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	分子集合体化学特論	1・2前	2	1	1	2		4	担当教員昇任に伴う変更 (28)
	固体物性化学特論	1・2後	2	1	1	1	4		兼 1 担当教員昇任に伴う変更 (28)
	電子物理化学特論	1・2前	2	1	1				兼 1 担当教員の昇任 (29)
	反応有機化学特論	1・2後	2	1	1	1			教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	有機合成化学特論	1・2前	2	2					教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	鉱物鉱床学特論	1・2後	2	2					兼 1 教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	地殻・マントル構成物質学特論	1・2前	2	4	4				教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	地球物質循環学特論	1・2後	2	1	1				教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	地球変動学特論	1・2前	2	2					教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	地球環境学特論	1・2後	2	4	1	1			教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	応用地球科学特論	1・2前	2	2					兼 1 教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	応用地球科学特論	1・2後	2	1	1				教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 3	科目 47	科目	科目 50	科目 3	科目 47	科目	科目 50	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当無し					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当無し					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の差

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\text{該当無し}} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	413,643 m ²	m ²	m ²	413,643 m ²				
	運動場用地	127,053 m ²	m ²	m ²	127,053 m ²				
	小 計	540,696 m ²	m ²	m ²	540,696 m ²				
	そ の 他	64,370 m ²	m ²	m ²	64,370 m ²				
	合 計	605,066 m ²	m ²	m ²	605,066 m ²				
(2) 校 舎	専 用	413,643 m ²	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	(413,643 m ²)	(m ²)	(m ²)	(413,643 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	103室	745室	787室	5室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	創成科学研究科自然科学系専攻			64 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕				点	点
	創成科学研究科自然科学系専攻	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
	計	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	13,063m ²		1590		1501056				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	6,956m ²		陸上競技場, 野球場, サッカー場 他						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金）
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学						備 考		
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.04	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.05	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.00	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.07	平成18年度		
医学部								山口県宇部市雨小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.02	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.05	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.02	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.02	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.04	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.05	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.02	平成13年度		

共同獣医学部 獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.03	平成24年度	山口県山口市吉田1677番地1	
国際総合科学部 国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度	山口県山口市吉田1677番地1	
人文科学研究科 人文科学専攻	2	8	-	8	修士（文学）	0.43	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
教育学研究科 学校教育専攻	2	10	-	23	修士（教育学）	1.20	平成3年度	山口県山口市吉田1677番地1	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士（教育学）	1.14	平成3年度		
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士（専門職）	1.03	平成28年度		
経済学研究科 経済学専攻	2	16	-	32	修士（経済学）	0.74	昭和50年度	山口県山口市吉田1677番地1	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士（経済学）	0.55	平成7年度		
医学系研究科（医学博士） 医学専攻	4	33	-	33	博士（医学）	1.05	平成28年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
医学系研究科（博士前期） 保健学専攻	2	12	-	24	修士（保健学）	1.20	平成17年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学系研究科（博士後期） 応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士（医工学）	-	平成13年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士（生命科学、学術）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士（保健学）	0.80	平成19年度		
創成科学研究科（博士前期） 基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士（理学）	0.89	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
地球圏生命物質科学系専攻	2	42	-	42	修士（理学）	1.01	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
化学系専攻	2	83	-	83	修士（工学、学術）	0.92	平成28年度		
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士（工学）	1.01	平成28年度		
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士（工学）	1.00	平成28年度		
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士（工学、学術）	0.78	平成28年度		
農学系専攻	2	42	-	42	修士（農学、生命科学）	0.74	平成28年度		
創成科学研究科（博士後期） 自然科学系専攻	3	7	-	7	博士（理学、学術）	0.49	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士（工学、学術）	0.31	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士（工学、学術）	0.75	平成28年度		
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士（工学、学術）	0.95	平成28年度		
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士（医工学、生命科学、学術）	1.00	平成28年度		
理工学研究科（博士後期） 自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		

東アジア研究科 東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.53	平成13年度	山口県山口市吉田1677番地1
技術経営研究科 技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.00	平成17年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
連合獣医学研究科 獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.70	平成2年度	【山口大学】 山口県山口市吉田1677番地1 【鳥取大学】 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101 【鹿児島大学】 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<創成科学研究科 自然科学系専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	
専	教授	増本 誠	平成28年4月	専	教授	増本 誠	平成28年4月	担当科目の削除 (H28)
専	教授	木内 功	平成28年4月	専	教授	木内 功	平成28年4月	担当科目の削除 (H28)
専	教授	中内 伸光	平成28年4月	専	教授	中内 伸光	平成28年4月	担当科目の削除 (H28)
専	教授	菊政 勲	平成28年4月	専	教授	菊政 勲	平成28年4月	担当科目の削除 (H28)

専	准教授	廣澤 史彦	平成28年 4月	複雑系数理学 特論Ⅱ 最先端自然科学 研究科目 数理複雑系科 学特論 自然科学特別 講究Ⅰ 自然科学特別 講究Ⅱ 自然科学ゼミ ナール 学外特別実習 サイエンス特 別実習Ⅰ サイエンス特 別実習Ⅱ	専	教授	廣澤 史彦	平成28年 4月		平成28年 4月教授昇任
専	准教授	倉富 要輔	平成28年 4月	代数系特論Ⅰ 最先端自然科学 研究科目 数理複雑系科 学特論 自然科学特別 講究Ⅰ 自然科学特別 講究Ⅱ 自然科学ゼミ ナール 学外特別実習 サイエンス特 別実習Ⅰ サイエンス特 別実習Ⅱ	専	准教授	倉富 要輔	平成28年 4月	代数系特論Ⅰ 最先端自然科学 研究科目 自然科学特別講 究Ⅰ 自然科学特別講 究Ⅱ 自然科学ゼミ ナール 学外特別実習 サイエンス特別 実習Ⅰ サイエンス特別 実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	近藤 慶	平成28年 4月	空間構造特論 Ⅰ 最先端自然科学 研究科目 数理複雑系科 学特論 自然科学特別 講究Ⅰ 自然科学特別 講究Ⅱ 自然科学ゼミ ナール 学外特別実習 サイエンス特 別実習Ⅰ サイエンス特 別実習Ⅱ	専	准教授	近藤 慶	平成28年 4月	空間構造特論Ⅰ 最先端自然科学 研究科目 自然科学特別講 究Ⅰ 自然科学特別講 究Ⅱ 自然科学ゼミ ナール 学外特別実習 サイエンス特別 実習Ⅰ サイエンス特別 実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
専	講師	鍛冶 静雄	平成28年 4月	空間構造特論 Ⅱ 最先端自然科学 研究科目 数理複雑系科 学特論 自然科学特別 講究Ⅰ 自然科学特別 講究Ⅱ 自然科学ゼミ ナール 学外特別実習 サイエンス特 別実習Ⅰ サイエンス特 別実習Ⅱ	専	准教授	鍛冶 静雄	平成28年 4月		平成28年4月准教授昇任

専	講師	大関 一秀	平成28年 4月	代数系特論Ⅱ 最先端自然科学 科学研究科目 数理複雑系科学 特論 自然科学特別 講究Ⅰ 自然科学特別 講究Ⅱ 自然科学ゼミ ナール 学外特別実習 サイエンス特別 実習Ⅰ サイエンス特別 実習Ⅱ	専	准教授	大関 一秀	平成28年 4月		平成28年4月准教授昇任
専	教授	白石 清	平成28年 4月	宇宙論特論 量子相関系特 論 最先端自然 科学研究科目 数理複雑系科学 特論 自然科学特別 講究Ⅰ 自然科学特別 講究Ⅱ 自然科学ゼミ ナール 学外特別実習 サイエンス特別 実習Ⅰ サイエンス特別 実習Ⅱ	専	教授	白石 清	平成28年 4月	宇宙論特論 量子相関系特論 最先端自然科学 研究科目 自然科学特別講 究Ⅰ 自然科学特別講 究Ⅱ 自然科学ゼミ ナール 学外特別実習 サイエンス特別 実習Ⅰ サイエンス特別 実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
専	教授	野崎 浩二	平成28年 4月	相転移科学特 論 結晶物性学特 論 最先端自然 科学研究科目 数理複雑系科学 特論 自然科学特別 講究Ⅰ 自然科学特別 講究Ⅱ 自然科学ゼミ ナール 学外特別実習 サイエンス特別 実習Ⅰ サイエンス特別 実習Ⅱ	専	教授	野崎 浩二	平成28年 4月	相転移科学特論 結晶物性学特論 最先端自然科学 研究科目 自然科学特別講 究Ⅰ 自然科学特別講 究Ⅱ 自然科学ゼミ ナール 学外特別実習 サイエンス特別 実習Ⅰ サイエンス特別 実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
教授	教授	坂井 伸之	平成28年 4月	宇宙論特論 量子相関系特 論 最先端自然 科学研究科目 数理複雑系科学 特論 自然科学特別 講究Ⅰ 自然科学特別 講究Ⅱ 自然科学ゼミ ナール 学外特別実習 サイエンス特別 実習Ⅰ サイエンス特別 実習Ⅱ	教授	教授	坂井 伸之	平成28年 4月	宇宙論特論 量子相関系特論 最先端自然科学 研究科目 自然科学特別講 究Ⅰ 自然科学特別講 究Ⅱ 自然科学ゼミ ナール 学外特別実習 サイエンス特別 実習Ⅰ サイエンス特別 実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)

専	准教授	芦田 正巳	平成28年 4月	量子相関系特論 最先端自然科学研究科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	助教	齊藤 遼	平成29年 4月	宇宙論特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	芦田准教授（平成29年3月定年退職）の後任補充「量子相関系特論」及び「数理複雑系科学特論」は、他に担当教員が複数いるため、支障なし。
専	准教授	新沼 浩太郎	平成28年 4月	宇宙論特論 電波天文学特論 最先端自然科学研究科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	准教授	新沼 浩太郎	平成28年 4月	宇宙論特論 電波天文学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除（H28）
専	助教	藤原 哲也	平成28年 4月	相転移科学特論 最先端自然科学研究科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	講師	藤原 哲也	平成28年 4月	相転移科学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除（H28） 平成28年1月講師昇任

専	助教	堀川 裕加	平成28年 4月	ソフトウェア科学特論 最先端自然科学研究科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	助教	堀川 裕加	平成28年 4月	ソフトウェア科学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
					専	助教	元木 業人	平成28年10月	電波天文学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	平成28年10月助教採用
専	助教	野崎 隆之	平成28年 4月	ネットワーク科学特論 最先端自然科学研究科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	講師	野崎 隆之	平成28年 4月		平成29年4月講師昇任
専	教授	山本 隆	平成28年 4月	ソフトウェア科学特論 最先端自然科学研究科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	准教授	韓先花	平成29年 3月	システム情報科学特論 最先端自然科学研究科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	山本教授（平成29年3月定年退職）の後任補充「ソフトウェア科学特論」は、他に担当教員が複数いるため、支障なし。
専	教授	内野 英治	平成28年 4月	システム情報科学特論 最先端自然科学研究科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	教授	内野 英治	平成28年 4月	システム情報科学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)

専	教授	松野 浩嗣	平成28年 4月	ネットワーク科学特論 最先端自然科学研究科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	教授	松野 浩嗣	平成28年 4月	ネットワーク科学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	末竹 規哲	平成28年 4月	システム情報科学特論 最先端自然科学研究科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	教授	末竹 規哲	平成28年 4月	システム情報科学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28) 平成27年4月教授昇任
専	助教	Adrien Faure	平成28年 4月	ネットワーク科学特論 最先端自然科学研究科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	助教	Adrien Faure	平成28年 4月	ネットワーク科学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
専	教授	池田敏春	平成28年 4月	数理工学特論 最先端自然科学研究科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	教授	池田敏春	平成28年 4月	数理工学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)

専	教授	柳原 宏	平成28年 4月	応用解析学特論 最先端自然科学研究科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	教授	柳原 宏	平成28年 4月	応用解析学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	
専	准教授	岡田 真理	平成28年 4月	応用数理学特論 最先端自然科学研究科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	准教授	岡田 真理	平成28年 4月	応用数理学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	西山 高弘	平成28年 4月	数理工学特論 最先端自然科学研究科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	准教授	西山 高弘	平成28年 4月	数理工学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)

専	講師	堀田一敬	平成28年4月	応用解析学特論 最先端自然科学研究科目 数理複雑系科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	講師	堀田一敬	平成28年4月	応用解析学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
					専	講師	柳下剛広	平成28年月4月	応用数理学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	平成28年月4月 講師に採用
専	准教授	上條 真	平成28年4月	有機合成化学特論 最先端自然科学研究科目 自然システム科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	准教授	上條 真	平成28年4月	有機合成化学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	村上 良子	平成28年4月	溶液反応化学特論 最先端自然科学研究科目 自然システム科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	准教授	村上 良子	平成28年4月	溶液反応化学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)

専	准教授	安達 健太	平成28年 4月	分子集合体化学特論 最先端自然科学研究科目 自然システム科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	准教授	安達 健太	平成28年 4月	分子集合体化学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	網島 亮	平成28年 4月	固体物性化学特論 最先端自然科学研究科目 自然システム科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	准教授	網島 亮	平成28年 4月	固体物性化学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
専	講師	谷 誠治	平成28年 4月	電子物理化学特論 最先端自然科学研究科目 自然システム科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	准教授	谷 誠治	平成28年 4月	電子物理化学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28) 平成28年4月准教授昇任
専	助教	鈴木 康孝	平成28年 4月	固体物性化学特論 最先端自然科学研究科目 自然システム科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	准教授	鈴木 康孝	平成28年 4月	固体物性化学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28) 平成28年10月准教授昇任

専	助教	檜木野 宏	平成28年 4月	最先端自然科学研究科目 自然システム科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	助教	檜木野 宏	平成28年 4月	最先端自然科学研究科目 自然システム科学特論 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
専	教授	今岡 照喜	平成28年 4月	地球物質循環学特論 最先端自然科学研究科目 自然システム科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	教授	今岡 照喜	平成28年 4月	地球物質循環学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
専	教授	宮田 雄一郎	平成28年 4月	地球環境学特論 最先端自然科学研究科目 自然システム科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	教授	宮田 雄一郎	平成28年 4月	地球環境学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
専	教授	大和田 正明	平成28年 4月	地殻・マントル構成物質学特論 最先端自然科学研究科目 自然システム科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	教授	大和田 正明	平成28年 4月	地殻・マントル構成物質学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)

専	教授	志村 俊昭	平成28年 4月	地殻・マントル 構成物質学特論 最先端自然科学 研究科目 自然システム 科学特論 自然科学特別 講究Ⅰ 自然科学特別 講究Ⅱ 自然科学ゼミ ナール 学外特別実習 サイエンス特別 実習Ⅰ サイエンス特別 実習Ⅱ	専	教授	志村 俊昭	平成28年 4月	地殻・マントル 構成物質学特論 最先端自然科学 研究科目 自然科学特別講 究Ⅰ 自然科学特別講 究Ⅱ 自然科学ゼミ ナール 学外特別実習 サイエンス特別 実習Ⅰ サイエンス特別 実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	澤井 長雄	平成28年 4月	鉱物鉱床学特論 最先端自然科学 研究科目 自然システム 科学特論 自然科学特別 講究Ⅰ 自然科学特別 講究Ⅱ 自然科学ゼミ ナール 学外特別実習 サイエンス特別 実習Ⅰ サイエンス特別 実習Ⅱ	専	准教授	澤井 長雄	平成28年 4月	鉱物鉱床学特論 最先端自然科学 研究科目 自然科学特別講 究Ⅰ 自然科学特別講 究Ⅱ 自然科学ゼミ ナール 学外特別実習 サイエンス特別 実習Ⅰ サイエンス特別 実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	阿部 利弥	平成28年 4月	鉱物鉱床学特論 最先端自然科学 研究科目 自然システム 科学特論 自然科学特別 講究Ⅰ 自然科学特別 講究Ⅱ 自然科学ゼミ ナール 学外特別実習 サイエンス特別 実習Ⅰ サイエンス特別 実習Ⅱ	専	准教授	阿部 利弥	平成28年 4月	鉱物鉱床学特論 最先端自然科学 研究科目 自然科学特別講 究Ⅰ 自然科学特別講 究Ⅱ 自然科学ゼミ ナール 学外特別実習 サイエンス特別 実習Ⅰ サイエンス特別 実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	川村 喜一郎	平成28年 4月	地球変動学特論 最先端自然科学 研究科目 自然システム 科学特論 自然科学特別 講究Ⅰ 自然科学特別 講究Ⅱ 自然科学ゼミ ナール 学外特別実習 サイエンス特別 実習Ⅰ サイエンス特別 実習Ⅱ	専	准教授	川村 喜一郎	平成28年 4月	地球変動学特論 最先端自然科学 研究科目 自然科学特別講 究Ⅰ 自然科学特別講 究Ⅱ 自然科学ゼミ ナール 学外特別実習 サイエンス特別 実習Ⅰ サイエンス特別 実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)

専	准教授	永島 真理子	平成28年 4月	地球物質循環学特論 最先端自然科学研究科目 自然システム科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	准教授	永島 真理子	平成28年 4月	地球物質循環学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)
専	准教授	坂口 有人	平成28年 4月	応用地球科学特論 最先端自然科学研究科目 自然システム科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	教授	坂口 有人	平成28年 4月	応用地球科学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28) 平成27年4月教授昇任
専	講師	大橋 聖和	平成28年 4月	地球変動学特論 最先端自然科学研究科目 自然システム科学特論 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	専	講師	大橋 聖和	平成28年 4月	地球変動学特論 最先端自然科学研究科目 自然科学特別講究Ⅰ 自然科学特別講究Ⅱ 自然科学ゼミナール 学外特別実習 サイエンス特別実習Ⅰ サイエンス特別実習Ⅱ	担当科目の削除 (H28)

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成29年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
26	23	7	6	62	28	24	7	5	64	28	24	7	6	64
(28)	(22)	(5)	(5)	(60)						[2]	[1]	[0]	[0]	[2]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
32	28	1			33	31	0			33	31	0		
(32)	(27)	(1)								[1]	[3]	[△1]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当無し				
合計（A）				後任補充状況の集計（B）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
該当無し						

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当無し				
合計（C）				後任補充状況の集計（D）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
該当無し						

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）		後任補充状況の集計（B）+（D）				
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
該当無し						

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

外と無し

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<創成科学研究科 自然科学系専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 修了要件単位数	変更無し
② 施設・設備	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 特に設置していないが、FDについては、副教務委員長がFD担当を兼任している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員相互の授業参観（ピア・レビュー） ・ 授業方法について研究会 ・ FD研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ピア・レビューと授業研究会は分野ごとに、研修会は全分野合同で実施している。研究会は地球科学分野のみ実施 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD研修会 2回（平成28年9月7日就職支援関係47名出席，平成29年3月15日教育改善関係48名出席） ・ ピア・レビュー 6回（数理科学分野1回，物理・情報科学分野2回，化学分野2回，地球科学分野1回） ・ 授業研究会 1回（地球科学分野） <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 問題点を共有し，次年度の授業実施の改善に向けた活発な意見交換が出来た。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年2回（前期1回，後期1回）授業評価アンケートを実施している <p>b 教員や学生への公開状況，方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD報告書を年度末に作成している
--

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成28年度に開設し、現在まで概ね順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおりに実施していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年3月末 公表予定

b 公表方法

・山口大学活動白書を作成し、大学ホームページにて公開を行う。

③ 認証評価を受ける計画

・昨年度（平成27年度）に独立行政法人大学評価・学位授与機構による機関別認証評価を受審。次回受審年度については検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年9月1日（予定）)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山口大学

(2) 大学名

山口大学

(3) 大学の位置

〒753-8511
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オカ マサアキ) 岡 正朗 (平成26年4月1日)		
研究科長	(シンジ マサト) 進士 正人 (平成28年4月1日)		
専攻長	(タダトモ カズユキ) 只友 一行 (平成28年4月1日)	(ナカヤマ マサハル) 中山 雅晴 (平成29年4月1日)	変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成29年4月1日(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 物質工学系専攻 (博士後期課程) 博士(工学) 博士(学術)	工学関係	3年	8人	24人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	平成27年度	平成27年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	8人	若干名	8人	人	0.31倍	
志願者数	() []	() []	(-) [-]	(-) [-]	(2) [1]	() []		
受験者数	() []	() []	(-) [-]	(-) [-]	(2) [1]	() []		
合格者数	() []	() []	(-) [-]	(-) [-]	(2) [1]	() []		
B 入学者数	() []	() []	(-) [-]	(-) [-]	(2) [1]	() []		
入学定員超過率 B/A			0.12		0.50			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	1 [-] (-)	0 [-] (-)	4 [1] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	1 [-] (-)	0 [] (-)	
3年次			/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()			1 [-] (-)	5 [1] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	1人	0人	平成28年度	0人	0人		0.00%
			平成29年度	0人	0人		
平成29年度 入学者	4人	0人	平成29年度	0人	0人		0.00%
合計	5人	0人					0.00%

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<創成科学研究科 物質工学系専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1前	1			1						兼2
	知的財産特論	1後	1			1						兼2
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1		1						兼2
	プレゼンテーション特論	1後		1		1						兼2
	【イノベーション教育科目】											
	リサーチメソドロジー特論	1・2前		2		1						兼1
	イノベーション特論	1・2前		2		1						兼1
	技術ロードマッピング特論	1・2後		2		1						兼1
	製品開発特論	1・2後		2		1						兼1
【キャリア教育科目】												
キャリアデザインⅡ	1前		2		4						兼14	
学外特別研修Ⅱ	1・2・3前・後		1~4		1						兼2	
長期インターンシップⅡ	1・2・3前・後		6		1						具体的な担当教員の確定による変更 (28)	
専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2			1						
	物質工学特別講義	1前		2		4	1					具体的な担当教員の確定による変更 (29)
	科学・技術英語特論S	1後		2		8	7					オムニバス
	応用解析学特論	1・2前・後		2								兼1
	数理工学特論	1・2前・後		2								兼2
	応用数理科学特論	1・2前・後		2								兼2
	物質工学ゼミナールⅠ	1・2前		2		17	17	4	6			具体的な担当教員の確定による変更 (29)
物質工学ゼミナールⅡ	1・2後		2		17	17	4	6			具体的な担当教員の確定による変更 (29)	
専門科目	励起子工学特論	1・2前		2		1						
	発光デバイス工学特論	1・2後		2		1			1			オムニバス
	グリーン・イノベーション特論	1・2前		2		1						
	磁気共鳴特論	1・2後		2			1					具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	超伝導デバイス工学特論	1・2前		2		4						
	超伝導物性特論	1・2後		2			1					
	セラミックスデバイス工学特論	1・2前		2		1						
	物性工学特論	1・2後		2			1					
	電子構造物性特論	1・2前		2			1					
	固体物性シミュレーション特論	1・2後		2		4			1			授業担当教員の退職に伴う教員の変更 (29)
	量子物性学特論	1・2前		2			1					
	計算科学特論	1・2後		2			1					
	メタマテリアル特論	1・2前		2		1						教育効果充実のため、担当教員を変更 (29)
	プラズマ材料工学特論	1・2後		2			4					
	イオン性プラズマ物性特論	1・2前		2		1	4					担当教員昇任に伴う変更(28)
プラズマシミュレーション学特論	1・2後		2		1							
エネルギー変換材料工学特論	1・2前		2		1							

電子機能材料工学特論	1・2後	2	1	+	1	担当教員昇任に伴う変更(29)
結晶合成工学特論	1・2前	2	1			教育効果充実のため、担当教員を追加(29)
結晶物性工学特論	1・2後	2		1		
有機電子・光材料化学特論	1・2前	2	1	1		オムニバス
セラミックス工学特論	1・2後	2		1		
触媒反応特論	1・2前	2	1	+	1	教育効果充実のため、担当教員及び授業形式を変更(28) オムニバス 教育効果充実のため、担当教員を追加(29)
精密重合特論	1・2後	2	1			
電子化学反応特論	1・2前	2	1			
電解質溶液化学特論	1・2後	2		1		
合成経路設計特論	1・2前	2	+	1		担当教員の退職による担当教員及び授業形式の変更(28) オムニバス
有機合成化学特論	1・2後	2		1		
物質反応化学特論	1・2前	2	1			
物質構造化学特論	1・2後	2	1	+		担当教員の昇任に伴う変更(28)
機能性ソフトマテリアル工学特論	1・2前	2	1			

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	47		50	3	47		50	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当無し					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当無し					

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\text{該当無し}} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	413,643 m ²	m ²	m ²	413,643 m ²				
	運動場用地	127,053 m ²	m ²	m ²	127,053 m ²				
	小 計	540,696 m ²	m ²	m ²	540,696 m ²				
	そ の 他	64,370 m ²	m ²	m ²	64,370 m ²				
	合 計	605,066 m ²	m ²	m ²	605,066 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		413,643 m ² (413,643 m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	413,643 m ² (413,643 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		103室	745室	787室	5室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		創成科学研究科物質工学系専攻			39 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕					
	創成科学研究科物質工学系専攻	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
	計	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	13,063m ²		1590		1501056				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	6,956m ²		陸上競技場, 野球場, サッカー場 他						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金）
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学						備 考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.04	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.05	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.00	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.07	平成18年度		
医学部								山口県宇部市雨小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.02	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.05	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.02	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.02	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.04	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.05	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.02	平成13年度		

共同獣医学部 獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.03	平成24年度	山口県山口市吉田1677番地1	
国際総合科学部 国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度	山口県山口市吉田1677番地1	
人文科学研究科 人文科学専攻	2	8	-	8	修士（文学）	0.43	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
教育学研究科 学校教育専攻	2	10	-	23	修士（教育学）	1.20	平成3年度	山口県山口市吉田1677番地1	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士（教育学）	1.14	平成3年度		
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士（専門職）	1.03	平成28年度		
経済学研究科 経済学専攻	2	16	-	32	修士（経済学）	0.74	昭和50年度	山口県山口市吉田1677番地1	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士（経済学）	0.55	平成7年度		
医学系研究科（医学博士） 医学専攻	4	33	-	33	博士（医学）	1.05	平成28年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
医学系研究科（博士前期） 保健学専攻	2	12	-	24	修士（保健学）	1.20	平成17年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学系研究科（博士後期） 応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士（医工学）	-	平成13年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士（生命科学、学術）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士（保健学）	0.80	平成19年度		
創成科学研究科（博士前期） 基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士（理学）	0.89	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
地球圏生命物質科学系専攻	2	42	-	42	修士（理学）	1.01	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
化学系専攻	2	83	-	83	修士（工学、学術）	0.92	平成28年度		
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士（工学）	1.01	平成28年度		
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士（工学）	1.00	平成28年度		
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士（工学、学術）	0.78	平成28年度		
農学系専攻	2	42	-	42	修士（農学、生命科学）	0.74	平成28年度		
創成科学研究科（博士後期） 自然科学系専攻	3	7	-	7	博士（理学、学術）	0.49	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士（工学、学術）	0.31	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士（工学、学術）	0.75	平成28年度		
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士（工学、学術）	0.95	平成28年度		
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士（医工学、生命科学、学術）	1.00	平成28年度		
理工学研究科（博士後期） 自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		

東アジア研究科 東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.53	平成13年度	山口県山口市吉田1677番地1
技術経営研究科 技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.00	平成17年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
連合獣医学研究科 獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.70	平成2年度	<p>【山口大学】 山口県山口市吉田1677番地1</p> <p>【鳥取大学】 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101</p> <p>【鹿児島大学】 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号</p>

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<創成科学研究科 物質工学系専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	小柳 剛	平成28年4月	エネルギー変換材料工学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ	専	教授	小柳 剛	平成28年4月	エネルギー変換材料工学特論 物質工学特別講義 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ	担当科目の追加 (H28)
					専	助教	吉田 雅史	平成28年10月	物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ	平成28年10月 採用
専	教授	横川 俊哉	平成28年4月	物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ グリーン・イノベーション特論	専	教授	横川 俊哉	平成28年4月	物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 物質工学特別講義 グリーン・イノベーション特論	担当科目の追加 (H28)
専	准教授	浅田 裕法	平成28年4月	電子機能材料工学特論 メタマテリアル特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ	専	教授	浅田 裕法	平成29年4月	電子機能材料工学特論 メタマテリアル特論 物質工学特別講義 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ	平成29年4月 教授昇任 担当科目の追加 (H28)
専	准教授	大原 渡	平成28年4月	イオン性プラズマ物性特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ	専	准教授	大原 渡	平成28年4月	イオン性プラズマ物性特論 プラズマ材料工学特論 物質工学特別講義 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ	担当科目の追加 (H29) 担当科目の追加 (H28)
専	准教授	崎山 智司	平成28年4月	プラズマ材料工学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ	専	教授	崎山 智司	平成28年9月	物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ	平成28年9月 教授昇任 担当科目の削除 (29)
専	准教授	原田 直幸	平成28年4月	超伝導物性特論 超伝導デバイス工学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ	専	准教授	原田 直幸	平成28年4月	超伝導物性特論 超伝導デバイス工学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 物質工学特別講義	担当科目の追加 (H28)
専	教授	内藤 裕志	平成28年4月	プラズマシミュレーション学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ			後任未定			平成29年3月定年退職。後任補充の予定未定。 担当科目は他の教員が担当するため、支障は無い
専	教授	嶋村 修二	平成28年4月	固体物性シミュレーション学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ	専	講師	嶋村 修二	平成29年4月	固体物性シミュレーション学特論 物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ	平成29年3月定年退職の教授 嶋村修二の後任

専	助教	山吹 一大	平成28年4月	物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ	専	助教	山吹 一大	平成28年4月	物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 精密重合特論	担当科目の追加 (H29)
専	助教	麻川 明俊	平成28年4月	物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ	専	助教	麻川 明俊	平成28年4月	物質工学ゼミナールⅠ 物質工学ゼミナールⅡ 結晶合成工学特論	担当科目の追加 (H29)

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A0教員審査)を受けてください。**A0教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(A0)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
	4 名	3 名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文科省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
17	17	0	6	40	17	12	2	8	39	17	12	2	8	39
(17)	(14)	(1)	(6)	(38)						[0]	[△5]	[2]	[2]	[△1]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
34	6	0			31	8	0			31	8	0		
(32)	(6)	(0)								[△3]	[2]	[0]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当無し					
合計（A）			後任補充状況の集計（B）				
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
		該当無し					

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当無し					
合計（C）			後任補充状況の集計（D）				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
		該当無し					

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）			後任補充状況の集計（B）+（D）				
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
		該当無し					

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<創成科学研究科 物質工学系専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 修了要件単位数	変更無し
② 施設・設備	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

- ① 実施体制
- a 委員会の設置状況
山口大学工学部・大学院創成科学研究科（工学系）点検・評価委員会
 - b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
平成28年度 6月7日（火）開催 出席者9名（教員8名，事務職員1名）
 - c 委員会の審議事項等
 - ・ 自己点検・評価に関する事項
 - ・ 教員の教育・研究及び評価に関する事項
 - ・ 教員の能力開発に関する事項 等
- ② 実施状況
- a 実施内容
 - ・ 授業公開
 - ・ 教育改善FD研修会
 - ・ 学生特別支援室FD研修会
 - ・ アラカルトFD研修会
 - b 実施方法
 - ・ 授業公開
前期・後期毎に期間を定めて公開授業を実施し、教員に授業を参観させた。
 - ・ 教育改善FD研修会
本学の大学教育センター長を講師として、YU CoB CuS（山口大学能力基盤型カリキュラム）導入に関する研修を行った。
 - ・ 学生特別支援室FD研修会
本学の学生特別支援室のスタッフを講師として、障害を持つ学生への合理的配慮の実施に関する研修を行った。
 - ・ アラカルトFD研修会
本学の知的財産センターのスタッフを講師として、知財教育を事例にして、事前学習を促すことを特徴とする反転授業の教育実践に関する研修を行った。

- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 授業公開 参観者数：前期10名，後期10名
 - ・ 教育改善FD研修会 参加者数：78名
 - ・ 学生特別支援室FD研修会 参加者数：71名
 - ・ アラカルトFD研修会 参加者数：62名
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

公開授業を参観した教員には授業の感想表を提出させ、授業担当教員にフィードバックすることで、教員相互が授業方法・授業運営の改善を図り、教育の質的向上に努めている。

また、学生の多様性に対応する教員の能力向上のため、各種FD研修会におけるそれぞれのテーマに関して理解が進んだ。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期

実施：有

実施時期：最終回の授業時
 - b 教員や学生への公開状況，方法等

教員は学生による授業評価の結果をWeb上で閲覧することが可能。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成28年度に開設し、現在まで概ね順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施していきたい。
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
 - ・平成30年3月末 公表予定
 - b 公表方法
 - ・山口大学活動白書を作成し、大学ホームページにて公開を行う。
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・昨年度（平成27年度）に独立行政法人大学評価・学位授与機構による機関別認証評価を受審。次回受審年度については検討中

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表の有無 (有 無)
 - b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成29年9月1日（予定）)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山口大学

(2) 大学名

山口大学

(3) 大学の位置

〒753-8511
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オカ マサアキ) 岡 正朗 (平成26年4月1日)		
研究科長	(シンジ マサト) 進士 正人 (平成28年4月1日)		
専攻長	(クボ ヒロシ) 久保 洋 (平成28年4月1日)	(ゴウダ コウイチ) 合田 公一 (平成29年4月1日)	変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成29年4月1日(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
 平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 システム・デザイン工学系専攻 (博士後期課程) 博士(工学) 博士(学術)	工学関係	3年	10人	30人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	平成27年度	平成27年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	10人	若干名	10人	人	0.75倍	
志願者数	() []	() []	(4) [-]	(1) [2]	(1) [1]	() []		
受験者数	() []	() []	(4) [-]	(1) [2]	(1) [1]	() []		
合格者数	() []	() []	(4) [-]	(1) [2]	(1) [1]	() []		
B 入学者数	() []	() []	(4) [-]	(1) [2]	(1) [1]	() []		
入学定員超過率 B/A			1.00		0.50			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, **計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	7 [-] (-)	3 [2] (-)	5 [1]	[]	
2年次	/		[] ()	[] ()	7 [-] (-)	3 [2] (-)	
3年次			/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] (-)			10 [2] (-)	15 [2] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	7人	1人	平成28年度	1人	1人	除籍(1人)	14.28%
			平成29年度	0人	0人		
平成29年度 入学者	5人	0人	平成29年度	0人	0人		0.00%
合計	12人	1人					8.33%

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<創成科学研究科 システム・デザイン工学系専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1前	1			1						兼2
	知的財産特論	1後	1			1						兼2
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1		1						兼2
	プレゼンテーション特論	1後		1		1						兼2
	【イノベーション教育科目】											
	リサーチメソドロジー特論	1・2前		2		1						兼1
	イノベーション特論	1・2前		2		1						兼1
	技術ロードマッピング特論	1・2後		2		1						兼1
	製品開発特論	1・2後		2		1						兼1
【キャリア教育科目】												
キャリアデザインⅡ	1前		2		4						兼14	
学外特別研修Ⅱ	1・2・3前・後		1~4		1						兼2	
長期インターンシップⅡ	1・2・3前・後		6		1						具体的な担当教員の確定による変更 (28)	
専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2			1						
	科学・技術英語特論S	1後		2								兼1
	応用解析学特論	1・2前・後		2								兼2
	数理工学特論	1・2前・後		2								兼2
	応用数理科学特論	1・2前・後		2								兼2
	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ	1・2前		2		13			7			教員の退職、昇任等により担当教員を変更 (29)
システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	1・2後		2		14	25	2	8			教員の退職、昇任等により担当教員を変更 (29)	
システム・デザイン工学特別講義	1前		2		14	25	2	8			オムニバス	
専門科目	動的システム信号処理論	1・2前		2			1					担当教員の退職による変更 (29)
	電子制御特論	1・2前		2		4		1				教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	システム最適化特論	1・2前		2			1					担当教員の退職による変更 (29)
	電磁システム工学特論	1・2前		2		4						教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)
	電磁波動工学特論	1・2後		2			1			1		教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)
	導波型デバイス特論	1・2後		2		1						教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	電力品質論	1・2後		2		1	4	1				教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	分布システム制御特論	1・2後		2		1						担当教員の退職及び昇任による変更 (29)
	複雑混沌系工学特論	1・2前		2		4				1		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	情報通信符号論	1・2前		2		1	1			1		オムニバス
	オートマトン特論	1・2前		2			1					オムニバス
	メディア情報工学特論	1・2前		2			2					教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	ソフトウェア高度信頼化特論	1・2前		2			1					教員の退職による変更 (29)

並列アルゴリズム特論	1・2前	2		1	1	1	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)
ネット理論特論	1・2後	2	1	+	1	1	担当教員の昇任による変更 (29)
ビジュアルコンピューティング特論	1・2後	2	+		1	1	教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
応用画像処理特論	1・2後	2		+		2	教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
映像デザイン特論	1・2後	2			2	2	オムニバス
統計的パターン認識	1・2後	2	1	1	1	1	教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
応用情報工学特論	1・2後	2		+		2	教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
マイクロ知能システム工学特論	1・2前	2	1			1	オムニバス
材料信頼性工学特論	1・2前	2	1	+		1	教員の退職による変更 (29)
微小生体機械学特論	1・2後	2	1			1	教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
機械システム制御特論	1・2後	2			+	2	教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
大規模機械システム開発特論	1・2後	2			1	1	教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	41		44	3	41		44	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当無し					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当無し					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の差

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\text{該当無し}} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	413,643 m ²	m ²	m ²	413,643 m ²				
	運動場用地	127,053 m ²	m ²	m ²	127,053 m ²				
	小 計	540,696 m ²	m ²	m ²	540,696 m ²				
	そ の 他	64,370 m ²	m ²	m ²	64,370 m ²				
	合 計	605,066 m ²	m ²	m ²	605,066 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		413,643 m ² (413,643 m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	413,643 m ² (413,643 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		103室	745室	787室	5室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		創成科学研究科システム・デザイン工学系専攻			47 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕					
	創成科学研究科システム・デザイン工学系	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
	計	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	13,063m ²		1590		1501056				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	6,956m ²		陸上競技場, 野球場, サッカー場 他						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金）
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学							備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.04	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.05	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.00	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.07	平成18年度		
医学部								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.02	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.05	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.02	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.02	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.04	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.05	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.02	平成13年度		

共同獣医学部 獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.03	平成24年度	山口県山口市吉田1677番地1	
国際総合科学部 国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度	山口県山口市吉田1677番地1	
人文科学研究科 人文科学専攻	2	8	-	8	修士（文学）	0.43	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
教育学研究科 学校教育専攻	2	10	-	23	修士（教育学）	1.20	平成3年度	山口県山口市吉田1677番地1	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士（教育学）	1.14	平成3年度		
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士（専門職）	1.03	平成28年度		
経済学研究科 経済学専攻	2	16	-	32	修士（経済学）	0.74	昭和50年度	山口県山口市吉田1677番地1	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士（経済学）	0.55	平成7年度		
医学系研究科（医学博士） 医学専攻	4	33	-	33	博士（医学）	1.05	平成28年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
医学系研究科（博士前期） 保健学専攻	2	12	-	24	修士（保健学）	1.20	平成17年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学系研究科（博士後期） 応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士（医工学）	-	平成13年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士（生命科学、学術）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士（保健学）	0.80	平成19年度		
創成科学研究科（博士前期） 基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士（理学）	0.89	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
地球圏生命物質科学系専攻	2	42	-	42	修士（理学）	1.01	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
化学系専攻	2	83	-	83	修士（工学、学術）	0.92	平成28年度		
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士（工学）	1.01	平成28年度		
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士（工学）	1.00	平成28年度		
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士（工学、学術）	0.78	平成28年度		
農学系専攻	2	42	-	42	修士（農学、生命科学）	0.74	平成28年度		
創成科学研究科（博士後期） 自然科学系専攻	3	7	-	7	博士（理学、学術）	0.49	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士（工学、学術）	0.31	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士（工学、学術）	0.75	平成28年度		
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士（工学、学術）	0.95	平成28年度		
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士（医工学、生命科学、学術）	1.00	平成28年度		
理工学研究科（博士後期） 自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		

東アジア研究科 東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.53	平成13年度	山口県山口市吉田1677番地1
技術経営研究科 技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.00	平成17年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
連合獣医学研究科 獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.70	平成2年度	【山口大学】 山口県山口市吉田1677番地1 【鳥取大学】 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101 【鹿児島大学】 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<創成科学研究科 システム・デザイン工学系専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	田中 幹也	平成28年4月	電子制御特論 システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ			後任未定			平成29年3月 退職。後任補充の予定未定。 担当科目は他に担当教員がいるため支障は無い
専	教授	羽野 光夫	平成28年4月	電磁システム工学特論 システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ			後任未定			平成29年3月 定年退職。後任補充の予定未定。 担当科目は他に担当教員がいるため支障は無い
専	准教授	西藤 聖二	平成28年4月	動的システム信号処理論 システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	准教授	西藤 聖二	平成28年4月	動的システム信号処理論 システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ システム・デザイン工学特別講義 動的システム信号処理論	担当科目の追加 (H28) 担当科目の追加 (H28)
専	准教授	堀田 昌志	平成28年4月	電磁波動工学特論 システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	准教授	堀田 昌志	平成28年4月	電磁波動工学特論 電磁システム工学特論 システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ システム・デザイン工学特別講義	担当科目の追加 (H29) 担当科目の追加 (H28)
専	講師	中島 翔太	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	講師	中島 翔太	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ 電子制御特論	担当科目の追加 (H28)
専	講師	山田 洋明	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	講師	山田 洋明	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ 電力品質論	担当科目の追加 (H28)
専	助教	山本 綱之	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	助教	山本 綱之	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ 導波型デバイス特論	担当科目の追加 (H28)

専	教授	石川 昌明	平成28年4月	分布システム制御特論 システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	教授	石川 昌明	平成28年4月	分布システム制御特論 システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ システム・デザイン工学特別講義	担当科目の追加 (H28)
専	教授	大林 正直	平成28年4月	複雑混沌系工学特論 システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	助教	モハマド アヌアルッディン	平成29年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	平成29年3月 定年の大林正直の後任 「複雑混沌系工学特論」は他に担当教員がいるため支障は無い
専	准教授	河村 圭	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	准教授	河村 圭	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ 応用情報工学特論	担当科目の追加 (H28)
専	准教授	伊藤 暁	平成28年4月	オートマトン特論 システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	准教授	伊藤 暁	平成28年4月	オートマトン特論 システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ システム・デザイン工学特別講義	担当科目の追加 (H28)
専	准教授	佐伯 徹郎	平成28年4月	メディア情報工学特論 システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	准教授	佐伯 徹郎	平成28年4月	メディア情報工学特論 システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ システム・デザイン工学特別講義	担当科目の追加 (H28)
専	准教授	田村 慶信	平成28年4月	ソフトウェア高度信頼化学特論 システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ			後任未定			平成28年3月 退職。後任補充の予定未定。 担当科目は他に担当教員がいるため支障は無い
専	准教授	山口 真悟	平成28年4月	ネット理論特論 システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	教授	山口真悟	平成29年4月	ネット理論特論 システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ ソフトウェア高度信頼化学特論	平成29年4月 教授昇任 担当科目の追加 (H29)
専	准教授	藤田 悠介	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	准教授	藤田 悠介	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ 統計的パターン認識	担当科目の追加 (H28)
専	助教	呉本 堯	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	助教	呉本 堯	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ 複雑混沌系工学特論	担当科目の追加 (H28)

専	助教	間普 真吾	平成28年4月	複雑混沌系工学特論 システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	准教授	間普 真吾	平成29年4月	複雑混沌系工学特論 システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	平成29年4月 准教授昇任
専	助教	佐村 俊和	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	助教	佐村 俊和	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ 複雑混沌系工学特論 並列アルゴリズム特論	担当科目の追加 (H28) 担当科目の追加 (H28)
専	准教授	守田 了	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	准教授	守田 了	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ 応用画像処理特論	担当科目の追加 (H28)
専	准教授	王 躍	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	准教授	王 躍	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ システム・デザイン工学特別講義	担当科目の追加 (H28)
専	准教授	杉井 学	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	准教授	杉井 学	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ システム・デザイン工学特別講義	担当科目の追加 (H28)
専	准教授	為末 隆弘	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	准教授	為末 隆弘	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ メディア情報工学特論 システム・デザイン工学特別講義	担当科目の追加 (H28) 担当科目の追加 (H28)
専	教授	小河原 加久治	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	教授	小河原 加久治	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ 機械システム制御特論	担当科目の追加 (H28)
専	准教授	野田 淳二	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ			後任未定			平成28年3月 退職。後任補充の予定未定。 担当科目は他に担当教員がいるため支障は無い
専	助教	森田 実	平成28年4月	マイクロ知能システム工学特論 システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	准教授	森田 実	平成28年9月	マイクロ知能システム工学特論 システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	平成28年9月 准教授昇任
専	教授	石野 洋子	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	教授	石野 洋子	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ ビジュアルコンピューティング特論	担当科目の追加 (H28)

専	准教授	高橋 雅和	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	准教授	高橋 雅和	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ ビジュアルコンピューティング特論	担当科目の追加 (H28)
					専	准教授	小柴 満美子	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ システム・デザイン工学特別講義	平成28年4月 採用
					専	助教	王 元元	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	平成28年4月 採用
専	准教授	今岡 啓治	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	専	准教授	今岡 啓治	平成28年4月	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ システム・デザイン工学ゼミナールⅡ 機械システム制御特論 システム・デザイン工学特別講義	担当科目の追加 (H28) 担当科目の追加 (H28)

(注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A0教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(A0)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計
14	25	2	8	49	13	25	2	7	47	13	25	2	7	47
(15)	(25)	(2)	(8)	(50)						[△1]	[0]	[0]	[△1]	[△2]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
41	8	0			40	7	0			40	7	0		
(42)	(8)	(0)								[△1]	[△0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当無し				
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
		該当無し				

(注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	田中 幹也	選択	システム・デザイン工学ゼミナール I	①	他大学へ就職のため辞任 (29)	
			選択	システム・デザイン工学ゼミナール II	①		
			選択	電子制御特論	①		
1	准教授	田村 慶信	選択	システム・デザイン工学ゼミナール I	①	他大学へ就職のため辞任 (29)	
			選択	システム・デザイン工学ゼミナール II	①		
			選択	ソフトウェア高度信頼化学特論	①		
1	准教授	野田 淳二	選択	システム・デザイン工学ゼミナール I	①	他大学へ就職のため辞任 (29)	
			選択	システム・デザイン工学ゼミナール II	①		
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
3	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	8 科目	選択	8 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	8 科目	計	8 科目	計	0 科目

(注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
3	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	8 科目	選択	8 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	8 科目	計	8 科目	計	0 科目

(注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」 担当科目は他に担当教員がいるため支障は無い
「学生への周知方法」 研究科要覧により周知

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<創成科学研究科 システム・デザイン工学系専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 修了要件単位数	変更無し
② 施設・設備	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 山口大学工学部・大学院創成科学研究科（工学系）点検・評価委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成28年度 6月7日（火）開催 出席者9名（教員8名，事務職員1名）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己点検・評価に関する事項 ・ 教員の教育・研究及び評価に関する事項 ・ 教員の能力開発に関する事項 等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業公開 ・ 教育改善FD研修会 ・ 学生特別支援室FD研修会 ・ アラカルトFD研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業公開 前期・後期毎に期間を定めて公開授業を実施し、教員に授業を参観させた。 ・ 教育改善FD研修会 本学の大学教育センター長を講師として、YU CoB CuS（山口大学能力基盤型カリキュラム）導入に関する研修を行った。 ・ 学生特別支援室FD研修会 本学の学生特別支援室のスタッフを講師として、障害を持つ学生への合理的配慮の実施に関する研修を行った。 ・ アラカルトFD研修会 本学の知的財産センターのスタッフを講師として、知財教育を事例にして、事前学習を促すことを特徴とする反転授業の教育実践に関する研修を行った。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業公開 参観者数：前期10名，後期10名 ・ 教育改善FD研修会 参加者数：78名 ・ 学生特別支援室FD研修会 参加者数：71名 ・ アラカルトFD研修会 参加者数：62名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

公開授業を参観した教員には授業の感想表を提出させ、授業担当教員にフィードバックすることで、教員相互が授業方法・授業運営の改善を図り、教育の質的向上に努めている。

また、学生の多様性に対応する教員の能力向上のため、各種FD研修会におけるそれぞれのテーマに関して理解が進んだ。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施：有

実施時期：最終回の授業時

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は学生による授業評価の結果をWeb上で閲覧することが可能。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成28年度に開設し、現在まで概ね順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成30年3月末 公表予定

b 公表方法

・山口大学活動白書を作成し、大学ホームページにて公開を行う。

③ 認証評価を受ける計画

・昨年度(平成27年度)に独立行政法人大学評価・学位授与機構による機関別認証評価を受審。次回受審年度については検討中。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成29年9月1日(予定))

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山口大学

(2) 大学名

山口大学

(3) 大学の位置

〒753-8511
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オカ マサアキ) 岡 正朗 (平成26年4月1日)		
研究科長	(シンジ マサト) 進士 正人 (平成28年4月1日)		
専攻長	(イマイ ツヨシ) 今井 剛 (平成28年4月1日)	(イカルが シンジ) 鵜 心治 (平成29年4月1日)	変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成29年4月1日(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 環境共生系専攻 (博士後期課程) 博士(工学) 博士(学術)	工学関係	3年	12人	36人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	平成27年度	平成27年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	12人	若干名	12人	人	0.95倍	
志願者数	() []	() []	9 [2]	2 [1]	13 [5]	() []		
受験者数	() []	() []	8 [2]	2 [1]	13 [5]	() []		
合格者数	() []	() []	8 [2]	2 [1]	13 [5]	() []		
B 入学者数	() []	() []	8 [2]	2 [1]	13 [5]	() []		
入学定員超過率 B/A			0.83		1.08			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, **計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	8 [2] ()	2 [1] ()	13 [5]	[]	
2年次	/		[] ()	[] ()	8 [2] (-)	2 [1] (-)	
3年次			/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] (-)			10 [3] (-)	23 [3] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	10 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	13 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	23 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<創成科学研究科 環境共生系専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1前	1			1						兼2
	知的財産特論	1後	1			1						兼2
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1		1						兼2
	プレゼンテーション特論	1後		1		1						兼2
	【イノベーション教育科目】											
	リサーチメソドロジー特論	1・2前		2		1						兼1
	イノベーション特論	1・2前		2		1						兼1
	技術ロードマッピング特論	1・2後		2		1						兼1
	製品開発特論	1・2後		2		1						兼1
【キャリア教育科目】												
キャリアデザインⅡ	1前		2		1						兼14	
学外特別研修Ⅱ	1・2・3前・後		1~4		1						兼2	
長期インターンシップⅡ	1・2・3前・後		6		1						具体的な担当教員の確定による変更 (28)	
専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2			1						
	環境社会基盤特論	1・2・3前・後		2		1	6	4		3		教育効果充実のため、担当教員を変更 (29)
	環境熱流体輸送工学特論	1・2・3前・後		2		2	4	3				オムニバス
	環境プロセス特論	1・2・3前・後		2		1	2					教育効果充実のため、担当教員を変更 (29)
	環境共生学原論	1・2・3前・後		2		1	5	6				オムニバス
	環境共生総合演習	1・2・3前・後		2		28	20	3	8			教育効果充実のため、担当教員を変更 (29)
	環境共生ゼミナールⅠ	1・2・3前・後		2		28	20	3	8			
	環境共生ゼミナールⅡ	1・2・3前・後		2		28	20	3	8			
	科学・技術英語特論S	1後		2								兼1
	応用解析学特論	1・2前・後		2								兼2
	数理工学特論	1・2前・後		2								兼2
	応用数理科学特論	1・2前・後		2								兼2
	専攻基盤科目	環境地盤工学特論	1・2・3前・後		2		1	2		1		
土質力学特論		1・2・3前・後		2		1		1				教育効果充実のため、担当教員を変更 (29)
岩盤システム工学特論		1・2・3前・後		2		1			1			教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
社会基盤情報工学特論		1・2・3前・後		2		1						
構造振動解析学特論		1・2・3前・後		2		1						
地盤材料工学特論		1・2・3前・後		2		1						
構造工学特論		1・2・3前・後		2			1					
耐震地盤工学特論		1・2・3前・後		2		1	1					担当教員の昇任による変更 (28)
建設材料工学特論		1・2・3前・後		2			1					
構造設計特論		1・2・3前・後		2			1					
応用水理学特論		1・2・3前・後		2		1						
環境影響評価特論		1・2・3前・後		2		1			1			
都市基盤システム工学特論		1・2・3前・後		2			1					教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
数値流体力学特論	1・2・3前・後		2		1	1					教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)	

専門科目					1	1			担当教員の昇任による変更 (29)
						2			教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	社会的意思決定論	1-2-3前・後	2			4			
	流域圏土砂動態特論	1-2-3前・後	2			1			
	河川・流域環境特論	1-2-3前・後	2			1			
	情報社会基盤工学特論	1-2-3前・後	2		1				兼2 教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
							2		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	地域防災計画学特論	1-2-3前・後	2			4			
	持続的リスクマネジメント特論	1-2-3前・後	2			1			
	都市設計学特論	1-2-3前・後	2		1				
	建築構造工学特論	1-2-3前・後	2		1		1		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	空間システム計画学特論	1-2-3前・後	2		1		1		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	建築構造システム化特論	1-2-3前・後	2		1				
	人間環境工学特論	1-2-3前・後	2		1	4			教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
									担当教員の昇任による変更 (29)
	建築材料工学特論	1-2-3前・後	2			4			
	グリーンケミカルプロセス特論	1-2-3前・後	2		4		1		教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	分離設計工学特論	1-2-3前・後	2		1		1		
									担当教員の昇任による変更 (29)
	資源環境システム工学特論	1-2-3前・後	2		1		4		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	水質保全工学特論	1-2-3前・後	2		1				
	大気環境工学特論	1-2-3前・後	2				1		
	レオロジー工学特論	1-2-3前・後	2		1	4			担当教員の昇任による変更 (28)
高効率分離工学特論	1-2-3前・後	2				1			
生化学変換プロセス特論	1-2-3前・後	2				1			
複雑熱移動工学特論	1-2-3前・後	2		1		1		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)	
環境熱流体工学特論	1-2-3前・後	2		1		1			
推進工学特論	1-2-3前・後	2		1		1			
統計流体力学特論	1-2-3前・後	2		1					

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	58		61	3	58		61	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当無し					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当無し					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の差

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\text{該当無し}} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	413,643 m ²	m ²	m ²	413,643 m ²				
	運動場用地	127,053 m ²	m ²	m ²	127,053 m ²				
	小 計	540,696 m ²	m ²	m ²	540,696 m ²				
	そ の 他	64,370 m ²	m ²	m ²	64,370 m ²				
	合 計	605,066 m ²	m ²	m ²	605,066 m ²				
(2) 校 舎	専 用	413,643 m ²	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	(413,643 m ²)	(m ²)	(m ²)	(413,643 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	103室	745室	787室	5室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	創成科学研究科環境共生系専攻			63 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本		
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕				点	点
	創成科学研究科環境共生系専攻	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
	計	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	13,063m ²		1590		1501056				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	6,956m ²		陸上競技場, 野球場, サッカー場 他						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金）
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学							備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.04	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.05	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.00	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.07	平成18年度		
医学部								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.02	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.05	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.02	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.02	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.04	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.05	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.02	平成13年度		

共同獣医学部 獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.03	平成24年度	山口県山口市吉田1677番地1	
国際総合科学部 国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度	山口県山口市吉田1677番地1	
人文科学研究科 人文科学専攻	2	8	-	8	修士（文学）	0.43	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
教育学研究科 学校教育専攻	2	10	-	23	修士（教育学）	1.20	平成3年度	山口県山口市吉田1677番地1	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士（教育学）	1.14	平成3年度		
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士（専門職）	1.03	平成28年度		
経済学研究科 経済学専攻	2	16	-	32	修士（経済学）	0.74	昭和50年度	山口県山口市吉田1677番地1	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士（経済学）	0.55	平成7年度		
医学系研究科（医学博士） 医学専攻	4	33	-	33	博士（医学）	1.05	平成28年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
医学系研究科（博士前期） 保健学専攻	2	12	-	24	修士（保健学）	1.20	平成17年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学系研究科（博士後期） 応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士（医工学）	-	平成13年度	山口県宇部市南小串1丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士（生命科学、学術）	-	平成18年度		平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士（保健学）	0.80	平成19年度		
創成科学研究科（博士前期） 基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士（理学）	0.89	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
地球圏生命物質科学系専攻	2	42	-	42	修士（理学）	1.01	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
化学系専攻	2	83	-	83	修士（工学、学術）	0.92	平成28年度		
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士（工学）	1.01	平成28年度		
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士（工学）	1.00	平成28年度		
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士（工学、学術）	0.78	平成28年度		
農学系専攻	2	42	-	42	修士（農学、生命科学）	0.74	平成28年度		
創成科学研究科（博士後期） 自然科学系専攻	3	7	-	7	博士（理学、学術）	0.49	平成28年度	山口県山口市吉田1677番地1	
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士（工学、学術）	0.31	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士（工学、学術）	0.75	平成28年度		
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士（工学、学術）	0.95	平成28年度		
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士（医工学、生命科学、学術）	1.00	平成28年度		
理工学研究科（博士後期） 自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		

東アジア研究科 東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.53	平成13年度	山口県山口市吉田1677番地1
技術経営研究科 技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.00	平成17年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
連合獣医学研究科 獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.70	平成2年度	【山口大学】 山口県山口市吉田1677番地1 【鳥取大学】 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101 【鹿児島大学】 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<創成科学研究科 環境共生系専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	松田 博	平成28年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 土質力学特論	専	講師	原 弘行	平成29年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 土質力学特論	平成29年3月 松田 博教授の 定年退職に伴う後任補充
専	准教授	鈴木 素之	平成28年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 耐震地盤工学特論	専	教授	鈴木 素之	平成28年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 耐震地盤工学特論	平成28年4月 教授昇任
専	准教授	榑原 弘之	平成28年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 社会的意識決定論	専	教授	榑原 弘之	平成29年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 社会的意識決定論	平成29年4月 教授昇任
専	准教授	鈴木 春菜	平成28年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ	専	准教授	鈴木 春菜	平成28年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 社会的意識決定論	担当科目の追加 (28)
専	助教	中島 伸一郎	平成28年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ	専	准教授	中島 伸一郎	平成29年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ	平成29年4月 准教授昇任
専	助教	吉本 憲正	平成28年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 環境地盤工学特論	専	准教授	吉本 憲正	平成28年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 環境地盤工学特論	平成28年4月 准教授昇任
専	准教授	李 柱国	平成28年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 建築材料工学特論	専	教授	李 柱国	平成29年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 建築材料工学特論	平成29年4月 教授昇任
専	助教	鈴木 祐麻	平成28年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ	専	准教授	鈴木 祐麻	平成28年12月	環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 資源環境システム工学特論	平成29年4月 准教授昇任 担当科目の追加 (29)
専	准教授	葛山 浩	平成28年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 環境熱流体輸送工学特論	専	准教授	葛山 浩	平成28年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ 環境熱流体輸送工学特論 複雑熱移動工学特論	担当科目の追加 (28)
					専	准教授	植村 隆	平成28年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミナールⅠ 環境共生ゼミナールⅡ	平成28年4月 就任

					専 准教授	森 啓年	平成28年10月	環境共生総合演習 環境共生ゼミ ナールⅠ 環境共生ゼミ ナールⅡ	平成28年10月 採用
					専 准教授	長井 正彦	平成28年9月	環境共生総合演習 環境共生ゼミ ナールⅠ 環境共生ゼミ ナールⅡ	平成28年3月定年退職の三浦房 紀教授の後任補充
					専 助教	田島 啓司	平成28年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミ ナールⅠ 環境共生ゼミ ナールⅡ	平成28年4月 採用
					専 助教	梶山 慎太郎	平成29年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミ ナールⅠ 環境共生ゼミ ナールⅡ	平成29年4月 採用
					専 助教	金 炫兌	平成28年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミ ナールⅠ 環境共生ゼミ ナールⅡ	平成28年4月 採用
					専 助教	三島 幸子	平成28年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミ ナールⅠ 環境共生ゼミ ナールⅡ	平成29年4月 採用
					専 助教	貝出 絢	平成28年4月	環境共生総合演習 環境共生ゼミ ナールⅠ 環境共生ゼミ ナールⅡ	平成28年4月 採用

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**,当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し,大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A0教員審査)を受けてください。**A0教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」,変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお,設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は,「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由,変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
28	21	2	9	60	27	22	3	11	63	27	22	3	11	63
(25)	(20)	(3)	(10)	(58)						[Δ1]	[1]	[1]	[2]	[3]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
50	9	0			52	11	0			52	11	0		
(46)	(8)	(0)								[2]	[2]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当無し				
合計（A）				後任補充状況の集計（B）		
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当無し				
合計（C）				後任補充状況の集計（D）		
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）		後任補充状況の集計（B）+（D）			
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<創成科学研究科 環境共生系専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 修了要件単位数	変更無し
② 施設・設備	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 山口大学工学部・大学院創成科学研究科（工学系）点検・評価委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成28年度 6月7日（火）開催 出席者9名（教員8名，事務職員1名）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己点検・評価に関する事項 ・ 教員の教育・研究及び評価に関する事項 ・ 教員の能力開発に関する事項 等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業公開 ・ 教育改善FD研修会 ・ 学生特別支援室FD研修会 ・ アラカルトFD研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業公開 前期・後期毎に期間を定めて公開授業を実施し、教員に授業を参観させた。 ・ 教育改善FD研修会 本学の大学教育センター長を講師として、YU CoB CuS（山口大学能力基盤型カリキュラム）導入に関する研修を行った。 ・ 学生特別支援室FD研修会 本学の学生特別支援室のスタッフを講師として、障害を持つ学生への合理的配慮の実施に関する研修を行った。 ・ アラカルトFD研修会 本学の知的財産センターのスタッフを講師として、知財教育を事例にして、事前学習を促すことを特徴とする反転授業の教育実践に関する研修を行った。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業公開 参観者数：前期10名，後期10名 ・ 教育改善FD研修会 参加者数：78名 ・ 学生特別支援室FD研修会 参加者数：71名 ・ アラカルトFD研修会 参加者数：62名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

公開授業を参観した教員には授業の感想表を提出させ、授業担当教員にフィードバックすることで、教員相互が授業方法・授業運営の改善を図り、教育の質的向上に努めている。

また、学生の多様性に対応する教員の能力向上のため、各種FD研修会におけるそれぞれのテーマに関して理解が進んだ。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施：有

実施時期：最終回の授業時

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は学生による授業評価の結果をWeb上で閲覧することが可能。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成28年度に開設し、現在まで概ね順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成30年3月末 公表予定

b 公表方法

・山口大学活動白書を作成し、大学ホームページにて公開を行う。

③ 認証評価を受ける計画

・昨年度(平成27年度)に独立行政法人大学評価・学位授与機構による機関別認証評価を受審。次回受審年度については検討中。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成29年9月1日(予定))

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山口大学

(2) 大学名

山口大学

(3) 大学の位置

〒753-8511
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オカ マサアキ) 岡 正朗 (平成26年4月1日)		
研究科長	(シンジ マサト) 進士 正人 (平成28年4月1日)		
専攻長	(マツイ ケンジ) 松井 健二 (平成28年4月1日)	(イワオ ヤスヒロ) 岩尾 康宏 (平成29年4月1日)	変更の理由：任期満了に伴う交替 変更年月日：平成29年4月1日(29)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 ライフサイエンス系専攻 (博士後期課程) 博士(医工学) 博士(生命科学) 博士(学術)	医学関係 理学関係 工学関係 農学関係	3年	7人	21人	基礎となる学部等 理学部, 工学部, 農学部, 医学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成27年度	平成27年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	7人	若干名	7人	人	0.71倍	
志願者数	() []	() []	(3) [-]	(1) [2]	(1) [-]	() []		
受験者数	() []	() []	(3) [-]	(1) [2]	(1) [-]	() []		
合格者数	() []	() []	(3) [-]	(1) [2]	(1) [-]	() []		
B 入学者数	() []	() []	(3) [-]	(1) [2]	(1) [-]	() []		
入学定員超過率 B/A			1.14		0.28			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	6 [-] (-)	2 [2] (-)	2 [-]	[]	
2年次	/		[] ()	[] ()	6 [-]	2 [2] (-)	
3年次			/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	8 [2] (-)			10 [2] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	3人	0人	平成28年度	0人	0人		0.00%
			平成29年度	人	0人		
平成29年度 入学者	2人	0人	平成29年度	0人	0人		0.00%
合計	5人	0人					0.00%

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<創成科学研究科 ライフサイエンス系専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1前	1			1						兼2
	知的財産特論	1後	1			1						兼2
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1		1						兼2
	プレゼンテーション特論	1後		1		1						兼2
	【イノベーション教育科目】											
	リサーチメソッドロジー特論	1・2前		2		1						兼1
	イノベーション特論	1・2前		2		1						兼1
	技術ロードマップ特論	1・2後		2		1						兼1
	製品開発特論	1・2後		2		1						兼1
【キャリア教育科目】												
キャリアデザインⅡ	1前		2		1						兼2	
学外特別研修Ⅱ	1・2・3前・後		1~4		1							
長期インターンシップⅡ	1・2・3前・後		6		1							
専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2			1						
	ライフサイエンス展開科目Ⅰ	1・2前		2		3	1					兼2
	ライフサイエンス展開科目Ⅱ	1・2後		2		6						兼2
						9	6		5			
									小島追加			
	ライフサイエンスゼミナールⅠ	1・2前		2		22	16		9			
						21	19		6			
						9	6		5			
									小島追加			
						22	16		9			
ライフサイエンスゼミナールⅡ	1・2後		2		21	19		6				
医工 学 科 目 群						2						
	バイオメカニクス特論	1・2前・後		2		4						
	微小生体機械学特論	1・2前・後		2		1			1			
	先端医用材料特論	1・2前・後		2					1			
	非侵襲診断工学特論	1・2前・後		2					1			
	計算機援用医用診断工学特論	1・2前・後		2		1	4					
生命 科 学 科 目 群 (応 用 分 子)												
	分子発生生物学特論	1・2前・後 1・2前 1・2前・後		2		2	1					
	分子発生生物学演習	1・2前 1・2前		2		2	1					
							2					
	環境適応生物学特論	1・2前・後 1・2後		2		1	4		3			兼1
									2			
	環境適応生物学演習	1・2前・後 1・2後		2		1	4		3			兼1
	分子細胞生物学特論	1・2前・後 1・2前		2		2	2					
	分子細胞生物学演習	1・2前・後 1・2前		2		2	2					
生物機能工学特論	1・2前・後		2		4	1						
生物機能工学演習	1・2前・後		2		4	1						
有機合成化学特論	1・2前・後		2		1	1						

								1		教育効果充実のため、担当教員を追加(29)
	有機合成化学演習	1・2前・後	2		1	1				
	バイオプロセス工学特論	1・2前・後	2		1	1		1		
	バイオプロセス工学演習	1・2前・後	2		1	1		1		
	生物機能開発科学特論	2通	2		3	1		2		オムニバス
	生物機能開発科学演習	1・2・3通	2		3	1		2		
生命科学科 科目群 (農学)	生物機能科学特論	2通	2		3	2		2		教育効果充実のため担当教員を変更(28) オムニバス 教育効果充実のため担当教員を変更(28)
	生物機能科学演習	1・2・3通	2		3	2		2		教育効果充実のため担当教員を追加(28)
	生物資源環境科学特論	1・2・3前	2		2	1		1		オムニバス 教育効果充実のため担当教員を追加(28)
	生物資源環境科学演習	1・2・3後	2		2	1		1		
	ライフサイエンス戦略と知的財産	2前		1						兼2

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	37		40	3	37		40	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当無し					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当無し					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の差

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\text{該当無し}} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	413,643 m ²	m ²	m ²	413,643 m ²				
	運動場用地	127,053 m ²	m ²	m ²	127,053 m ²				
	小 計	540,696 m ²	m ²	m ²	540,696 m ²				
	そ の 他	64,370 m ²	m ²	m ²	64,370 m ²				
	合 計	605,066 m ²	m ²	m ²	605,066 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		413,643 m ² (413,643 m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	413,643 m ² (413,643 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		103室	745室	787室	5室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		創成科学研究科ライフサイエンス系専攻			49 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル					
		冊	種	〔うち外国書〕					
		点	点	点					
創成科学研究科 ライフサイエンス系専攻	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)			
計	1,614,196 [468,286] (1,614,196 [468,286])	41,438 [16,319] (41,438 [16,319])	10,217 [6,056] (10,217 [6,056])	3773 (3,773)	16 (16)	0 (0)			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	13,063m ²		1590		1501056				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	6,956m ²		陸上競技場, 野球場, サッカー場 他						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金)
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学							備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.04	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.05	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.00	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.07	平成18年度		
医学部								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.02	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.05	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.02	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.02	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.04	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.05	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.02	平成13年度		

共同獣医学部										山口県山口市吉田1677番地1	
獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.03	平成24年度				
国際総合科学部										山口県山口市吉田1677番地1	
国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度				
人文科学研究科										山口県山口市吉田1677番地1	
人文科学専攻	2	8	-	8	修士（文学）	0.43	平成28年度				
教育学研究科										山口県山口市吉田1677番地1	
学校教育専攻	2	10	-	23	修士（教育学）	1.20	平成3年度				
教科教育専攻	2	17	-	45	修士（教育学）	1.14	平成3年度				
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士（専門職）	1.03	平成28年度				
経済学研究科										山口県山口市吉田1677番地1	
経済学専攻	2	16	-	32	修士（経済学）	0.74	昭和50年度				
企業経営専攻	2	10	-	20	修士（経済学）	0.55	平成7年度				
医学系研究科（医学博士）										山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学専攻	4	33	-	33	博士（医学）	1.05	平成28年度				
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度				平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士（医学）	-	平成18年度				平成28年度より学生募集停止
医学系研究科（博士前期）										山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
保健学専攻	2	12	-	24	修士（保健学）	1.20	平成17年度				
医学系研究科（博士後期）										山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士（医工学）	-	平成13年度				平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士（生命科学、学術）	-	平成18年度				平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士（保健学）	0.80	平成19年度				
創成科学研究科（博士前期）										山口県山口市吉田1677番地1	
基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士（理学）	0.89	平成28年度			山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
地球圏生命物質科学系専攻	2	42	-	42	修士（理学）	1.01	平成28年度				
化学系専攻	2	83	-	83	修士（工学、学術）	0.92	平成28年度				
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士（工学）	1.01	平成28年度				
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士（工学）	1.00	平成28年度				
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士（工学、学術）	0.78	平成28年度				
農学系専攻	2	42	-	42	修士（農学、生命科学）	0.74	平成28年度				
創成科学研究科（博士後期）										山口県山口市吉田1677番地1	
自然科学系専攻	3	7	-	7	博士（理学、学術）	0.49	平成28年度			山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士（工学、学術）	0.31	平成28年度				
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士（工学、学術）	0.75	平成28年度				
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士（工学、学術）	0.95	平成28年度				
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士（医工学、生命科学、学術）	1.00	平成28年度				
理工学研究科（博士後期）										山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度			山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度				
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度				
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度				
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度				

東アジア研究科 東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.53	平成13年度	山口県山口市吉田1677番地1
技術経営研究科 技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.00	平成17年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
連合獣医学研究科 獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.70	平成2年度	<p>【山口大学】 山口県山口市吉田1677番地1</p> <p>【鳥取大学】 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101</p> <p>【鹿児島大学】 鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号</p>

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<創成科学研究科 ライフサイエンス系専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					専	准教授	木股 洋子	平成28年4月1日	ライフサイエンスゼミナールⅠ ライフサイエンスゼミナールⅡ	平成28年4月准教授採用
専	准教授	武宮 淳史	平成28年4月	ライフサイエンスゼミナールⅠ ライフサイエンスゼミナールⅡ	専	准教授	武宮 淳史	平成28年4月	環境適応生物学特論 環境適応生物学演習 ライフサイエンスゼミナールⅠ ライフサイエンスゼミナールⅡ	
					専	助教	小島 渉	平成29年4月	ライフサイエンスゼミナールⅠ ライフサイエンスゼミナールⅡ	平成29年4月助教採用
専	教授	堤 宏守	平成28年4月	ライフサイエンスゼミナールⅠ ライフサイエンスゼミナールⅡ	専	教授	堤 宏守	平成29年4月	ライフサイエンスゼミナールⅠ ライフサイエンスゼミナールⅡ 生物機能工学特論 生物機能工学演習	担当授業科目の追加(29) 担当授業科目の追加(29)
専	教授	森川 治	平成28年4月	ライフサイエンスゼミナールⅠ ライフサイエンスゼミナールⅡ ライフサイエンス展開科目Ⅰ	専	教授	森川 治	平成29年4月	ライフサイエンスゼミナールⅠ ライフサイエンスゼミナールⅡ ライフサイエンス展開科目Ⅰ バイオメカニクス特論	担当授業科目の追加(28)
専	助教	上野 和英	平成28年4月	ライフサイエンスゼミナールⅠ ライフサイエンスゼミナールⅡ			後任未定			平成29年2月28日 他大学へ就職のため退職。後任補充の予定未定。 担当科目は他に担当教員がいるため支障は無い
専	助教	川本 拓治	平成28年4月	ライフサイエンスゼミナールⅠ ライフサイエンスゼミナールⅡ	専	助教	川本 拓治	平成29年4月	ライフサイエンスゼミナールⅠ ライフサイエンスゼミナールⅡ 有機合成化学演習	担当授業科目の追加(29)
					専	助教	蔣 飛	平成28年4月	ライフサイエンスゼミナールⅠ ライフサイエンスゼミナールⅡ	平成28年4月採用
					専	助教	門脇 弘子	平成28年4月	ライフサイエンスゼミナールⅠ ライフサイエンスゼミナールⅡ	平成28年4月採用

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4	3	4
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
21	16	0	9	46	22	16	0	11	49	22	16	0	11	49
(22)	(16)	(0)	(9)	(47)						[1]	[0]	[0]	[0]	[1]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
26	20	0			28	21	0			28	21	0		
(28)	(19)	(0)								[2]	[1]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当無し				
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由					
1	助教	上野 和英	選択	ライフサイエンスゼミナールⅠ	①	他大学へ就職のため辞任 (29)					
			選択	ライフサイエンスゼミナールⅡ	①						
合計 (C)							後任補充状況の集計 (D)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)					
1	人	必修	科目	必修	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目
		選択	2 科目	選択	2 科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目
		計	2 科目	計	2 科目	計	〇〇	科目	計	〇〇	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)									
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)					
1	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目
		選択	2 科目	選択	2 科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目	〇〇	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目	〇〇	科目
		計	2 科目	計	2 科目	計	〇〇	科目	計	〇〇	科目	〇〇	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」 担当科目は他に担当教員がいるため支障は無い
「学生への周知方法」 研究科要覧により周知

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<創成科学研究科 ライフサイエンス系専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 修了要件単位数	変更無し
② 施設・設備	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

- ① 実施体制
- a 委員会の設置状況
 山口大学工学部・大学院創成科学研究科（工学系）点検・評価委員会
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 平成28年度 6月7日（火）開催 出席者9名（教員8名，事務職員1名）
- c 委員会の審議事項等
- ・ 自己点検・評価に関する事項
 - ・ 教員の教育・研究及び評価に関する事項
 - ・ 教員の能力開発に関する事項 等
- ② 実施状況
- a 実施内容
- ・ 授業公開（ピア・レビュー）
 - ・ 教育改善FD研修会
 - ・ 学生特別支援室FD研修会
 - ・ アラカルトFD研修会
- b 実施方法
- ・ 授業公開（ピア・レビュー）
 前期・後期毎に期間を定めて公開授業を実施し、教員に授業を参観させた。理学系では分野ごとに実施。
 - ・ 教育改善FD研修会
 本学の大学教育センター長を講師として、YU CoB CuS（山口大学能力基盤型カリキュラム）導入に関する研修を行った。
 - ・ 学生特別支援室FD研修会
 本学の学生特別支援室のスタッフを講師として、障害を持つ学生への合理的配慮の実施に関する研修を行った。
 - ・ アラカルトFD研修会
 本学の知的財産センターのスタッフを講師として、知財教育を事例にして、事前学習を促すことを特徴とする反転授業の教育実践に関する研修を行った。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 授業公開 参観者数：前期10名，後期10名
- ・ 教育改善FD研修会 参加者数：126名
- ・ 学生特別支援室FD研修会 参加者数：115名
- ・ アラカルトFD研修会 参加者数：62名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

公開授業を参観した教員には授業の感想表を提出させ、授業担当教員にフィードバックすることで、教員相互が授業方法・授業運営の改善を図り、教育の質的向上に努めている。

また、学生の多様性に対応する教員の能力向上のため、各種FD研修会におけるそれぞれのテーマに関して理解が進んだ。さらに、問題点を共有し、次年度の授業実施の改善に向けた活発な意見交換が出来た。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年2回（前期1回，後期1回）授業評価アンケートを実施している

b 教員や学生への公開状況，方法等

教員は学生による授業評価の結果をWeb上で閲覧することが可能。理学系においてはFD報告書を年度末に作成している

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成28年度に開設し、現在まで概ね順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年3月末 公表予定

b 公表方法

- ・山口大学活動白書を作成し、大学ホームページにて公開を行う。

③ 認証評価を受ける計画

・昨年度（平成27年度）に独立行政法人大学評価・学位授与機構による機関別認証評価を受審。次回受審年度については検討中。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

（ 有 ・ 無 ）

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

（平成29年9月1日（予定））